

子ども・子育て支援に関する アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月

邑楽町

もくじ

第1章 調査概要

| | |
|----------|---|
| 1 調査目的 | 3 |
| 2 調査対象等 | 3 |
| 3 回収状況 | 3 |
| 4 報告書の見方 | 4 |

第2章 就学前児童保護者

| | |
|---------------------------------|----|
| 1 お住まいの地域について | 7 |
| (1) 居住地域 | 7 |
| 2 お子様とご家族のことについて | 7 |
| (1) 子どもの年齢 | 7 |
| (2) 子どもの人数 | 8 |
| (3) 調査票回答者 | 8 |
| (4) 調査票回答者の配偶関係 | 9 |
| (5) 主に子育てをしている人 | 9 |
| 3 子どもの育ちをめぐる環境について | 10 |
| (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設 | 10 |
| (2) 子育てに影響すると思われる環境 | 10 |
| (3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無 | 11 |
| (4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況 | 11 |
| (5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況 | 12 |
| (6) 気軽に相談できる人・場所の有無 | 12 |
| (7) 気軽に相談できる人・場所 | 13 |
| 4 保護者の就労状況について | 14 |
| (1) 母親の就労状況 | 14 |
| (2) 就労している母親の就労日数・就労時間 | 15 |
| (3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間 | 16 |
| (4) 父親の就労状況 | 17 |
| (5) 就労している父親の就労日数・就労時間 | 17 |
| (6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間 | 18 |
| (7) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望 | 19 |
| (8) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望 | 19 |
| (9) 就労していない母親の就労希望 | 20 |
| (10) 就労していない父親の就労希望 | 21 |
| 5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について | 22 |
| (1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況 | 22 |

| | | |
|------|-------------------------------------|----|
| (2) | 利用している平日の定期的な教育・保育の事業 | 22 |
| (3) | 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望 | 23 |
| (4) | 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所 | 25 |
| (5) | 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由 | 26 |
| (6) | 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由 | 27 |
| (7) | 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業 | 28 |
| (8) | 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所 | 28 |
| (9) | 幼稚園の強い利用希望 | 29 |
| (10) | 平日の教育・保育の事業の重視する点 | 30 |
| (11) | 幼児教育無償化に伴う平日の教育・保育の事業の利用の変化 | 31 |
| (12) | 幼児教育無償化に伴う、利用したい平日の定期的な教育・保育の事業 | 31 |
| (13) | 幼児教育無償化に伴う、家庭の状況の変化 | 32 |
| 6 | 地域の子育て支援事業の利用状況について | 33 |
| (1) | 地域子育て支援拠点事業の利用状況 | 33 |
| (2) | 地域子育て支援拠点事業の利用希望 | 34 |
| (3) | 各種事業の認知度 | 36 |
| (4) | 各種事業の利用状況 | 37 |
| (5) | 各種事業の利用意向 | 38 |
| 7 | 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について | 39 |
| (1) | 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望 | 39 |
| (2) | 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望 | 40 |
| (3) | 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由 | 41 |
| (4) | 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望 | 42 |
| (5) | 長期休暇期間中、たまに利用したい理由 | 43 |
| 8 | お子様の病気の際の対応について 【平日の教育・保育事業の利用者のみ】 | 44 |
| (1) | 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと | 44 |
| (2) | 事業が利用できなかった場合の対処方法 | 45 |
| (3) | 病児・病後児保育施設等の利用希望 | 47 |
| (4) | 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態 | 48 |
| (5) | 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 | 49 |
| 9 | 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について | 50 |
| (1) | 利用している不定期の教育・保育の事業 | 50 |
| (2) | 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由 | 51 |
| (3) | 私用等の目的での事業の利用希望 | 52 |
| (4) | 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態 | 54 |
| (5) | 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと | 55 |
| (6) | 親族・知人にみてもらった場合の困難度 | 56 |
| 10 | 小学校就学後の放課後の過ごし方について | 57 |

| | | |
|-----------------------|-------------------------------------|----|
| (1) | 希望する低学年時の放課後の過ごし方..... | 57 |
| (2) | 希望する高学年時の放課後の過ごし方..... | 59 |
| (3) | 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望..... | 61 |
| (4) | 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望..... | 62 |
| (5) | 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望..... | 63 |
| 11 | 職場の両立支援制度について..... | 64 |
| (1) | 母親の育児休業の取得状況..... | 64 |
| (2) | 父親の育児休業の取得状況..... | 66 |
| (3) | 育児休業取得後の状況..... | 68 |
| (4) | 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期..... | 69 |
| (5) | 育児休業から職場に復帰する時期..... | 70 |
| (6) | 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由..... | 71 |
| (7) | 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由..... | 72 |
| (8) | 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向..... | 72 |
| 12 | 子育て支援施策全般について..... | 73 |
| (1) | 子育ての環境や支援への満足度..... | 73 |
| (2) | 子育てのしやすさについて..... | 73 |
| (3) | 子育てしやすいと思う理由..... | 74 |
| (4) | 子育てしやすいと思わない理由..... | 75 |
| (5) | 子育てしやすいまちにするための活動..... | 76 |
| (6) | 希望する子育てに関する相談場所..... | 77 |
| (7) | 子育てについて地域に望むこと..... | 78 |
| (8) | 子育てへの協力について..... | 79 |
| (9) | 子育てに関しての悩み・気になること..... | 80 |
| (10) | 子育て支援環境充実のための必要な支援策..... | 81 |
| (11) | 出産祝金支給事業の満足度..... | 82 |
| 第3章 小学校就学児童保護者 | | |
| 1 | お住まいの地域について..... | 85 |
| (1) | 居住地域..... | 85 |
| 2 | お子様とご家族のことについて..... | 85 |
| (1) | 子どもの年齢..... | 85 |
| (2) | 子どもの人数..... | 86 |
| (3) | 調査票回答者..... | 86 |
| (4) | 調査票回答者の配偶関係..... | 87 |
| (5) | 主に子育てをしている人..... | 87 |
| 3 | 子どもの育ちをめぐる環境について..... | 88 |
| (1) | 子育てに日常的に関わっている人・施設..... | 88 |
| (2) | 子育てに影響すると思われる環境..... | 88 |

| | | |
|------|-----------------------------|-----|
| (3) | 子どもをみてもらえる親族・友人の有無 | 89 |
| (4) | 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況 | 90 |
| (5) | 友人・知人に子どもをみてもらっている状況 | 91 |
| (6) | 気軽に相談できる人・場所の有無 | 92 |
| (7) | 気軽に相談できる人・場所 | 92 |
| 4 | 保護者の就労状況について | 93 |
| (1) | 母親の就労状況 | 93 |
| (2) | 就労している母親の就労日数・就労時間 | 94 |
| (3) | 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間 | 95 |
| (4) | 父親の就労状況 | 96 |
| (5) | 就労している父親の就労日数・就労時間 | 96 |
| (6) | 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間 | 97 |
| (7) | パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望 | 98 |
| (8) | パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望 | 98 |
| (9) | 就労していない母親の就労希望 | 99 |
| (10) | 就労していない父親の就労希望 | 100 |
| 5 | 小学校の放課後の過ごし方について（低学年児童） | 101 |
| (1) | 現在の放課後の過ごし方（低学年児童） | 101 |
| (2) | 希望した低学年時の放課後の過ごし方 | 104 |
| (3) | 希望する高学年時の放課後の過ごし方 | 107 |
| 6 | 小学校の放課後の過ごし方について（高学年児童） | 110 |
| (1) | 現在の放課後の過ごし方（高学年児童） | 110 |
| (2) | 希望した高学年時の放課後の過ごし方 | 112 |
| 7 | 児童館について | 115 |
| (1) | 児童館の利用状況 | 115 |
| (2) | 希望する児童館の利用学年 | 115 |
| (3) | 土曜日の児童館の利用希望 | 116 |
| (4) | 日曜日・祝日の児童館の利用希望 | 117 |
| (5) | 児童館の満足度 | 118 |
| (6) | 児童館への要望 | 119 |
| (7) | 児童館を利用しない理由 | 120 |
| 8 | 放課後児童クラブ（学童保育・児童館留守宅児童）について | 121 |
| (1) | 放課後児童クラブの利用状況 | 121 |
| (2) | 希望する放課後児童クラブの利用学年 | 121 |
| (3) | 土曜日の放課後児童クラブの利用希望 | 122 |
| (4) | 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 | 123 |
| (5) | 夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望 | 124 |
| (6) | 冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望 | 125 |

| | | |
|---------|--------------------------|-----|
| (7) | 放課後児童クラブの満足度 | 126 |
| (8) | 放課後児童クラブへの要望 | 127 |
| (9) | 放課後児童クラブを利用しない理由 | 128 |
| 9 | お子様の病気の際の対応について | 129 |
| (1) | 病気やケガで学校を休んだことがあるか | 129 |
| (2) | 学校を休んだ場合の対処方法 | 129 |
| (3) | 病児・病後児保育施設等の利用希望 | 131 |
| (4) | 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態 | 132 |
| (5) | 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 | 132 |
| 10 | 子育て支援施策全般について | 133 |
| (1) | 子育ての環境や支援への満足度 | 133 |
| (2) | 子育てのしやすさについて | 133 |
| (3) | 子育てしやすいと思う理由 | 134 |
| (4) | 子育てしやすいと思わない理由 | 135 |
| (5) | 子育てしやすいまちにするための活動 | 136 |
| (6) | 希望する子育ての相談場所 | 137 |
| (7) | 子育てについて地域に望むこと | 138 |
| (8) | 子育てに関しての悩み・気になること | 139 |
| (9) | 子育てへの協力について | 140 |
| (10) | 子育て支援環境充実のための必要な支援策 | 141 |
| (11) | 出産祝金支給事業の満足度 | 142 |
| 資料編 調査票 | | |
| (1) | 就学前児童保護者用調査票 | 145 |
| (2) | 小学校就学児童保護者調査票 | 155 |

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、「第2期邑楽町子ども・子育て支援事業計画」の資料とするため、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、ニーズ調査として実施しました。

2 調査対象等

(1) 調査対象

| | 調査対象者 | 対象者数 | |
|---|------------|------|---|
| 1 | 就学前児童保護者 | 600人 | 就学児童を持つ保護者を対象に郵送による配付・回収、町内の幼稚園・保育園・認定こども園を通じて回収。 |
| 2 | 小学校就学児童保護者 | 400人 | 小学1～6年生を対象に郵送による配付・回収、町内の小学校を通じて回収。 |

(2) 調査期間：平成31年1月25日～平成31年2月8日

3 回収状況

| | 対象者 | 配付数 | 回収数 | 回収率(%) |
|---|------------|------|------|--------|
| 1 | 就学前児童保護者 | 600人 | 398件 | 66.3% |
| 2 | 小学校就学児童保護者 | 400人 | 270件 | 67.5% |

4 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表記しています。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには0.0%と表記しています。
- (4) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第2章 就学前兒童保護者

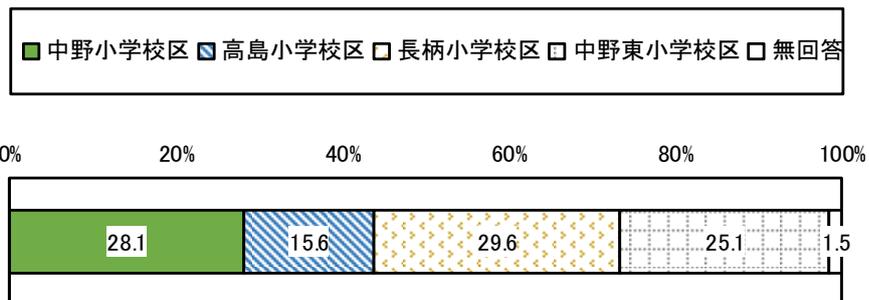
1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

居住地域は、「中野小学校区」が28.1%、「高島小学校区」が15.6%、「長柄小学校区」が29.6%、「中野東小学校区」が25.1%となっています。

(n=398)



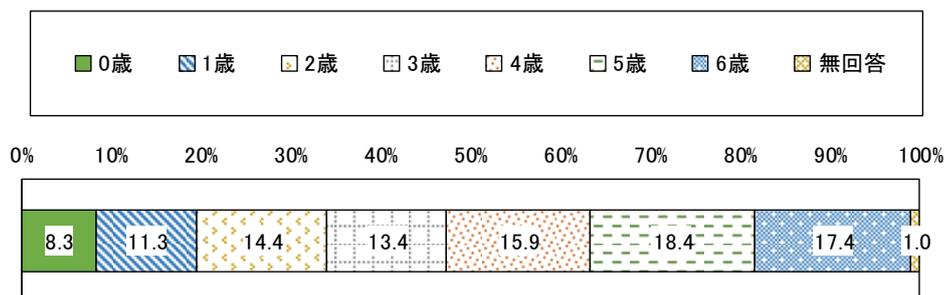
2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの年齢は、「0歳」が8.3%、「1歳」が11.3%、「2歳」が14.4%、「3歳」が13.4%、「4歳」が15.9%、「5歳」が18.4%、「6歳」が17.4%となっています。

(n=398)



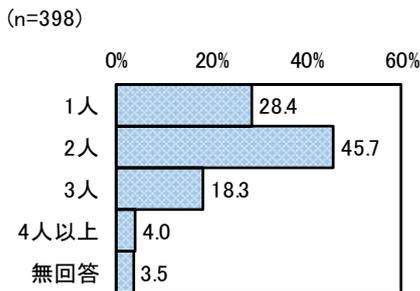
(2) 子どもの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。
 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

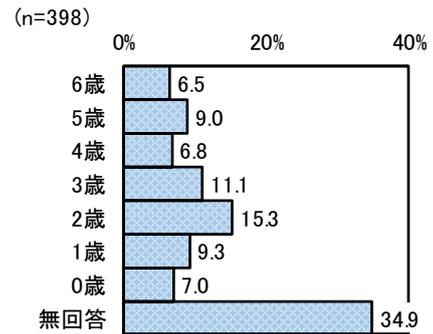
子どもの人数は、「1人」が28.4%、「2人」が45.7%、「3人」が18.3%、「4人以上」が4.0%となっています。

また、末子の年齢は、「2歳」が15.3%で最も多く、次いで「3歳」が11.1%、「1歳」が9.3%、「5歳」が9.0%、「0歳」が7.0%などとなっています。

・きょうだいの数



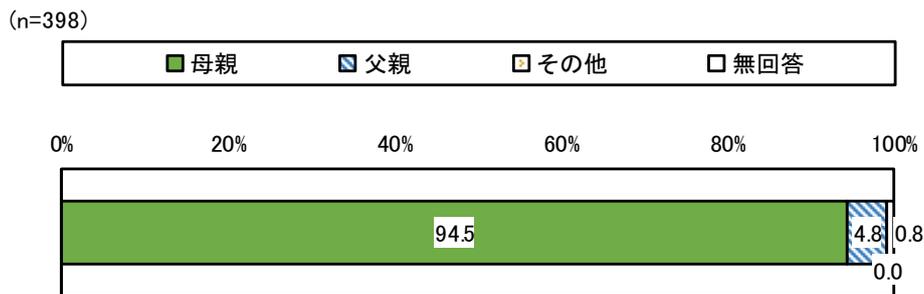
・末子の年齢



(3) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
 (1つに○)

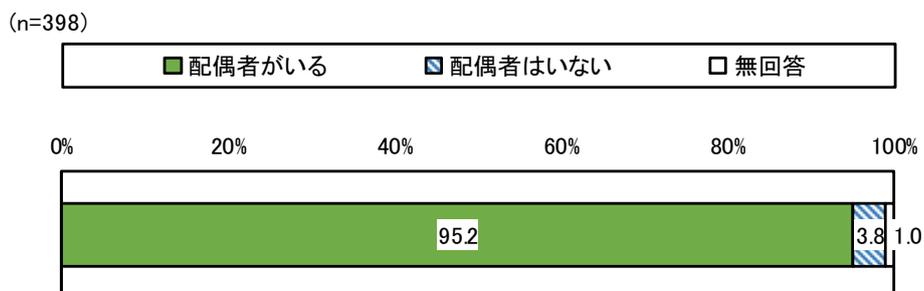
調査票回答者は、「母親」が94.5%、「父親」が4.8%となっています。



(4) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が95.2%、「配偶者はいない」が3.8%となっています。

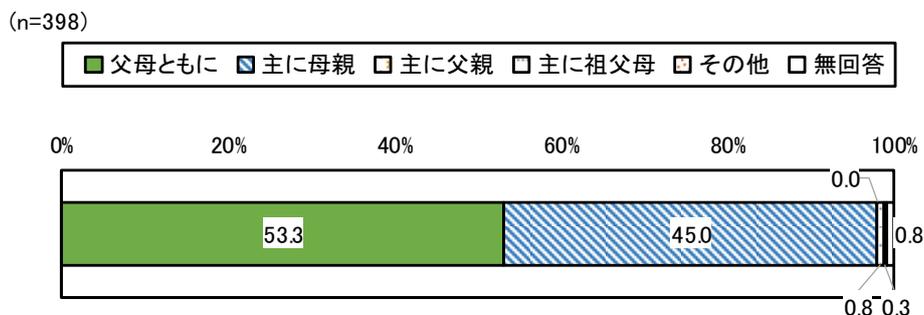


(5) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が53.3%で最も多く、次いで「主に母親」が45.0%などとなっています。



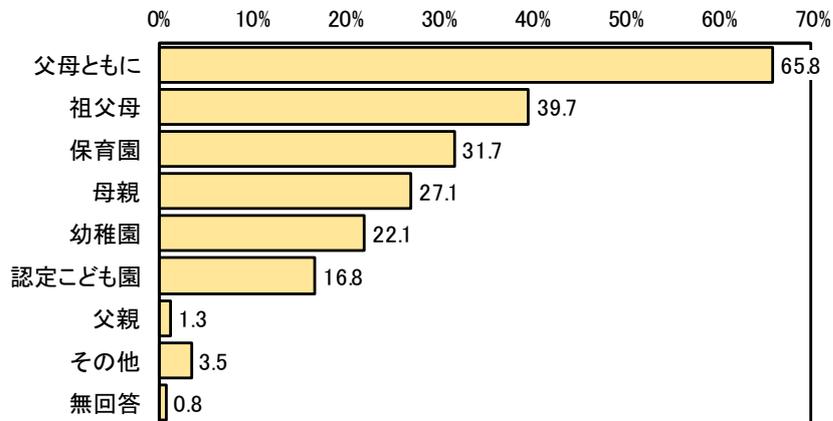
3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が65.8%で最も多く、次いで「祖父母」が39.7%、「保育園」が31.7%、「母親」が27.1%、「幼稚園」が22.1%などとなっています。

(n=398)

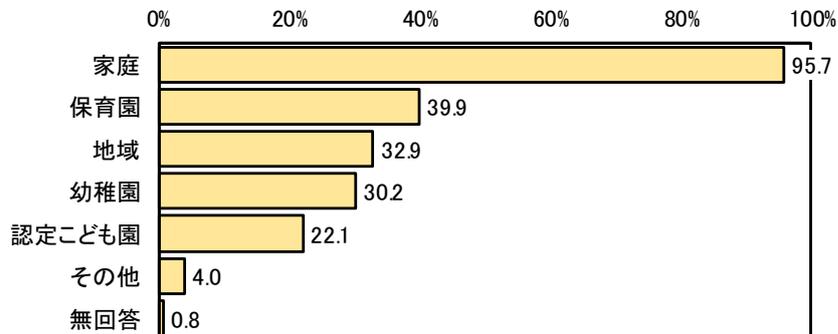


(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が95.7%で最も多く、次いで「保育園」が39.9%、「地域」が32.9%、「幼稚園」が30.2%、「認定こども園」が22.1%などとなっています。

(n=398)

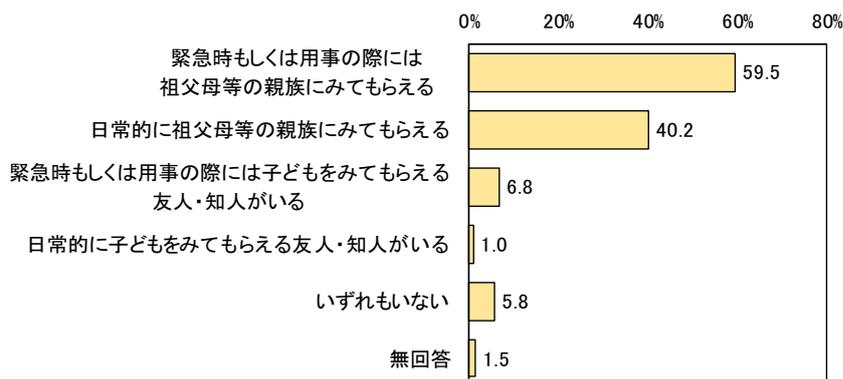


(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.5%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が6.8%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.0%となっています。

(n=398)



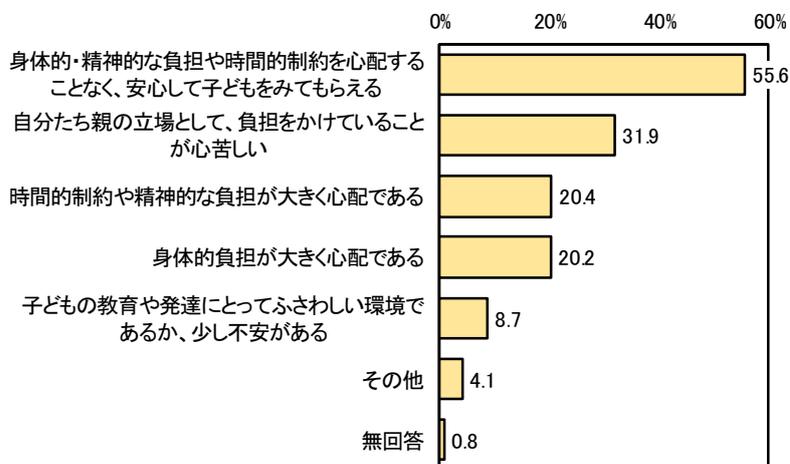
(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

問9で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.6%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が31.9%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.4%、「身体的負担が大きく心配である」が20.2%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が8.7%などとなっています。

(n=367)



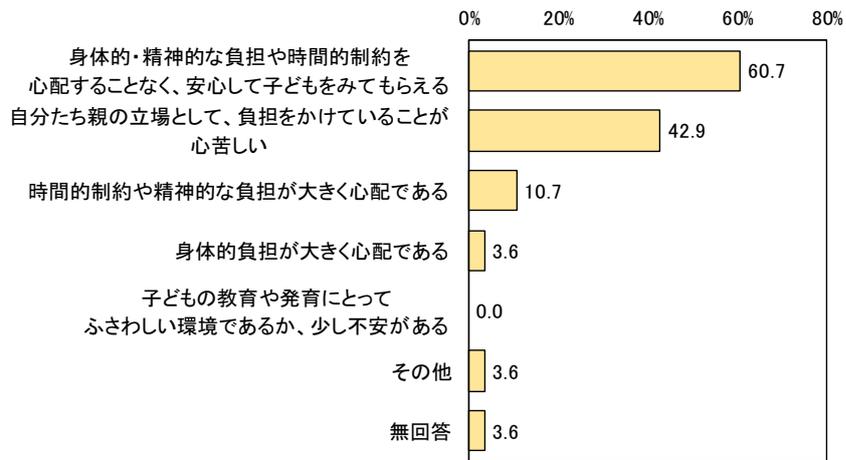
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が60.7%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が42.9%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が10.7%、「身体的負担が大きく心配である」が3.6%などとなっています。

(n=28)



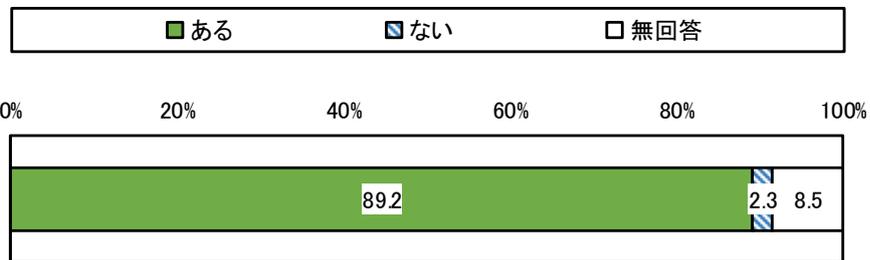
(6) 気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「ある」が89.2%、「ない」が2.3%となっています。

(n=398)



(7) 気軽に相談できる人・場所

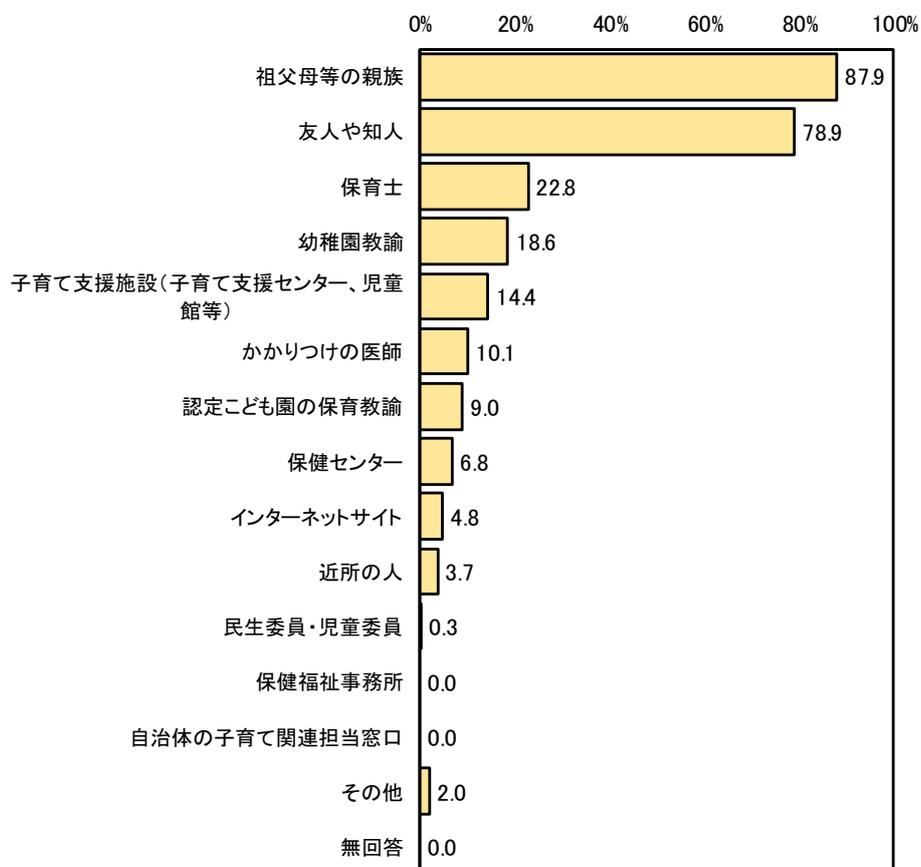
問10で「1. ある」に○をつけた方のみ

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が87.9%で最も多く、次いで「友人や知人」が78.9%、「保育士」が22.8%、「幼稚園教諭」が18.6%、「子育て支援施設(子育て支援センター、児童館等)」が14.4%などとなっています。

(n=355)



4 保護者の就労状況について

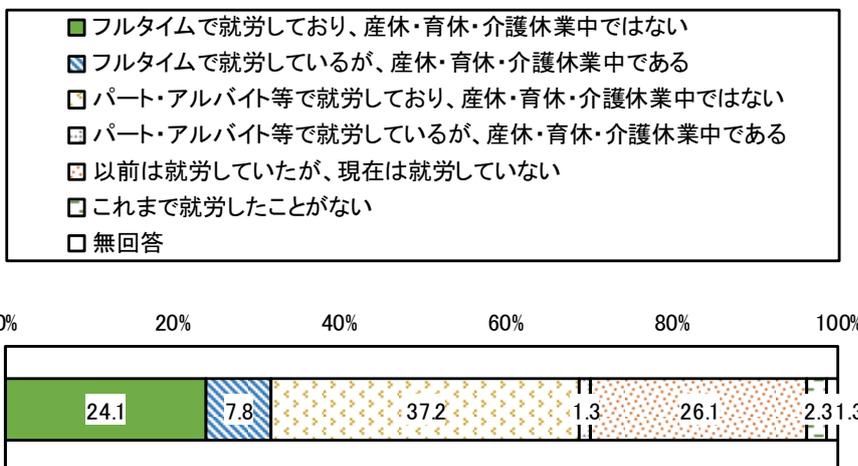
(1) 母親の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親(1つに○)【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.2%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.1%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.1%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が7.8%などとなっています。

(n=398)



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

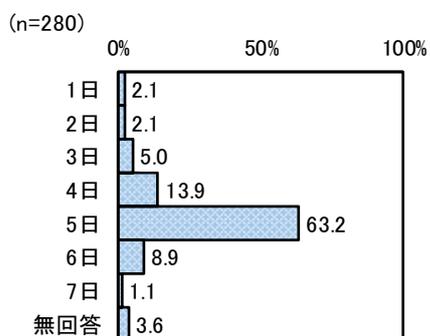
(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

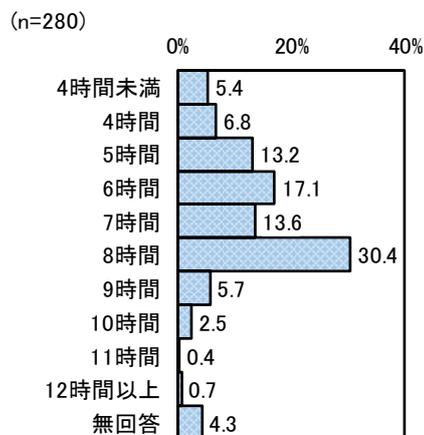
就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が63.2%で最も多く、次いで「4日」が13.9%、「6日」が8.9%、「3日」が5.0%などとなっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が30.4%で最も多く、次いで「6時間」が17.1%、「7時間」が13.6%、「5時間」が13.2%などとなっています。

・ 1週あたりの就労日数



・ 1日あたりの就労時間



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間

(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)－2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

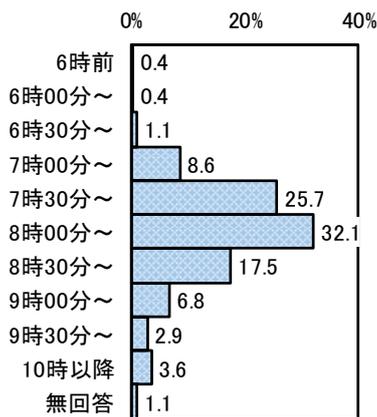
就労している母親の家を出る時刻は、「8時00分～」が32.1%で最も多く、次いで「7時30分～」が25.7%、「8時30分～」が17.5%などとなっています。

また、帰宅時刻は、「18時30分～」が14.6%で最も多く、次いで「18時00分～」が12.9%、「16時30分～」が11.4%、「17時30分～」が11.1%、「17時00分～」が10.4%などとなっています。

なお、通勤所要時間は、「30分以内」が66.1%で最も多く、次いで「30分以上」が27.9%、「60分以上」が2.5%、「90分以上」が1.4%となっています。

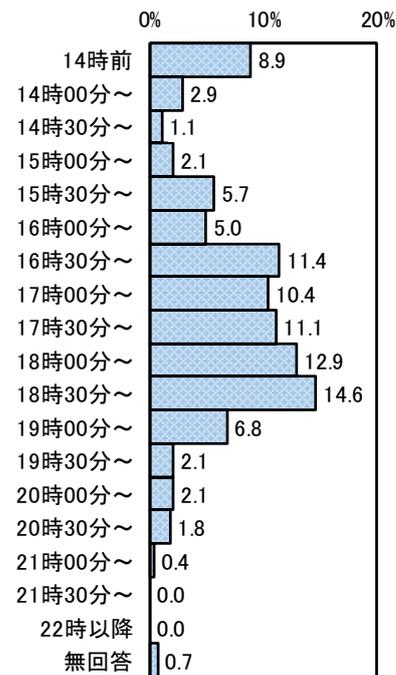
・家を出る時刻

(n=280)



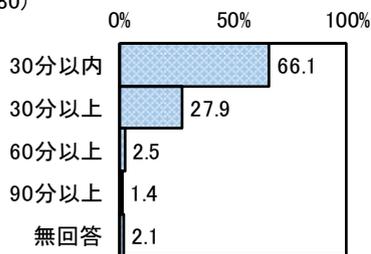
・帰宅時刻

(n=280)



・通勤所要時間

(n=280)

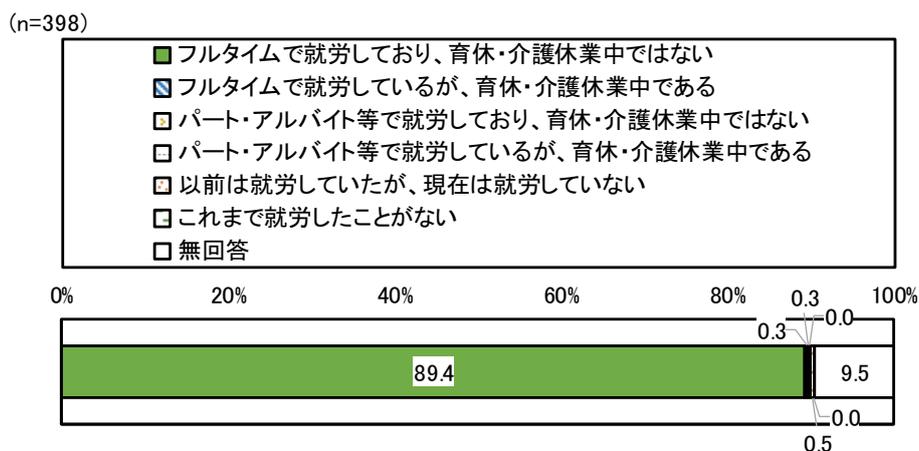


(4) 父親の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(2)父親(1つに○)【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が89.4%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が0.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.3%となっています。



(5) 就労している父親の就労日数・就労時間

(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

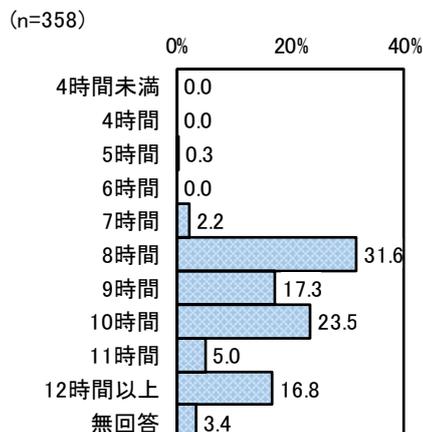
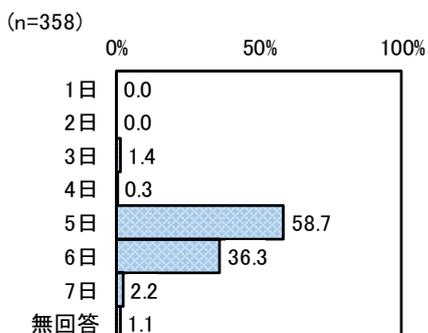
(2)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が58.7%で最も多く、次いで「6日」が36.3%、「7日」が2.2%、「3日」が1.4%、「4日」が0.3%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が31.6%で最も多く、次いで「10時間」が23.5%、「9時間」が17.3%、「12時間以上」が16.8%などとなっています。

・ 1週あたりの就労日数

・ 1日あたりの就労時間



(6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間

(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(2)－2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

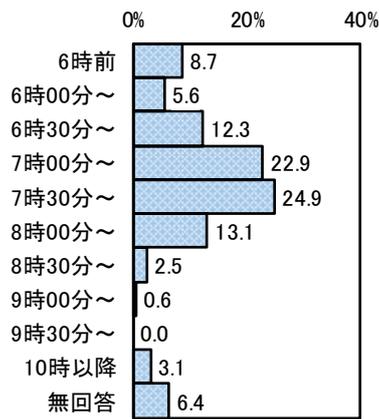
就労している父親の家を出る時刻は、「7時30分～」が24.9%で最も多く、次いで「7時00分～」が22.9%、「8時00分～」が13.1%、「6時30分～」が12.3%などとなっています。

また、帰宅時刻は、「19時00分～」が16.8%で最も多く、次いで「18時00分～」、「21時00分～」がともに11.2%、「20時00分～」が10.1%などとなっています。

なお、通勤所要時間は、「30分以内」が49.2%で最も多く、次いで「30分以上」が32.4%、「60分以上」が8.9%、「90分以上」が2.8%となっています。

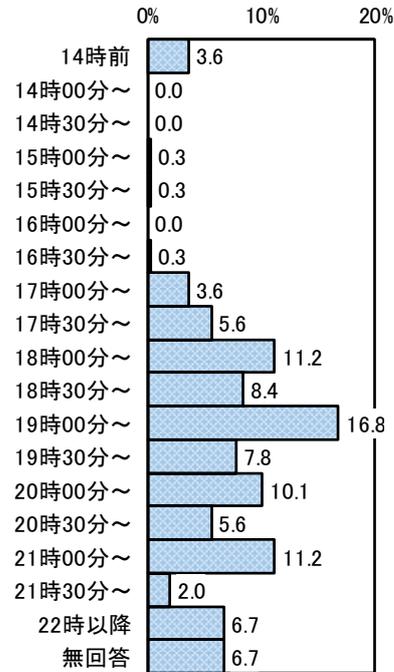
・家を出る時刻

(n=358)



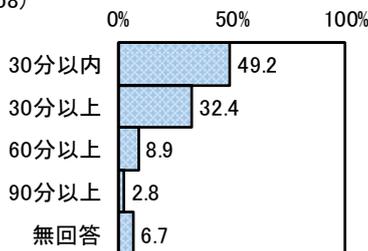
・帰宅時刻

(n=358)



・通勤所要時間

(n=358)



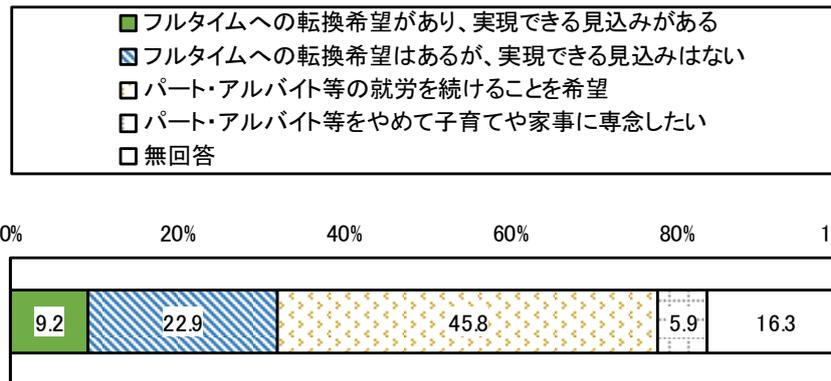
(7) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.2%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.9%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 45.8%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 5.9%となっています。

(n=153)



(8) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、回答者がいませんでした。

(9) 就労していない母親の就労希望

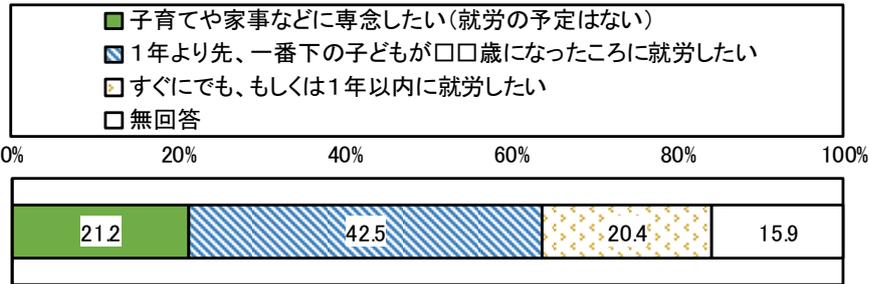
問12の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

問14 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が42.5%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が21.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が20.4%となっています。

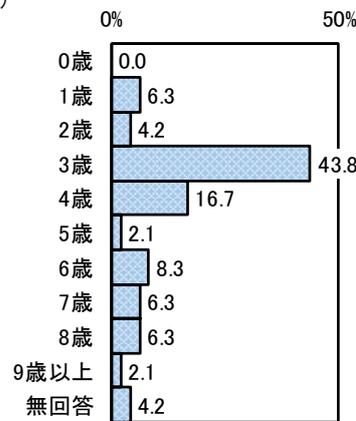
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「3歳」が43.8%で最も多く、次いで「4歳」が16.7%、「6歳」が8.3%などとなっています。

(n=113)



・ 母親の就労希望時の下の子どもの年齢

(n=48)



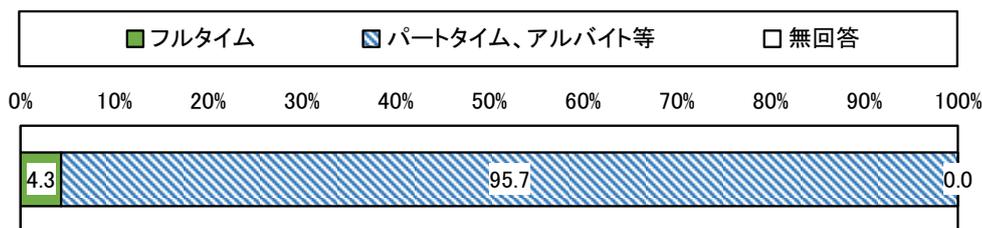
1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が4.3%、「パートタイム、アルバイト等」が95.7%となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「4日」が36.4%で最も多く、次いで「3日」が27.3%、「5日」が22.7%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「4時間」が40.9%で最も多く、次いで「5時間」と「6時間」がともに22.7%などとなっています。

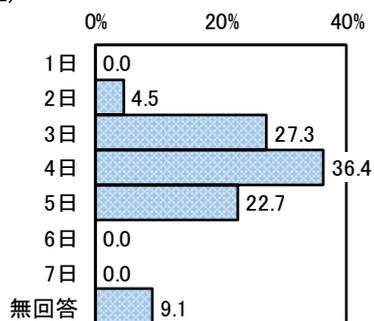
・希望する就労形態

(n=23)



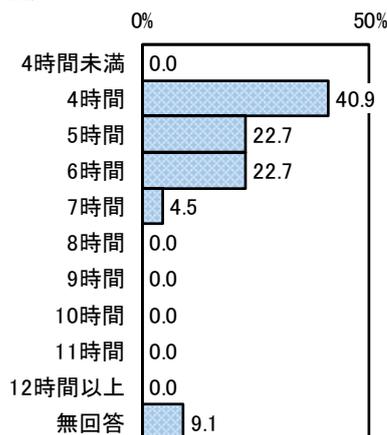
・希望する1週あたりの就労日数

(n=22)



・希望する1日あたりの就労時間

(n=22)



(10) 就労していない父親の就労希望

問12の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

問14 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない父親の就労希望は、回答者が2人であり、ともに「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答されています。

なお、父親の就労希望時の下の子どもの年齢は、回答者がいませんでした。

1年以内に就労したい父親が希望する就労形態は、回答者が2人であり、ともに「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」と回答されています。

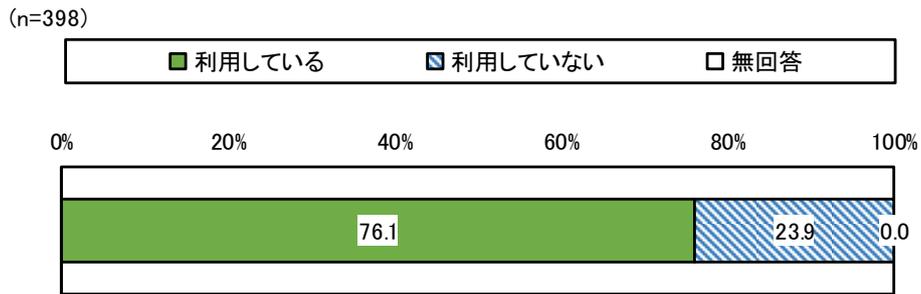
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間は、回答者がいませんでした。

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問15 宛名のお子さんは現在、定期的に幼稚園や保育園、認定こども園などを利用されていますか。
(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が76.1%、「利用していない」が23.9%となっています。

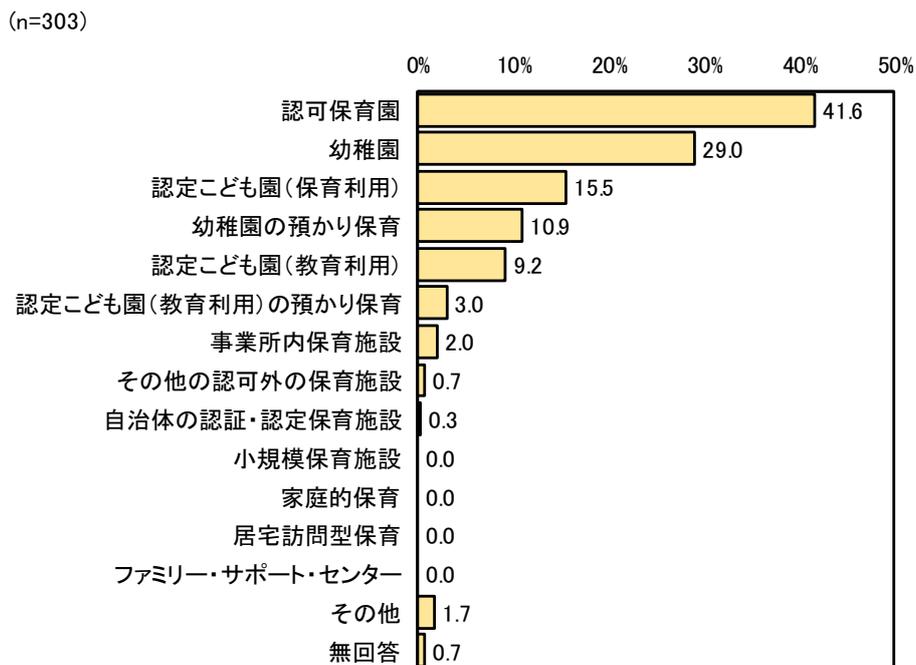


(2) 利用している平日の定期的な教育・保育の事業

問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育園」が41.6%で最も多く、次いで「幼稚園」が29.0%、「認定こども園(保育利用)」が15.5%、「幼稚園の預かり保育」が10.9%、「認定こども園(教育利用)」が9.2%などとなっています。



(3) 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望

問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

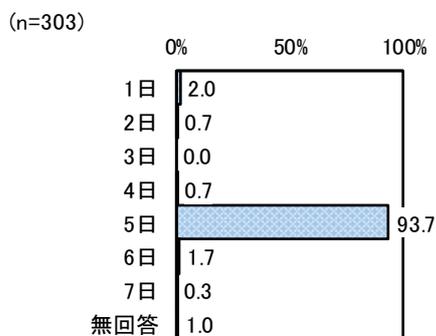
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(それぞれ数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

平日の定期的な教育・保育の事業の1週あたりの現在の利用日数は、「5日」が93.7%で最も多く、希望の利用日数も「5日」が55.8%で最も多くなっています。

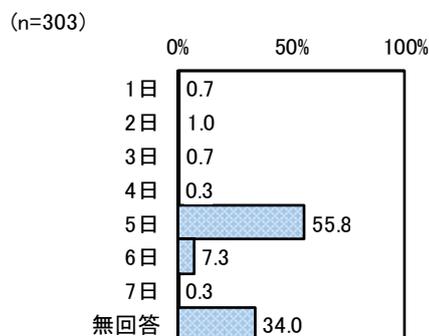
1日あたりの現在の利用時間は、「5時間」が24.8%で最も多く、希望の利用時間は「8時間」が13.5%で最も多くなっています。

・ 1週あたりの利用日数

【現在】

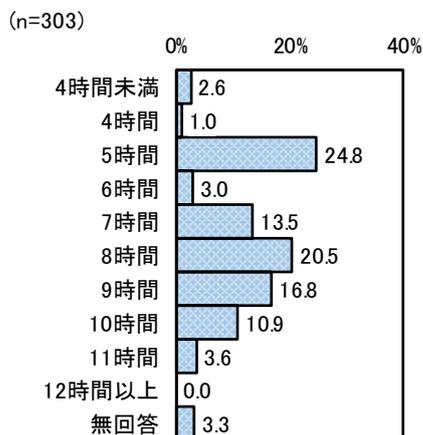


【希望】

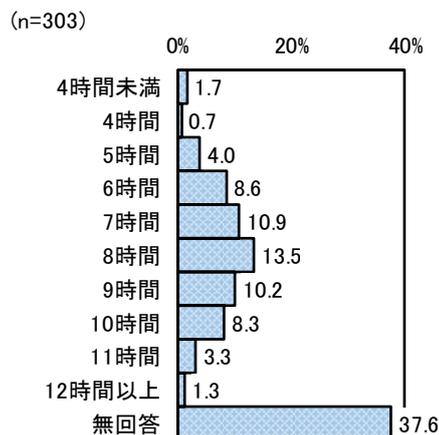


・ 1日あたりの利用時間

【現在】



【希望】



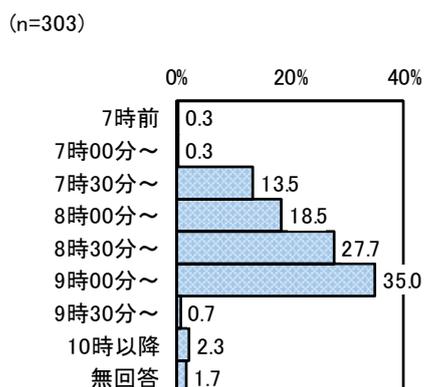
第2章 就学前児童保護者

現在の利用開始時刻は、「9時00分～」が35.0%で最も多く、次いで「8時30分～」が27.7%などとなっており、希望の開始時刻は、「9時00分～」が24.1%で最も多く、次いで「8時00分～」が16.2%などとなっています。

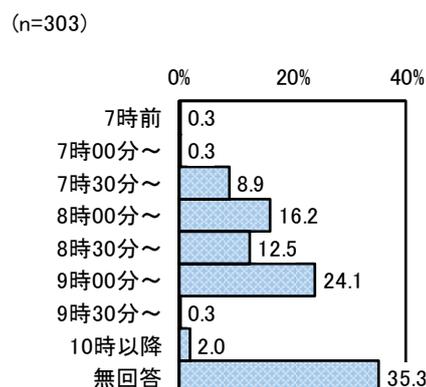
現在の利用終了時刻は、「14時00分～」が25.4%で最も多く、次いで「16時00分～」が17.5%などとなっており、希望の終了時刻は、「16時00分～」が13.9%で最も多く、次いで「17時00分～」が10.9%などとなっています。

・利用開始時刻

【現在】

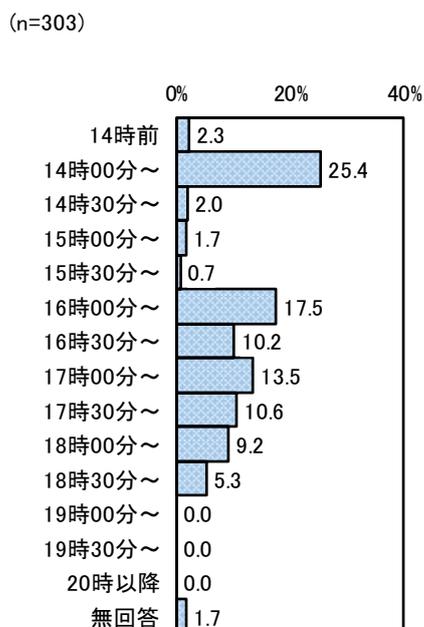


【希望】

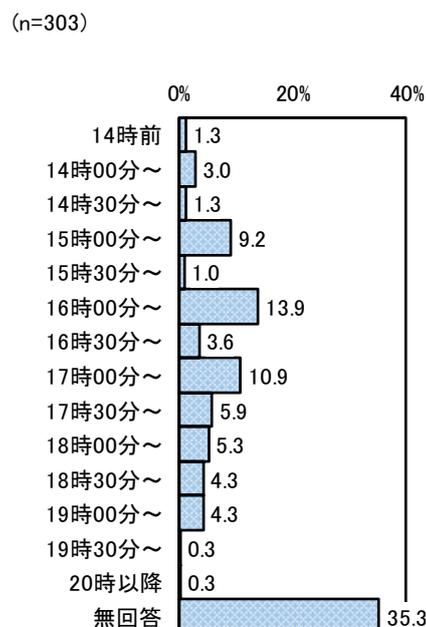


・利用終了時刻

【現在】



【希望】

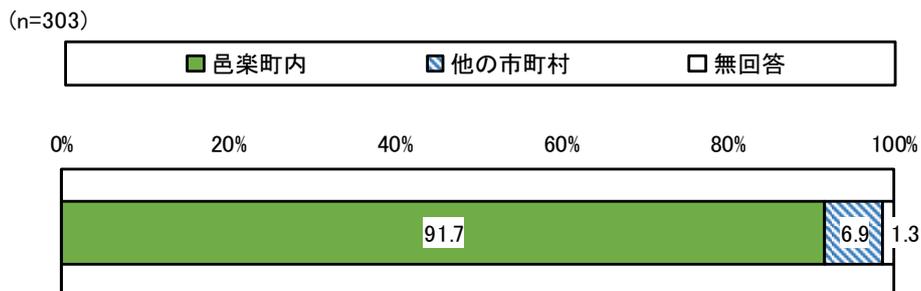


(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-3 現在、利用している事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「邑楽町内」が91.7%、「他の市町村」が6.9%となっています。



《参考》他の市町村

太田市、館林市、大泉町、足利市、行田市

(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

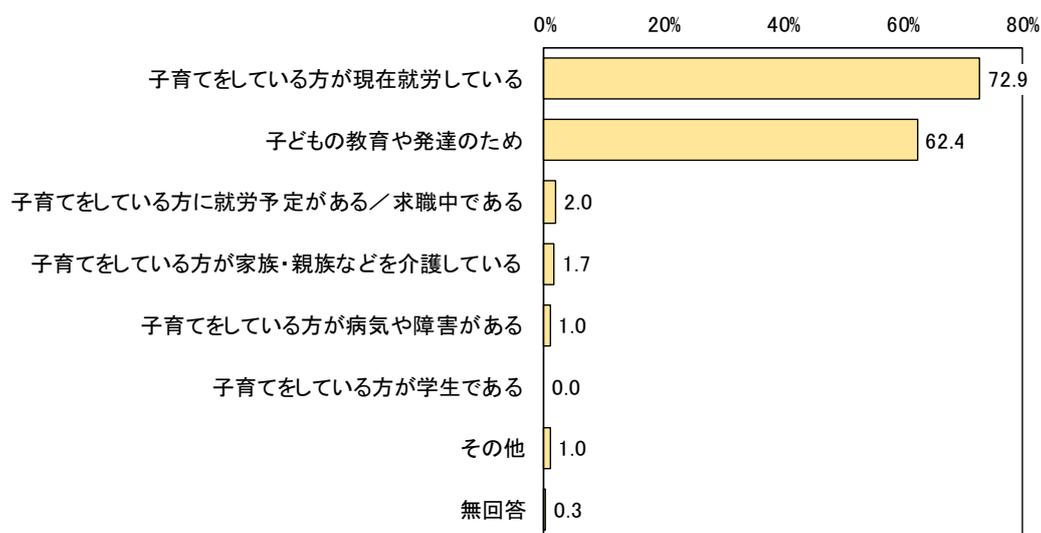
問15で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が72.9%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が62.4%、「子育てをしている方に就労予定がある／求職中である」が2.0%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」が1.7%、「子育てをしている方が病気や障害がある」が1.0%などとなっています。

(n=303)



(6) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

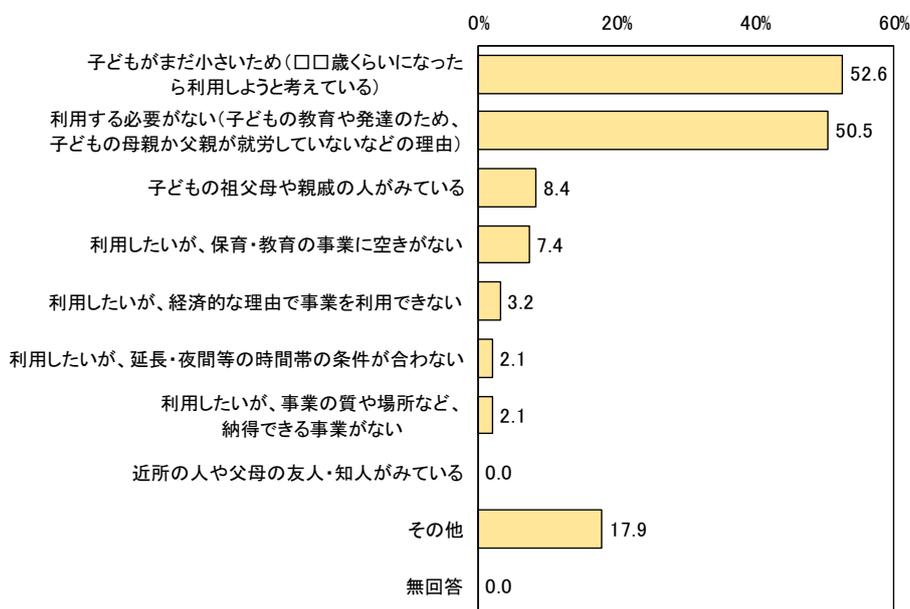
問15で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問15-5 利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が52.6%で最も多く、次いで「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」が50.5%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が8.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が7.4%などとなっています。

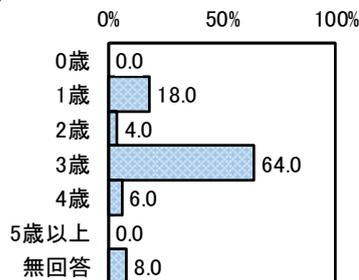
なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3歳」が64.0%で最も多くなっています。

(n=95)



・事業の利用を予定している子どもの年齢

(n=50)

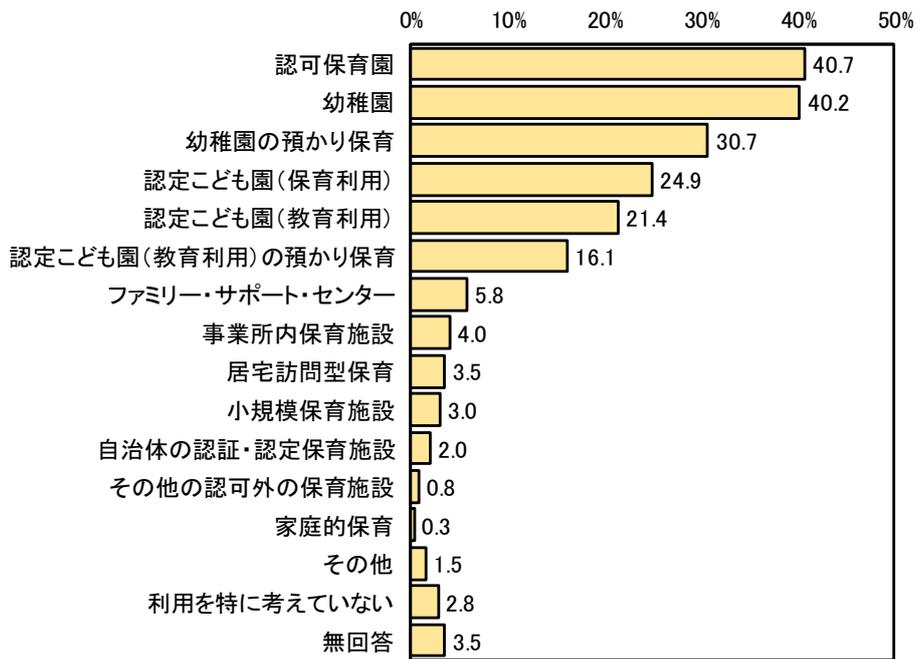


(7) 利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園、認定こども園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業の番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育園」が40.7%で最も多く、次いで「幼稚園」が40.2%、「幼稚園の預かり保育」が30.7%、「認定こども園(保育利用)」が24.9%、「認定こども園(教育利用)」が21.4%などとなっています。

(n=398)

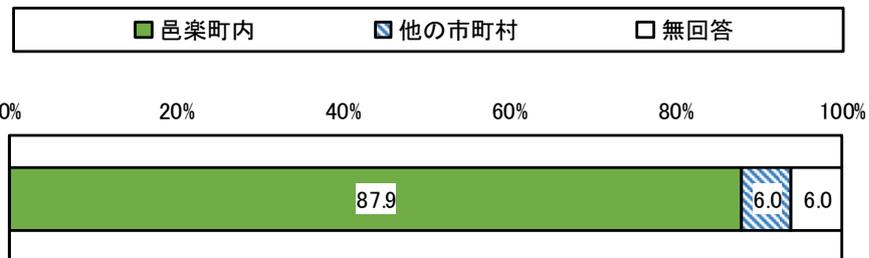


(8) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問16-1 問16のような事業を利用したい場所はどちらですか。(1つに○)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「邑楽町内」が87.9%、「他の市町村」が6.0%となっています。

(n=398)



《参考》他の市町村

太田市、館林市、桐生市、大泉町、足利市、行田市

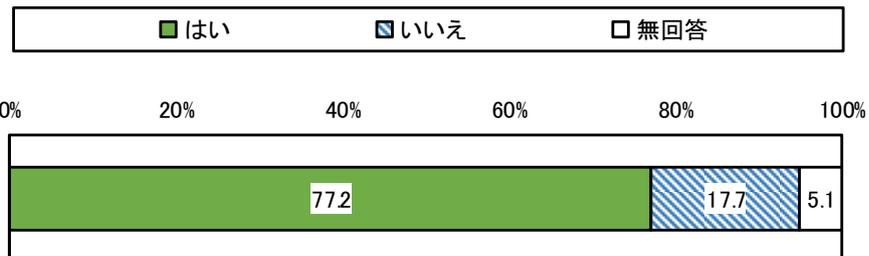
(9) 幼稚園の強い利用希望

問16で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方のみ

問16-2 特に幼稚園や認定こども園(教育利用)(預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに)

幼稚園と幼稚園以外の事業の利用を希望する場合の幼稚園の強い利用希望は、「はい」が77.2%、「いいえ」が17.7%となっています。

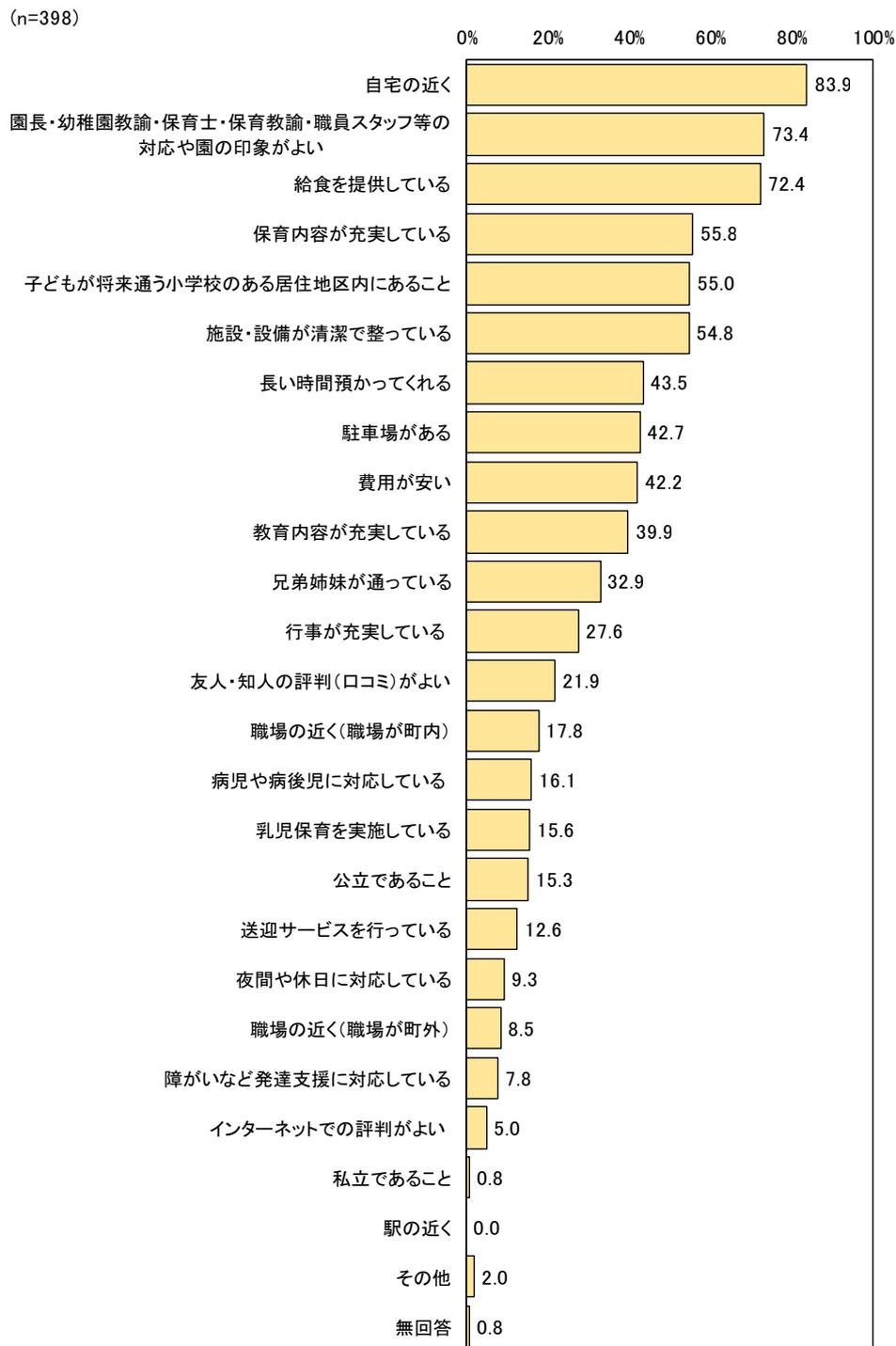
(n=79)



(10) 平日の教育・保育の事業の重視する点

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅の近く」が83.9%で最も多く、次いで「園長・幼稚園教諭・保育士・保育教諭・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」が73.4%、「給食を提供している」が72.4%、「保育内容が充実している」が55.8%、「子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること」が55.0%などとなっています。

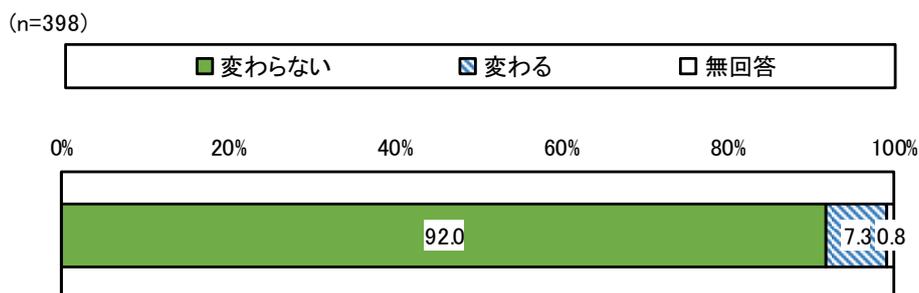


(11) 幼児教育無償化に伴う平日の教育・保育の事業の利用の変化

問18 2019年の10月から、3歳から5歳までの子どもの保育園・幼稚園・認定こども園の基本的な利用料は無料になる予定です。(幼児教育、保育の無償化。上限額あり。)

幼児教育、保育の無償化(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料、0歳から2歳児の利用料は住民税非課税世帯を対象に無償化)になったら、平日の教育・保育の事業の利用意向(問16で回答した内容)は変わりますか。(1つに○)

幼児教育無償化に伴い、平日の教育・保育の事業の利用が変化するかは、「変わらない」が92.0%、「変わる」が7.3%となっています。

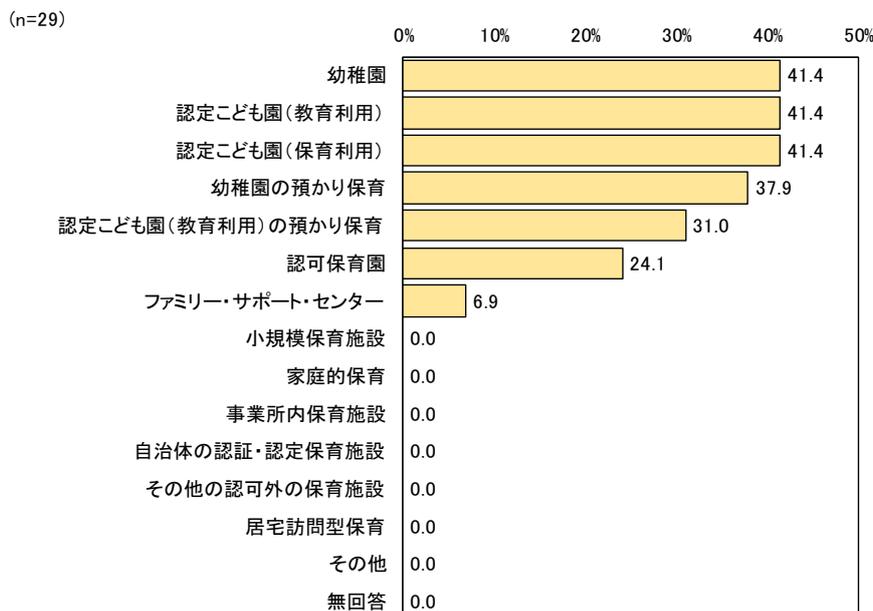


(12) 幼児教育無償化に伴う、利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問18で「2. 変わる」に○をつけた方のみ

問18-1 幼児教育、保育の無償化になった場合に、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業はどのようになりますか。該当する番号すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)※事業の詳細は問16をご覧ください。

幼児教育無償化に伴う、利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「幼稚園」と「認定こども園(教育利用)」と「認定こども園(保育利用)」がいずれも41.4%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が37.9%、「認定こども園(教育利用)の預かり保育」が31.0%などとなっています。



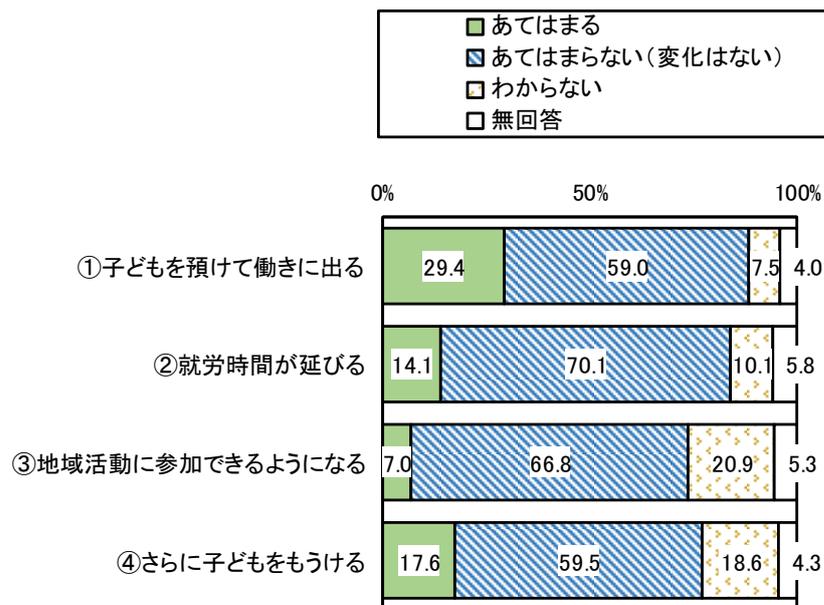
(13) 幼児教育無償化に伴う、家庭の状況の変化

問19 幼児教育、保育の無償化(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料無償化)がなされることで、あなたの家庭で起こりうると思うことを回答してください。(それぞれ1つに〇)

幼児教育無償化に伴う、家庭の状況の変化について、全ての項目で「あてはまらない(変化はない)」が最も多くなっており、特に「②就労時間が延びる」が70.1%となっています。

「あてはまる」が最も多いのは、「①子どもを預けて働きに出る」の29.4%となっています。

(n=398)



6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

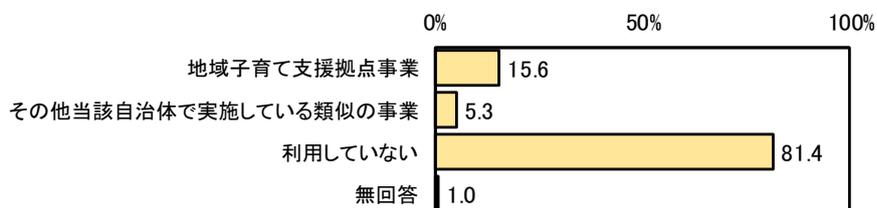
問20 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(「子育て支援センター」など)を利用していますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」が15.6%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が5.3%となっています。

それぞれ利用している人の利用回数は、「地域子育て支援拠点事業」については、1週あたりが「1日」(40.3%)、1か月あたりが「4回」(14.5%)が最も多くなっています。

「その他当該自治体で実施している類似の事業」については、1週あたりが「1日」(33.3%)、1か月あたりが「2回」(38.1%)が最も多くなっています。

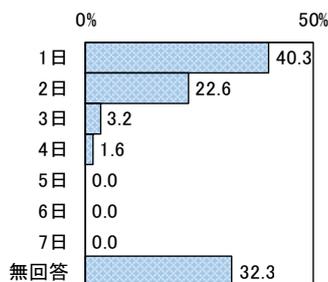
(n=398)



【地域子育て支援拠点事業】

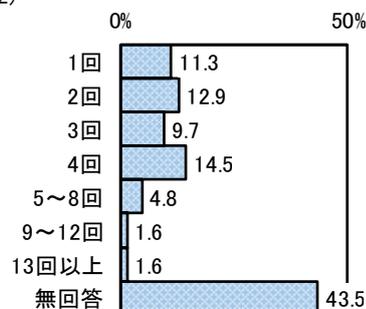
・ 1週あたりの利用日数

(n=62)



・ 1か月あたりの利用回数

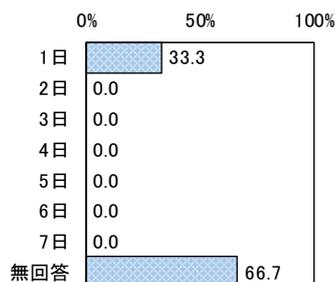
(n=62)



【その他当該自治体で実施している類似の事業】

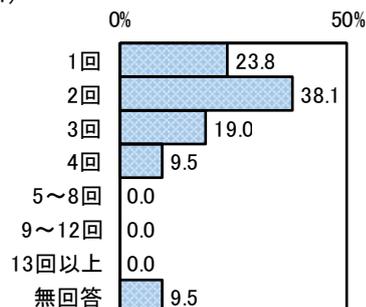
・ 1週あたりの利用日数

(n=21)



・ 1か月あたりの利用回数

(n=21)



(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

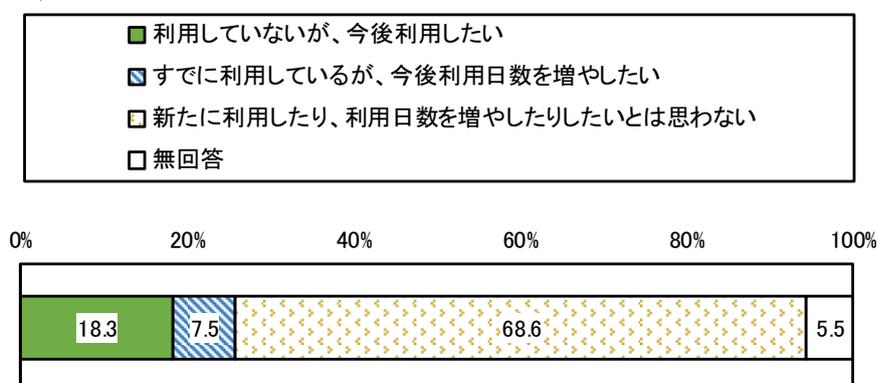
問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「利用していないが、今後利用したい」が18.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.5%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が68.6%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した方の利用回数は、1週あたり、1か月あたりともに「1回」が最も多くなっています。

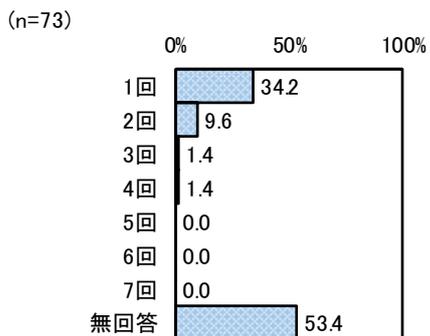
また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方の利用回数は、1週あたり、1か月あたりともに「2回」が最も多くなっています。

(n=398)

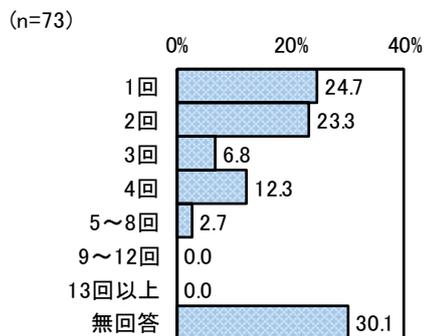


【利用していないが、今後利用したい】

・ 1週あたりの利用回数

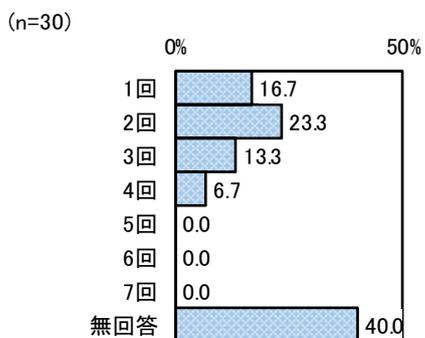


・ 1か月あたりの利用回数

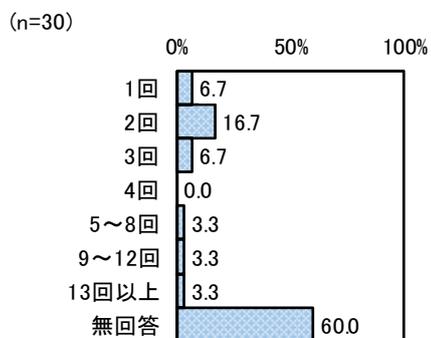


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

・ 1週あたりの利用回数



・ 1か月あたりの利用回数



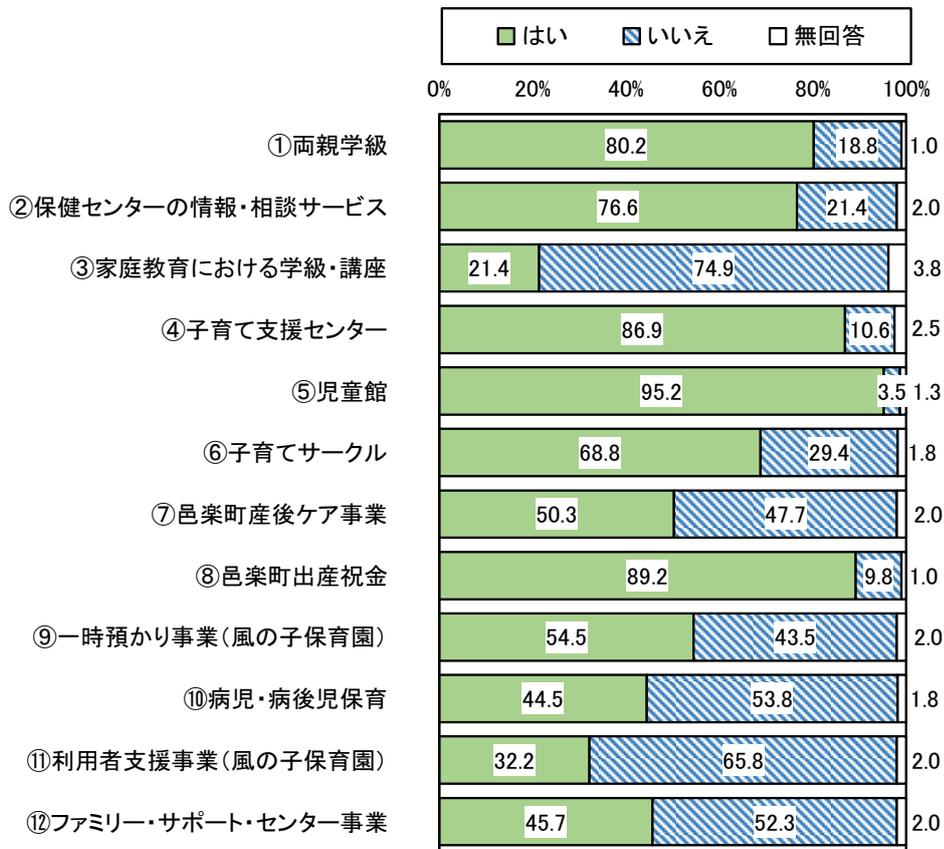
(3) 各種事業の認知度

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(事業ごとにA~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の認知度（知っているもの）について、「はい」が多い順に、「⑤児童館」（95.2%）、「⑧邑楽町出産祝金」（89.2%）、「④子育て支援センター」（86.9%）、「①両親学校」（80.2%）などとなっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「③家庭教育における学級・講座」（74.9%）、「⑪利用者支援事業（風の子保育園）」（65.8%）、「⑩病児・病後児保育（53.8%）」、「⑫ファミリー・サポート・センター事業」（52.3%）などとなっています。

(n=398)



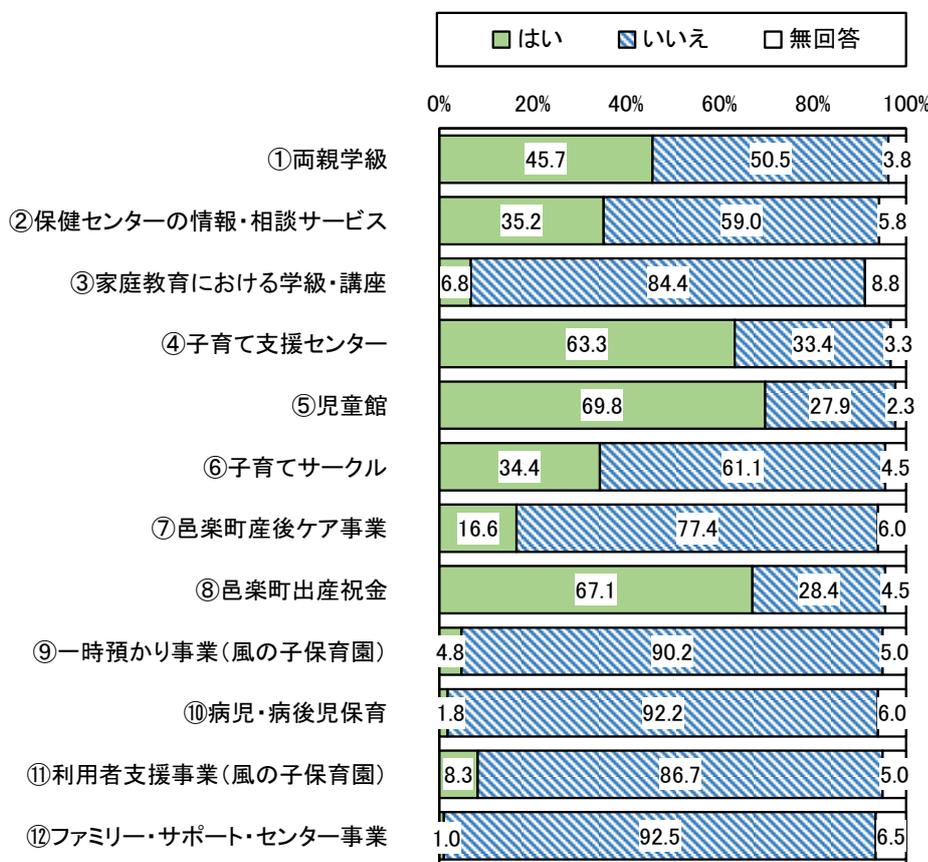
(4) 各種事業の利用状況

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「⑤児童館」（69.8%）、「⑧邑楽町出産祝金」（67.1%）、「④子育て支援センター」（63.3%）などとなっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「⑫ファミリー・サポート・センター事業」（92.5%）、「⑩病児・病後児保育」（92.2%）、「⑨一時預かり事業（風の子保育園）」（90.2%）、「⑪利用者支援事業（風の子保育園）」（86.7%）、「③家庭教育における学級・講座」（84.4%）などとなっています。

(n=398)



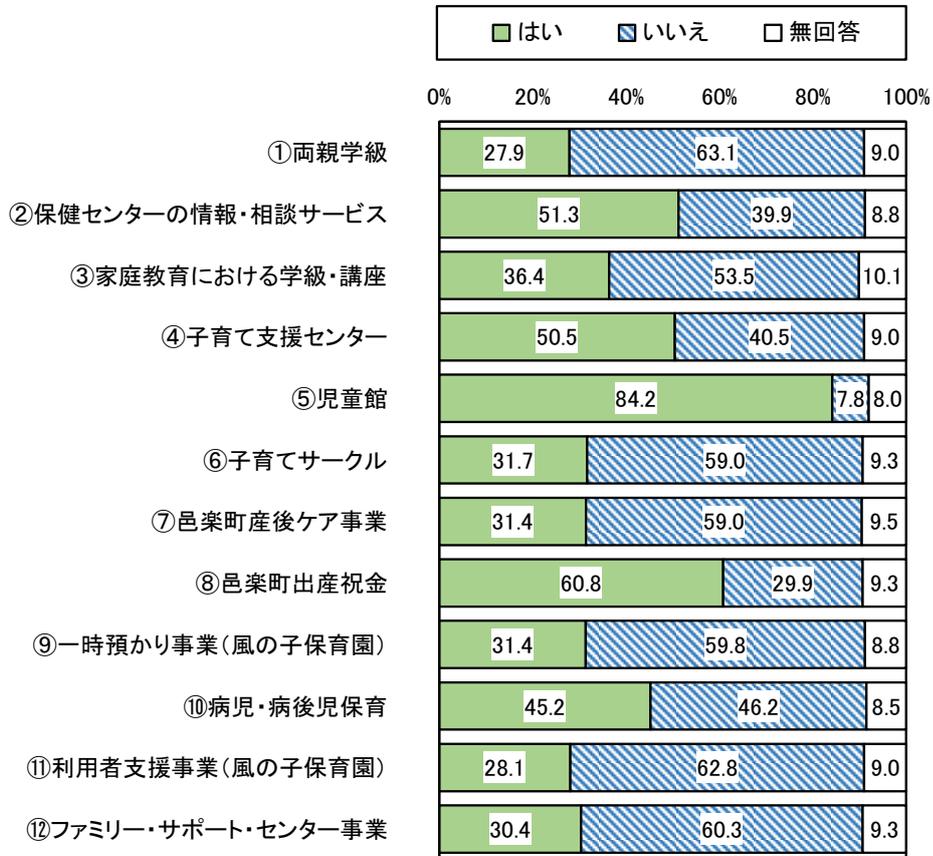
(5) 各種事業の利用意向

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(事業ごとにA~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うものを）について、「はい」が多い順に、「⑤児童館」（84.2%）、「⑧邑楽町出産祝金」（60.8%）、「②保健センターの情報・相談サービス」（51.3%）、「④子育て支援センター」（50.5%）などとなっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「①両親学級」（63.1%）、「⑪利用者支援事業（風の子保育園）」（62.8%）、「⑫ファミリー・サポート・センター事業」（60.3%）、「⑨一時預かり事業（風の子保育園）」（59.8%）などとなっています。

(n=398)



7 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

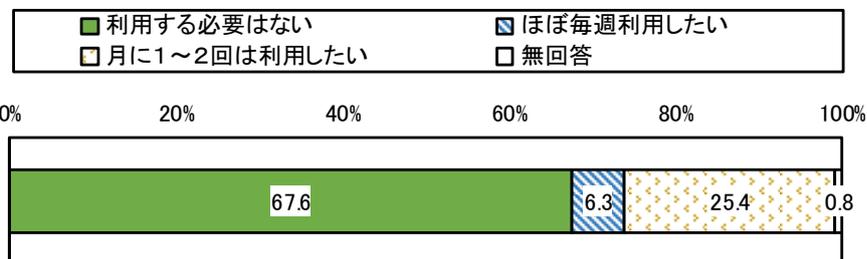
(1) 定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、数字を記入）

定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が 67.6%、「ほぼ毎週利用したい」が 6.3%、「月に1～2回は利用したい」が 25.4%となっています。

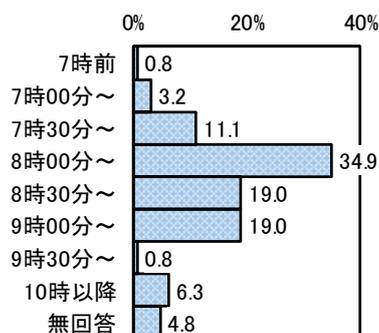
希望する利用開始時刻は、「8時00分～」が 34.9%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「17時00分～」が 18.3%で最も多くなっています。

(n=398)



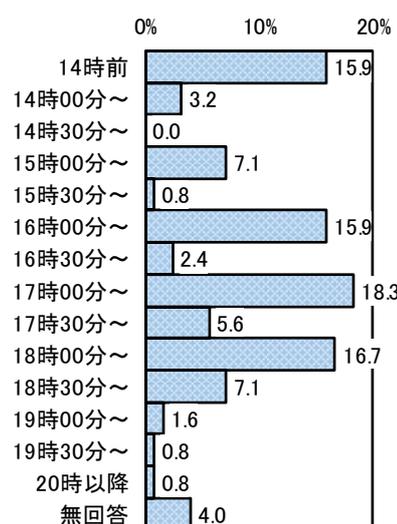
・ 利用開始時刻

(n=126)



・ 利用終了時刻

(n=126)



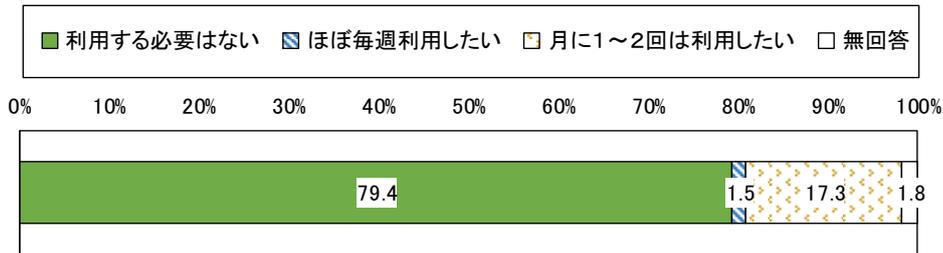
(2) 定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用は除きます)はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(それぞれ1つに○、数字を記入)

定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が79.4%、「ほぼ毎週利用したい」が1.5%、「月に1～2回は利用したい」が17.3%となっています。

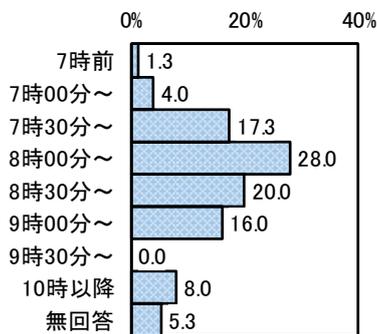
希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「8時00分～」が28.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「17時00分～」が22.7%で最も多くなっています。

(n=398)



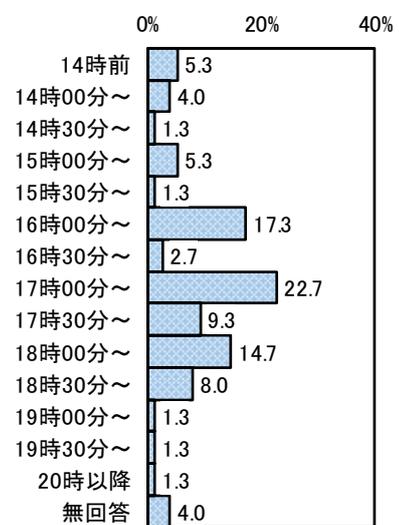
・ 利用開始時刻

(n=75)



・ 利用終了時刻

(n=75)



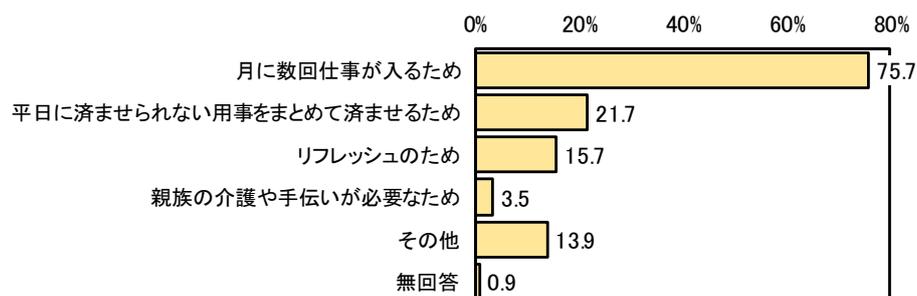
(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

問23の(1)土曜日、(2)日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

問23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が75.7%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が21.7%、「リフレッシュのため」が15.7%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が3.5%などとなっています。

(n=115)



(4) 定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

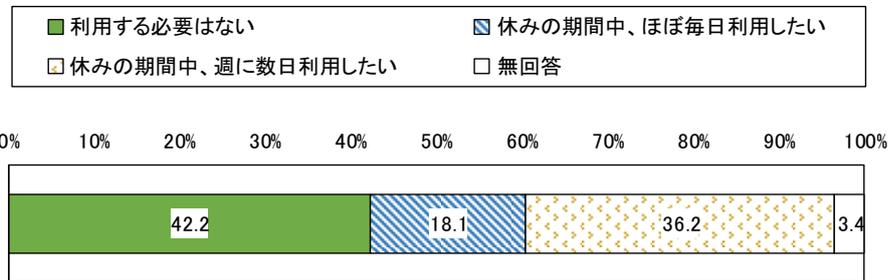
「幼稚園」または「認定こども園(教育利用)」を利用されている方のみ

問24 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(1つに○、数字を記入)

幼稚園を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「利用する必要はない」が42.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.1%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.2%となっています。

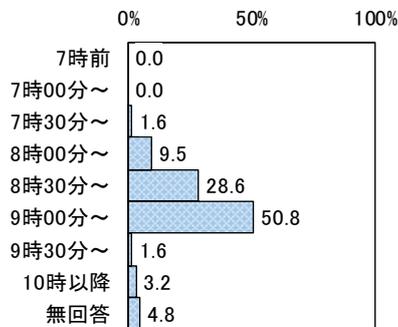
希望する長期休暇期間の利用開始時刻は、「9時00分～」が50.8%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「15時00分～」が22.2%で最も多くなっています。

(n=116)



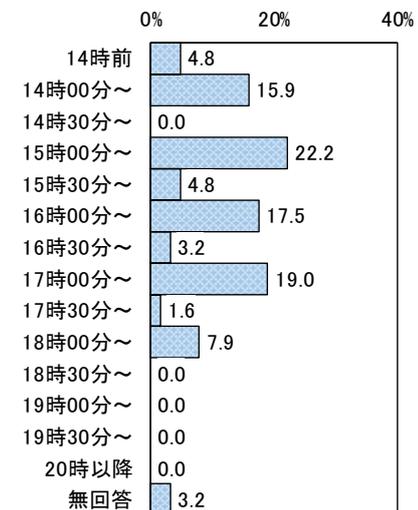
・ 利用開始時刻

(n=63)



・ 利用終了時刻

(n=63)



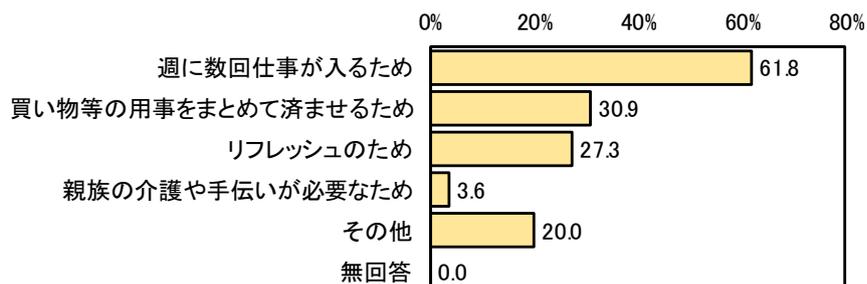
(5) 長期休暇期間中、たまに利用したい理由

問24で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

問24-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

長期休暇期間に、毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が61.8%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が30.9%、「リフレッシュのため」が27.3%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が3.6%などとなっています。

(n=55)



8 お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育事業の利用者のみ】

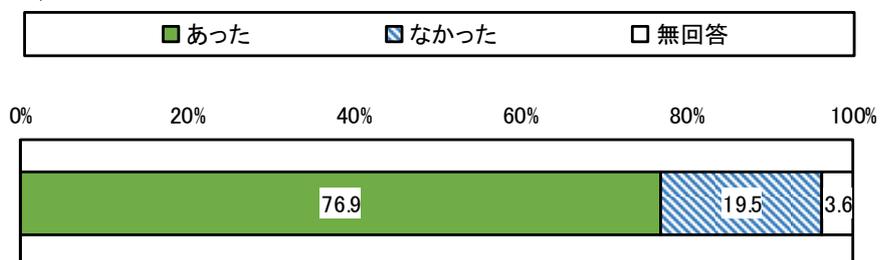
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問 15 で平日の定期的な幼稚園や保育園、認定こども園などの事業を「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

問25 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(1つに○)

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が 76.9%、「なかった」が 19.5%となっています。

(n=303)



(2) 事業が利用できなかった場合の対処方法

問25で「1. あった」に○をつけた方のみ

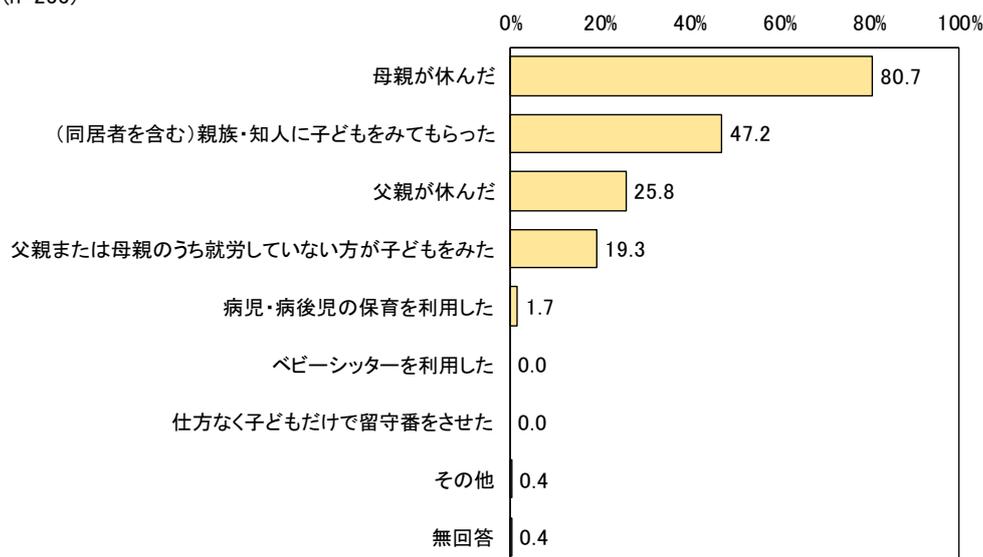
問25-1 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。

(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が80.7%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が47.2%、「父親が休んだ」が25.8%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が19.3%、「病児・病後児の保育を利用した」が1.7%となっています。

1年間の対処日数は、「父親が休んだ」と「母親が休んだ」と「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」と「病児・病後児保育を利用した」が、いずれも「1～5日」が最も多くなっており、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」は、「6～10日」と「16～30日」が最も多くなっています。

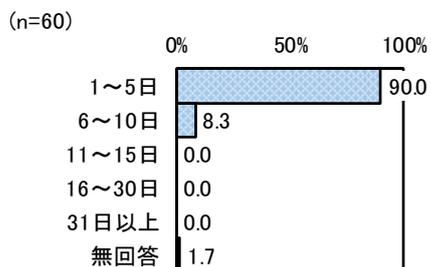
(n=233)



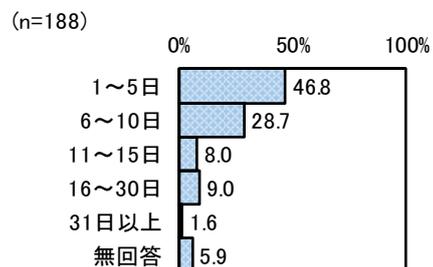
第2章 就学前児童保護者

【1年間の対処日数】

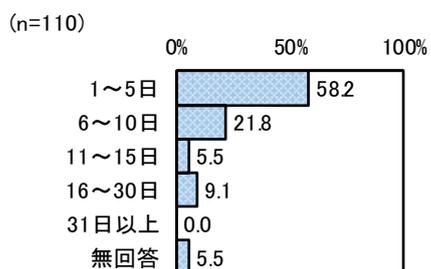
・父親が休んだ



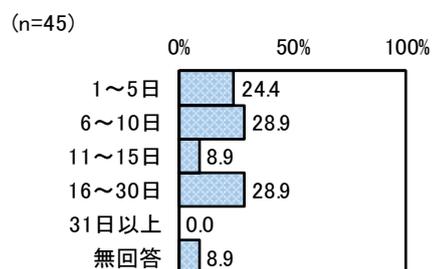
・母親が休んだ



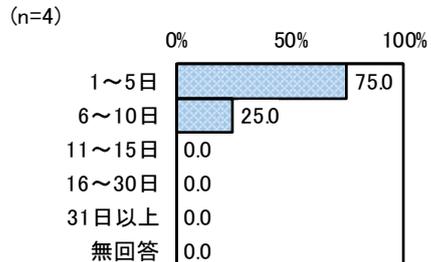
・親族・知人にみてもらった



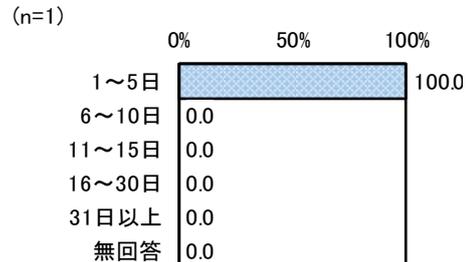
・父母のうち就労していない方が子どもをみた



・病児・病後児の保育を利用した



・その他の対処



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

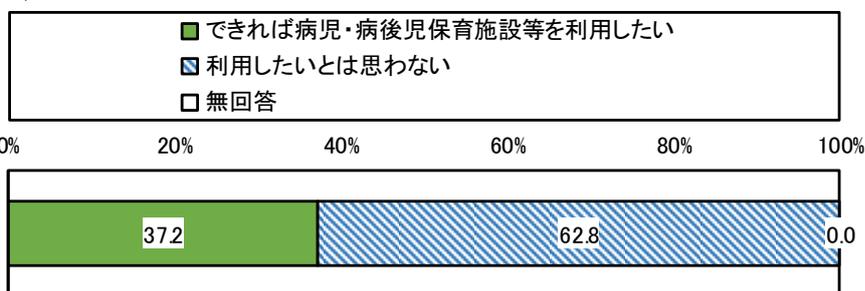
問25-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ

問25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が37.2%、「利用したいとは思わない」が62.8%となっています。

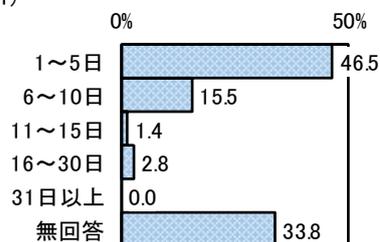
希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は「1～5日」が46.5%で最も多くなっています。

(n=191)



・ 1年間の利用日数

(n=71)



(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

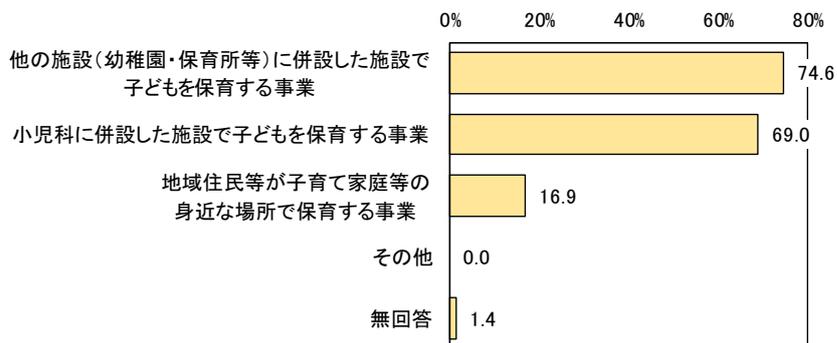
問25-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ

問25-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。

(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 74.6%で最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 69.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が 16.9%となっています。

(n=71)

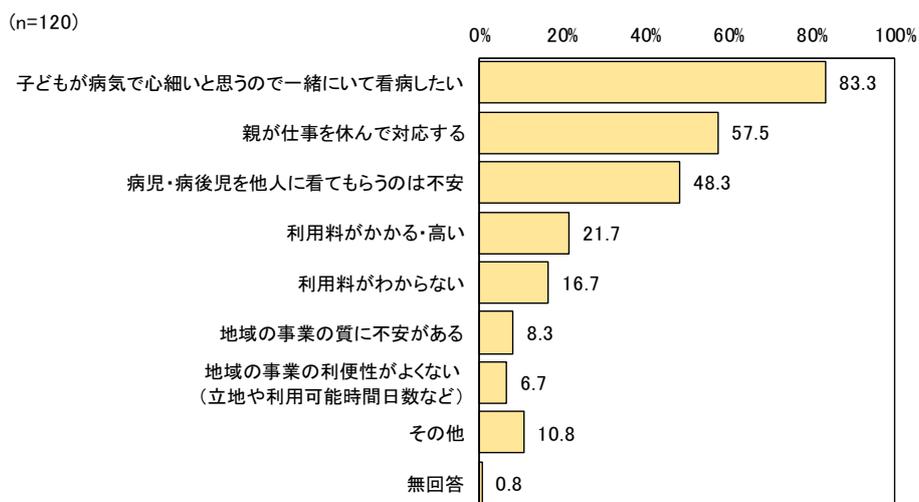


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問25-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ

問25-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて看病したい」が83.3%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が57.5%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が48.3%、「利用料がかかる・高い」が21.7%、「利用料がわからない」が16.7%などとなっています。



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

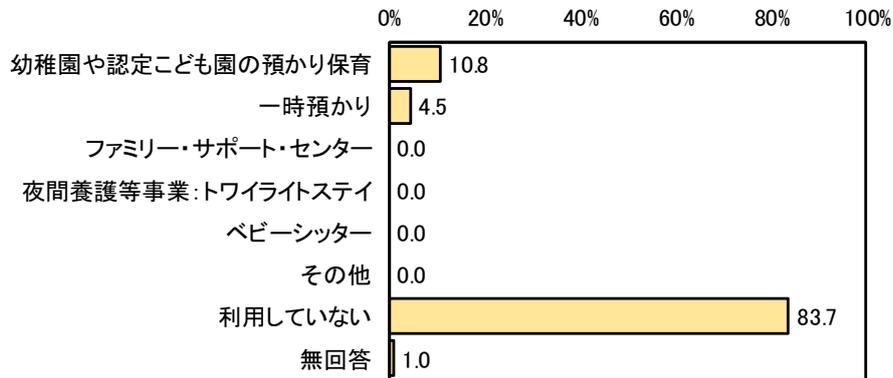
(1) 利用している不定期の教育・保育の事業

問26 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

利用している不定期の教育・保育の事業は、「幼稚園の預かり保育」が10.8%「一時預かり」が4.5%となっています。

1年間の利用日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

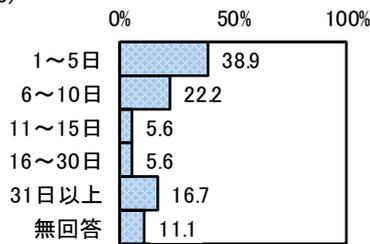
(n=398)



【1年間の利用日数】

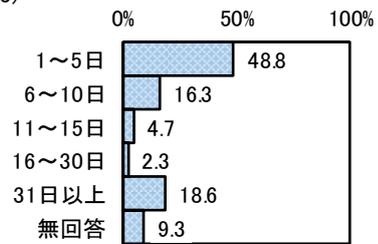
・一時預かり保育

(n=18)



・幼稚園の預かり保育

(n=43)



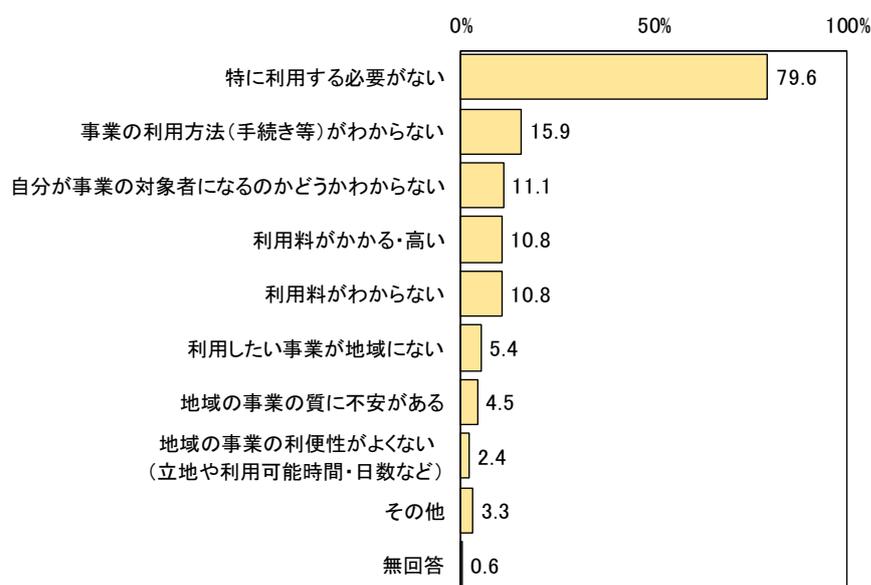
(2) 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問26で「7. 利用していない」に○をつけた方のみ

問26-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が79.6%で最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が15.9%、「自分が事業の対象になるのかどうかわからない」が11.1%、「利用料がかかる・高い」と「利用料がわからない」がともに10.8%などとなっています。

(n=333)



(3) 私用等の目的での事業の利用希望

問27 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

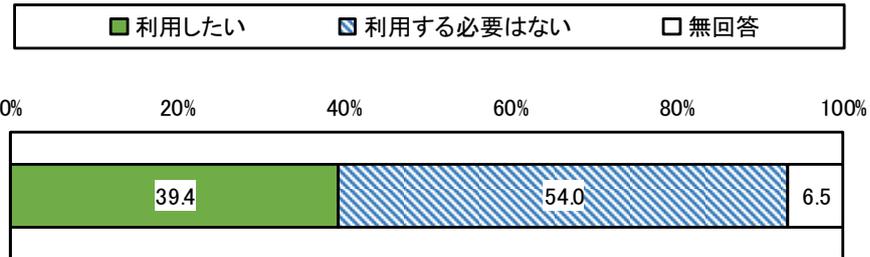
私用等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」が39.4%、「利用する必要はない」が54.0%となっています。

利用したい場合の1年間の合計日数は、「6～10日」と「16～30日」がともに19.7%で最も多くなっています。

事業の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が67.5%で最も多く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が47.1%、「不特定の就労」が36.9%などとなっています。

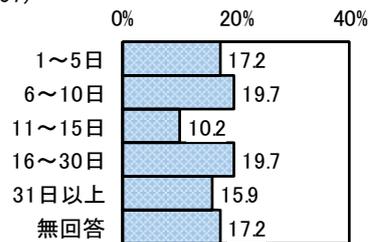
また、それぞれ1年間に必要な日数は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」と「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は、「1～5日」が最も多くなっており、「不特定の就労」は、「6～10日」が最も多くなっています。

(n=398)



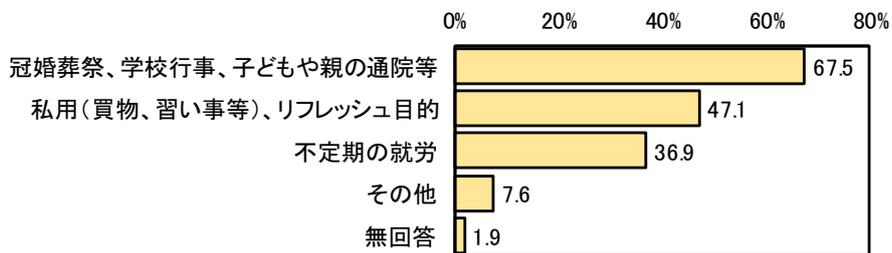
・ 利用したい場合の1年間の合計日数

(n=157)



・事業の利用目的

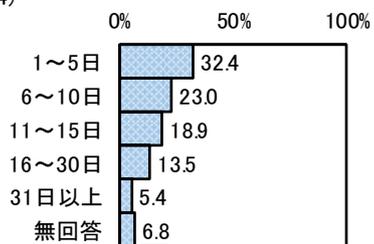
(n=157)



【1年間に必要な日数】

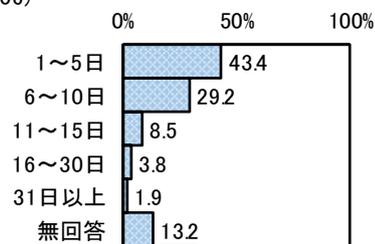
・私用、リフレッシュ目的

(n=74)



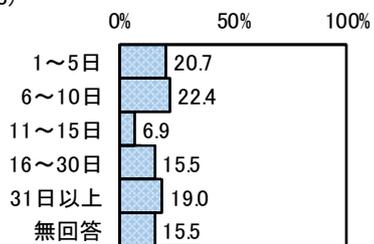
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

(n=106)



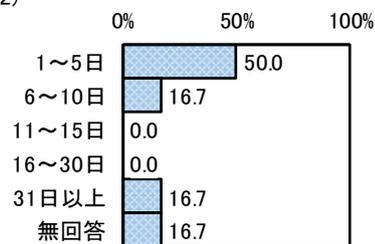
・不定期の就労

(n=58)



・その他の目的

(n=12)



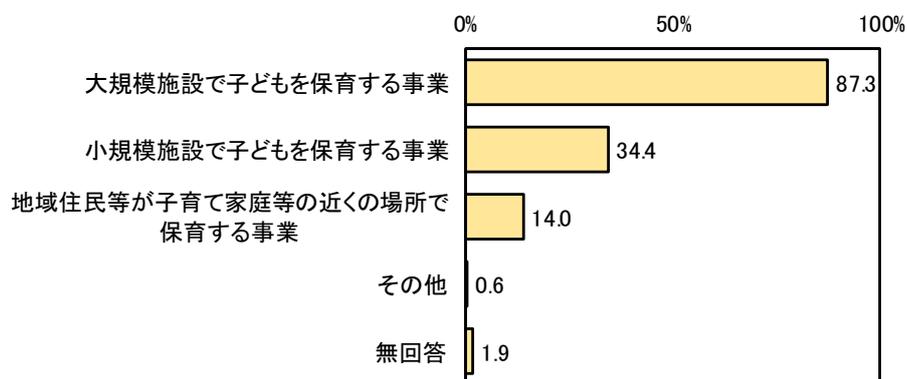
(4) 私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態

問27で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ

問27-1 問27の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

私用等の目的で利用する事業の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育園・認定こども園等）」が87.3%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）」が34.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が14.0%などとなっています。

(n=157)



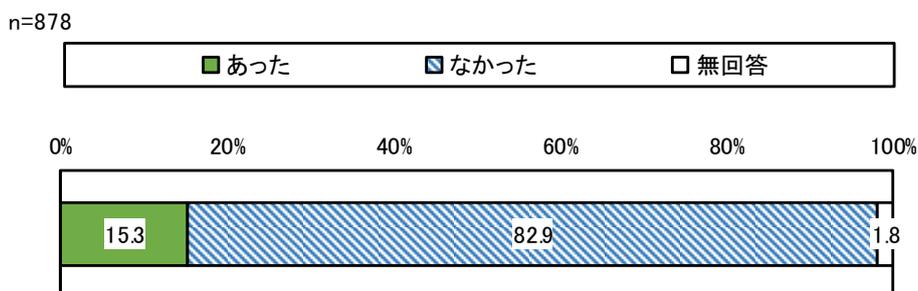
(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

問28 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「あった」が15.3%、「なかった」が82.9%となっています。

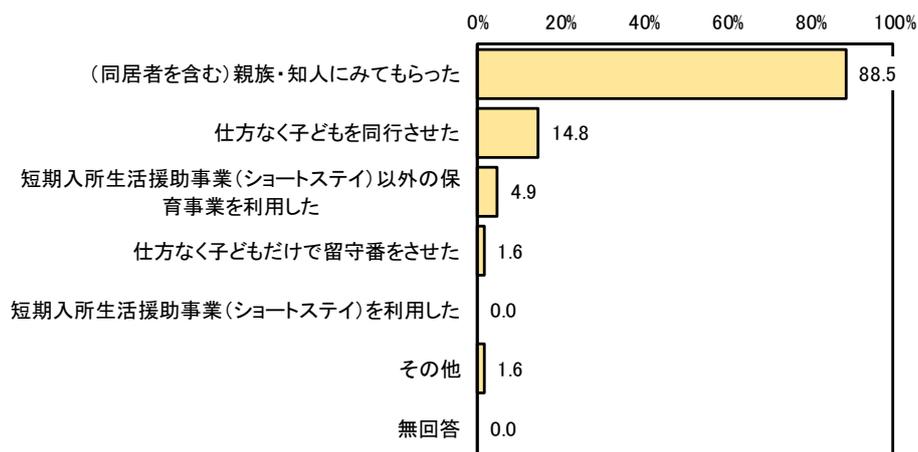
対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が88.5%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が14.8%、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業を利用した(認可外保育施設、ベビーシッター等)」が4.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が1.6%となっています。

1年間の対処泊数は、いずれも「1～5泊」が最も多くなっています。



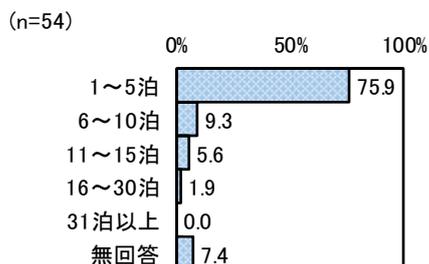
・ 対処方法

(n=61)

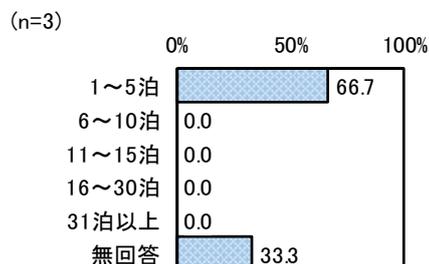


【1年間の対処泊数】

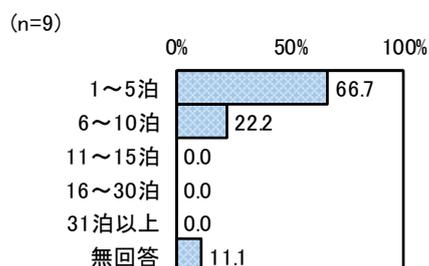
・親族・知人にみてもらった



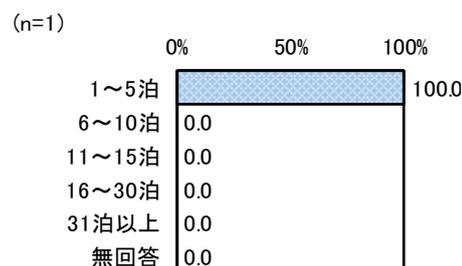
・その他の保育事業を利用した



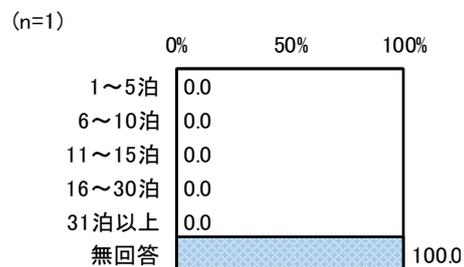
・子どもを同行させた



・子どもだけで留守番をさせた



・その他の対処



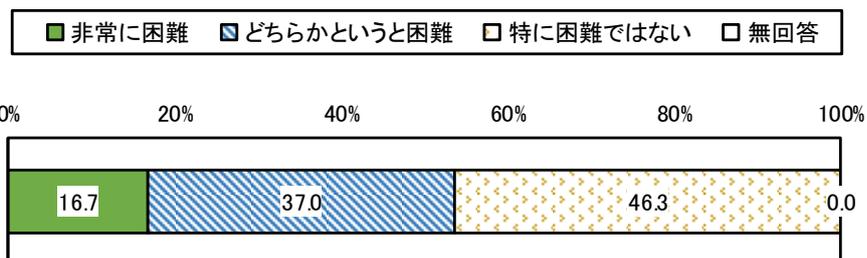
(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

問28で「ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方のみ

問28-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「非常に困難」が 16.7%、「どちらかという困難」が 37.0%、「特に困難ではない」が 46.3%となっています。

(n=54)



10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する低学年時の放課後の過ごし方

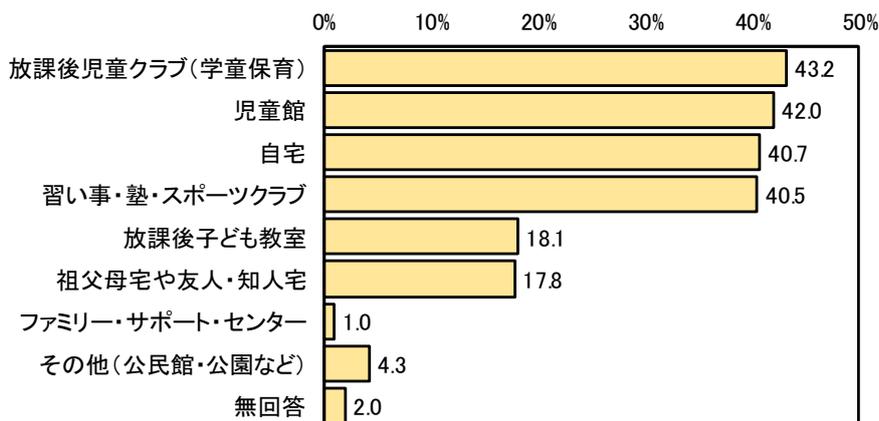
問29 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も[]内に数字でご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ(学童保育)」が43.2%で最も多く、次いで「児童館」が42.0%、「自宅」が40.7%、「習い事・塾・スポーツクラブ」が40.5%、「放課後子ども教室」が18.1%などとなっています。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時00分～」が28.5%で最も多くなっています。

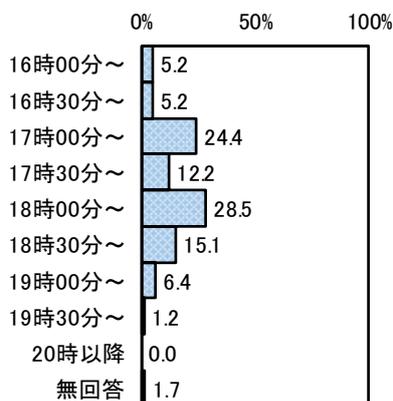
なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事・塾・スポーツクラブ」と「放課後子ども教室」は「1日」、「自宅」は「2日」、「児童館」と「放課後児童クラブ(学童保育)」と「ファミリー・サポート・センター」は「5日」がそれぞれ多くなっています。

(n=398)



・放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻

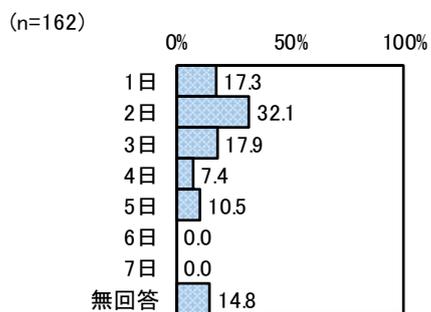
(n=172)



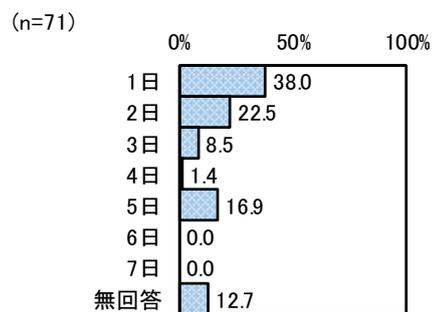
第2章 就学前児童保護者

【1週あたりの利用日数】

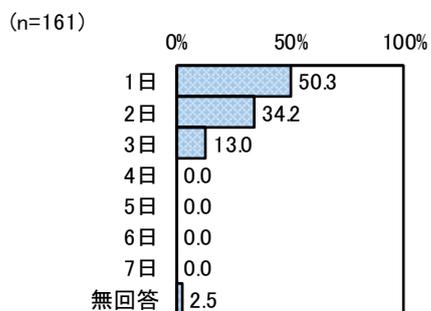
・ 自宅



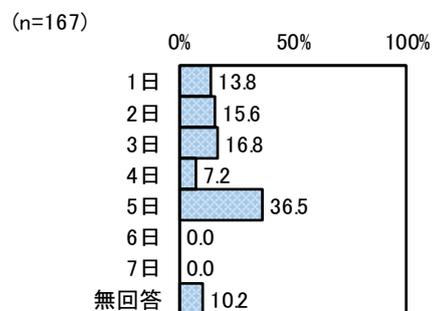
・ 祖父母宅や友人・知人宅



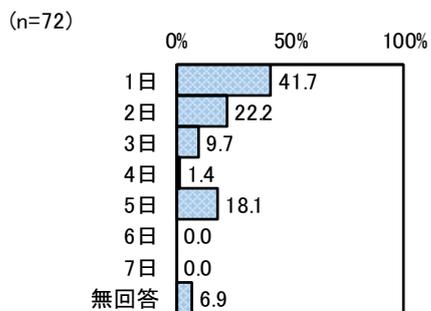
・ 習い事



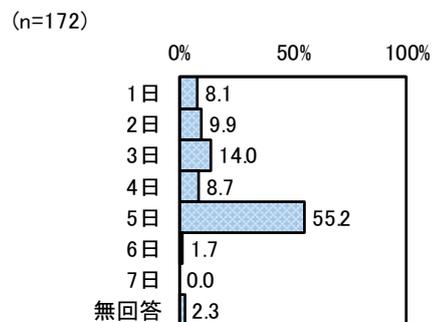
・ 児童館



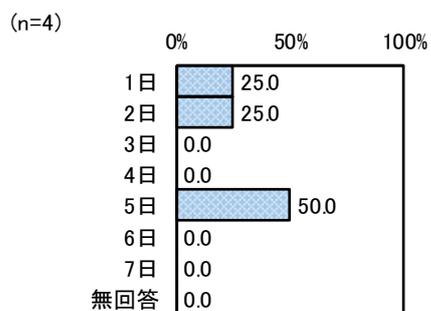
・ 放課後子ども教室



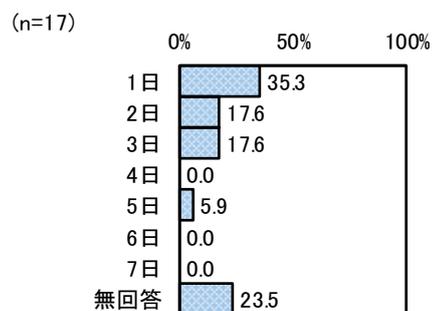
・ 放課後児童クラブ (学童保育)



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



(2) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

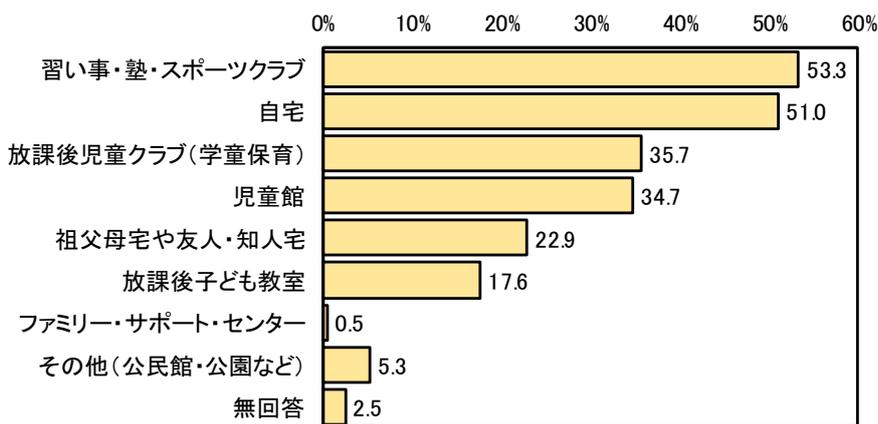
問30 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになる方も、現在お持ちのイメージでお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「習い事・塾・スポーツクラブ」が53.3%で最も多く、次いで「自宅」が51.0%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が35.7%、「児童館」が34.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が22.9%などとなっています。

放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻は、「18時00分～」が23.9%で最も多くなっています。

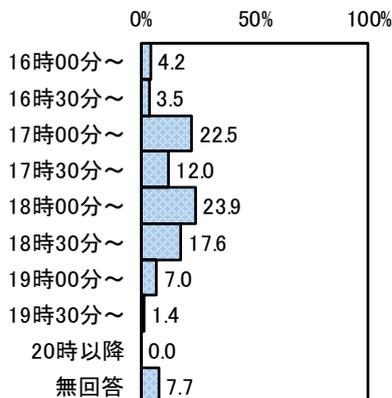
なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後子ども教室」は「1日」、「自宅」と「習い事・塾・スポーツクラブ」は「2日」、「児童館」と「放課後児童クラブ(学童保育)」と「ファミリー・サポート・センター」は「5日」がそれぞれ多くなっています。

(n=398)



・放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻

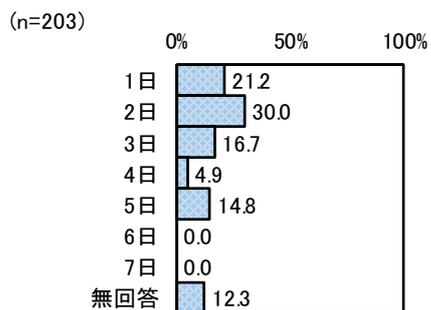
(n=142)



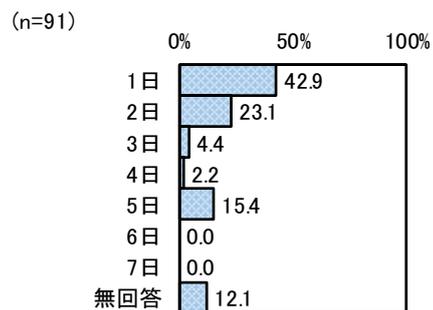
第2章 就学前児童保護者

【1週あたりの利用日数】

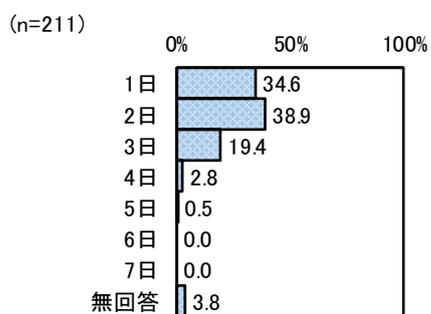
・ 自宅



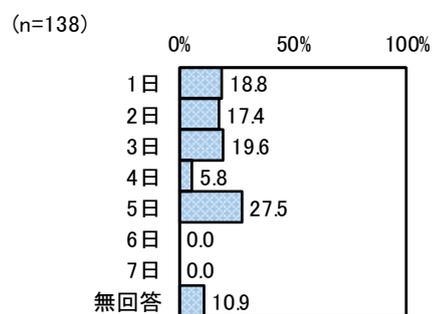
・ 祖父母宅や友人・知人宅



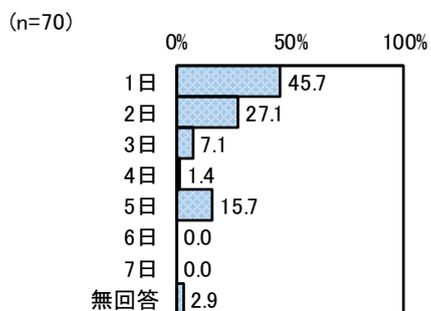
・ 習い事



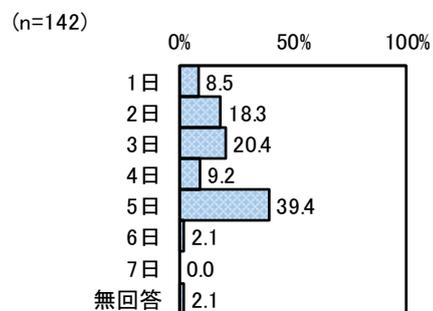
・ 児童館



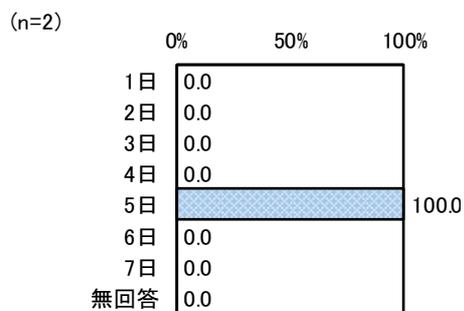
・ 放課後子ども教室



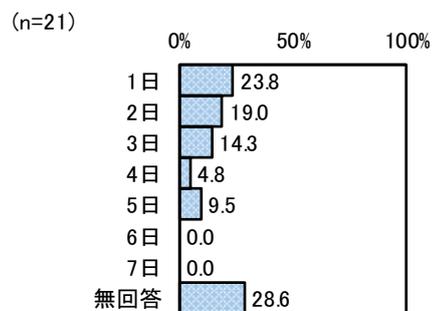
・ 放課後児童クラブ (学童保育)



・ ファミリー・サポート・センター



・ その他の過ごし方



(3) 土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

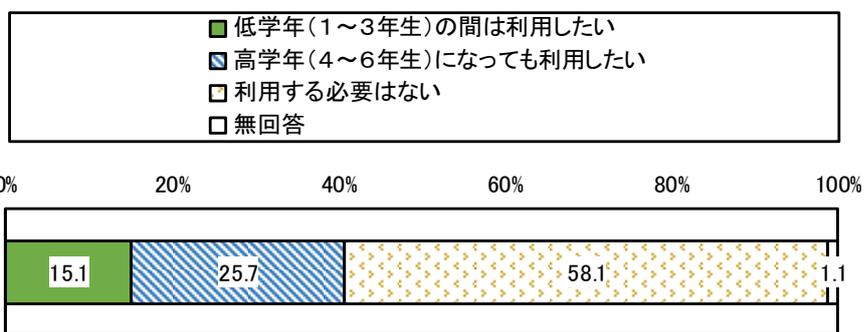
問29または問30で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ

問31 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
(それぞれ1つに○、数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が15.1%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が25.7%、「利用する必要はない」が58.1%となっています。

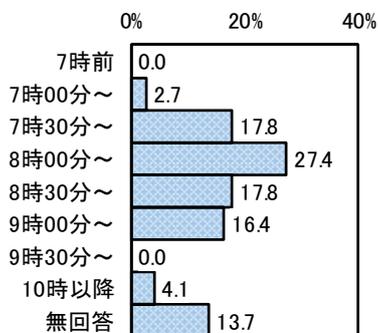
希望する利用開始時刻は「8時00分~」が27.4%で最も多く、利用終了時刻は「18時00分~」が23.3%で最も多くなっています。

(n=179)



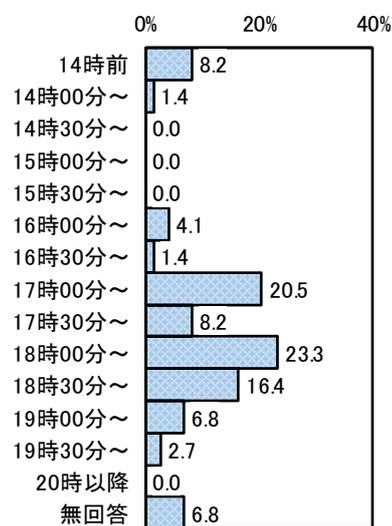
・ 利用開始時刻

(n=73)



・ 利用終了時刻

(n=73)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

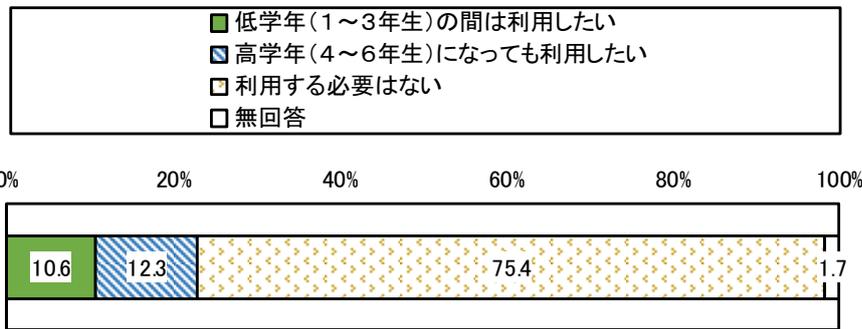
問29または問30で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ

問31 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 (それぞれ1つに○、数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が10.6%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が12.3%、「利用する必要はない」が75.4%となっています。

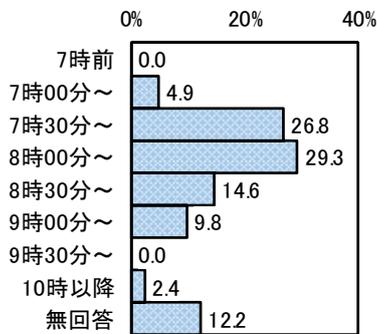
希望する利用開始時刻は「8時00分~」が29.3%で最も多く、利用終了時刻は「18時00分~」26.8%で最も多くなっています。

(n=22)



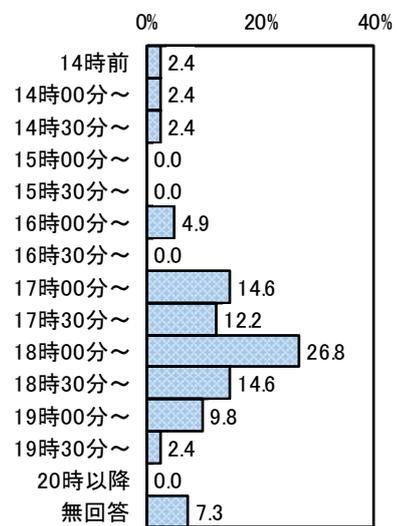
・ 利用開始時刻

(n=41)



・ 利用終了時刻

(n=41)

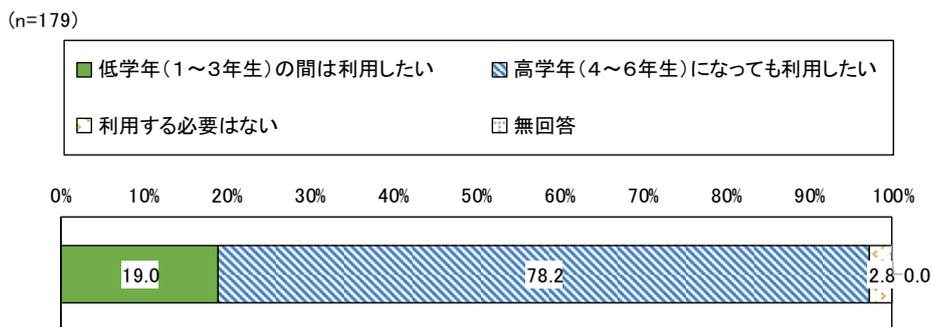


(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

問32 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。(1つに○、数字を記入)

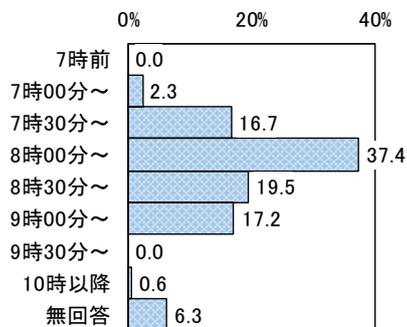
長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が19.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が78.2%、「利用する必要はない」が2.8%となっています。

希望する利用開始時刻は「8時00分～」が37.4%で最も多く、利用終了時刻は「18時00分～」が25.9%で最も多くなっています。



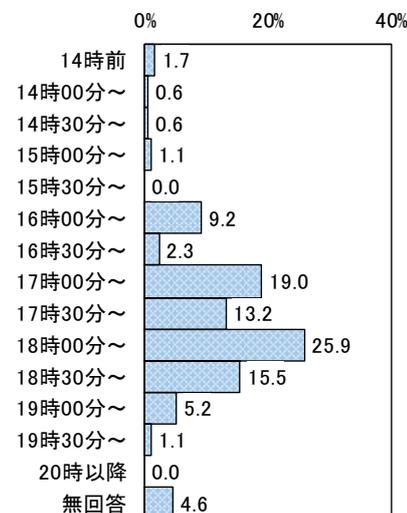
・ 利用開始時刻

(n=174)



・ 利用終了時刻

(n=174)



11 職場の両立支援制度について

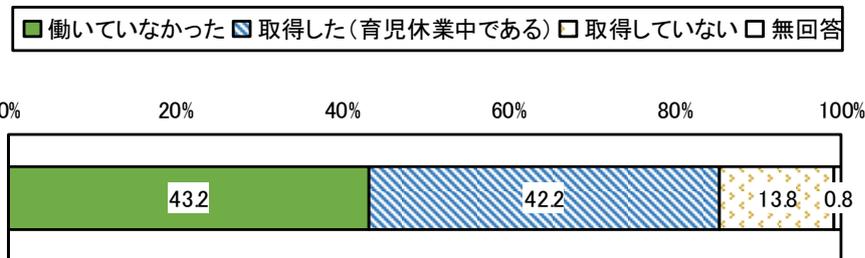
(1) 母親の育児休業の取得状況

問33 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ1つに○、取得していない理由を記入)

母親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が43.2%、「取得した（育児休業中である）」が42.2%、「取得していない」が13.8%となっています。

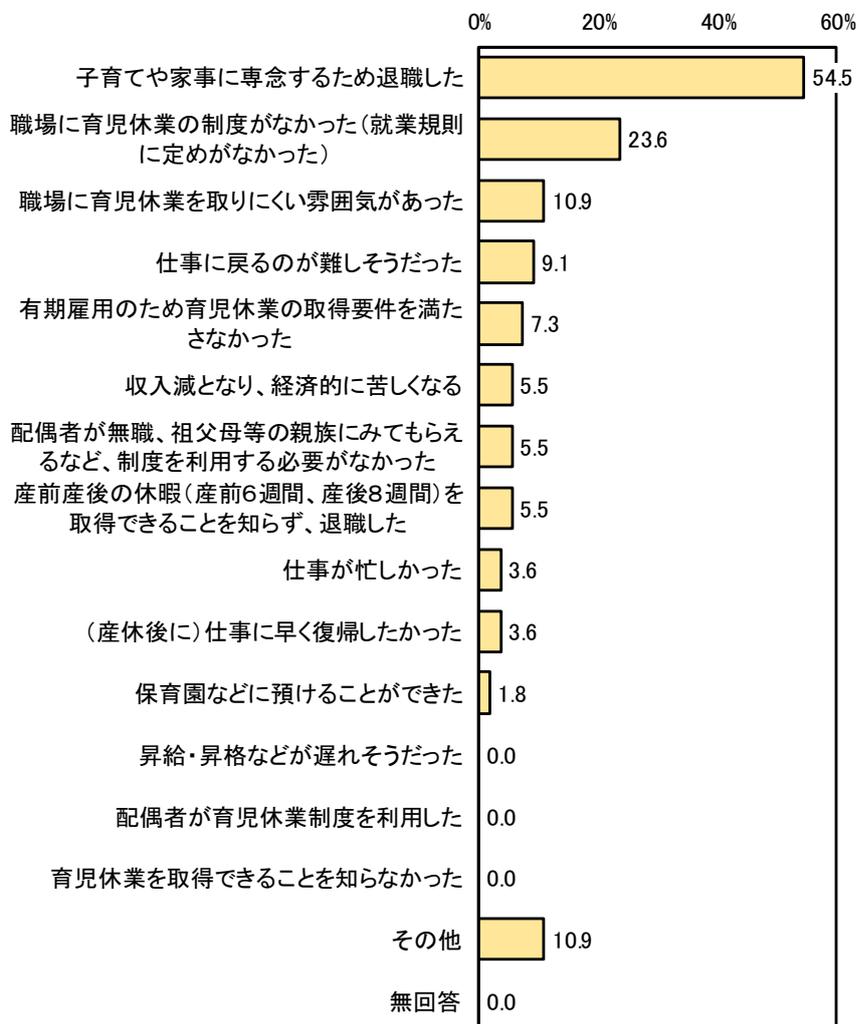
育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が54.5%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が23.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が10.9%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が9.1%などとなっています。

(n=398)



・母親が育児休業を取得していない理由

(n=55)



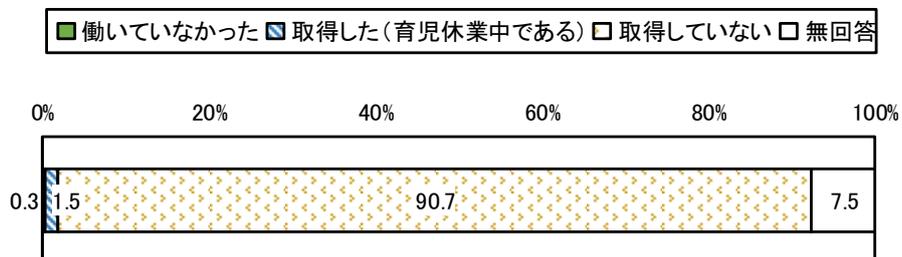
(2) 父親の育児休業の取得状況

問33 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ1つに○、取得していない理由を記入)

父親の育児休業の取得状況は、「働いていなかった」が0.3%、「取得した(育児休業中である)」が1.5%、「取得していない」が90.7%となっています。

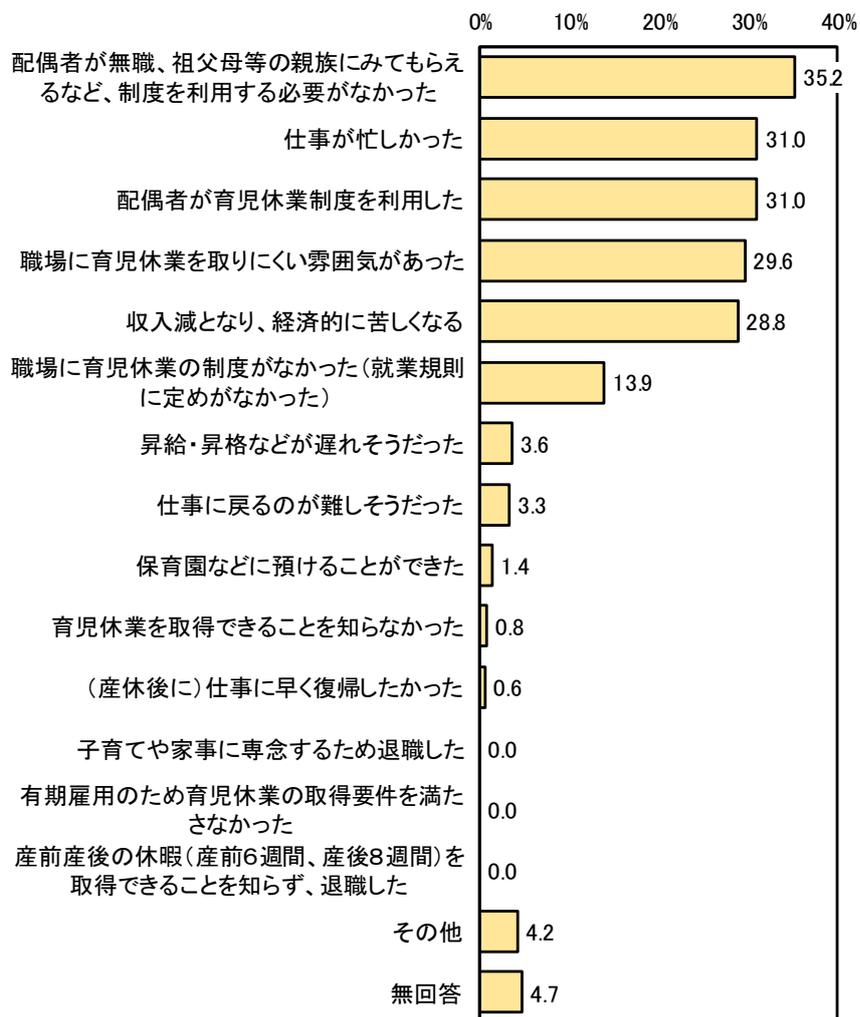
育児休業を取得していない理由は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.2%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」と「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに31.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が29.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.8%などとなっています。

(n=398)



・父親が育児休業を取得していない理由

(n=361)



(3) 育児休業取得後の状況

問33で「2. 取得した(育児休業中である)」に○をつけた方のみ(該当しない方 ⇒ 問34 へ)

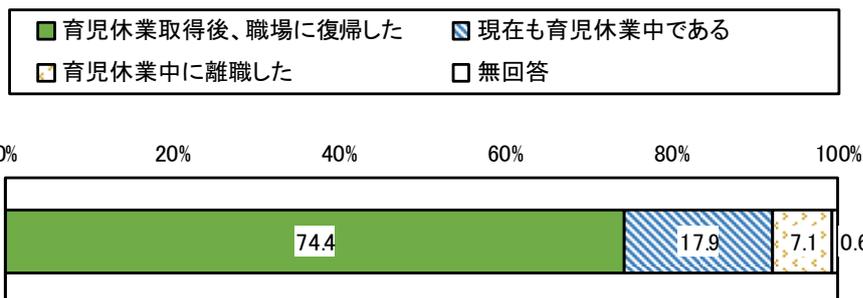
問33-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

母親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 74.4%、「現在も育児休業中である」が 17.9%、「育児休業中に離職した」が 7.1%となっています。

また、父親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 100.0%となっています。

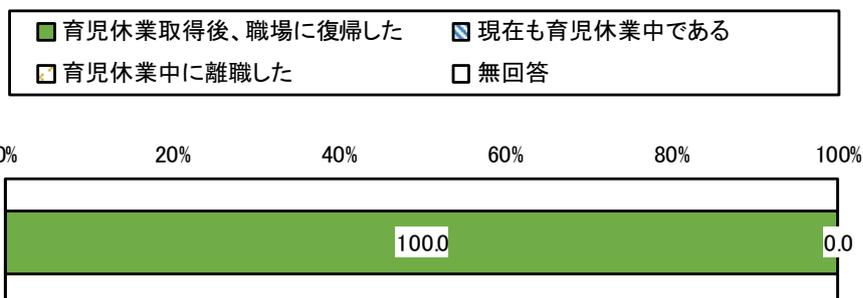
・母親の育児休業取得後の状況

(n=168)



・父親の育児休業取得後の状況

(n=6)



(4) 3歳まで休暇を取得できる場合の職場に復帰する時期

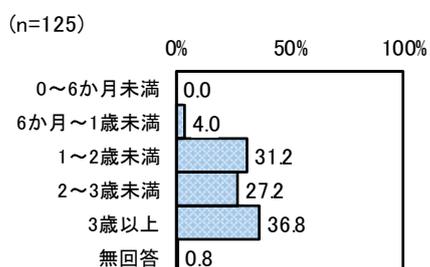
問33-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問33-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様は何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数字を記入)

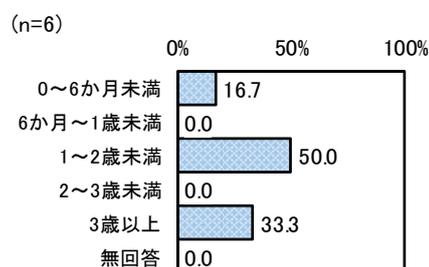
3歳まで休暇を取得できる場合、母親が希望する職場への復帰時期は、「3歳以上」が36.8%で最も多く、次いで「1～2歳未満」が31.2%、「2～3歳未満」が27.2%、「6か月～1歳未満」が4.0%となっています。

一方、父親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が50.0%で最も多く、次いで「3歳以上」が33.3%、「0～6か月未満」が16.7%となっています。

・母親の希望の復帰時期



・父親の希望の復帰時期



(5) 育児休業から職場に復帰する時期

問33-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問33-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
(それぞれ数字を記入)

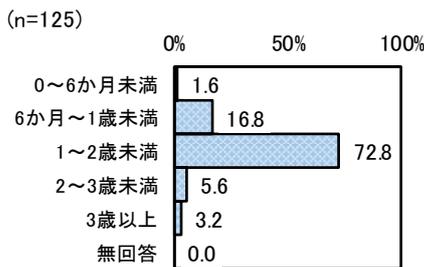
母親が職場に復帰した時期は、「1～2歳未満」が72.8%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が16.8%、「2～3歳未満」が5.6%、「3歳以上」が3.2%、「0～6か月未満」が1.6%となっています。

一方、母親が希望する職場への復帰時期は、「1～2歳未満」が52.8%で最も多く、次いで「3歳以上」が16.8%、「2～3歳未満」が16.0%、「6か月～1歳未満」が7.2%、「0～6か月未満」が0.8%となっています。

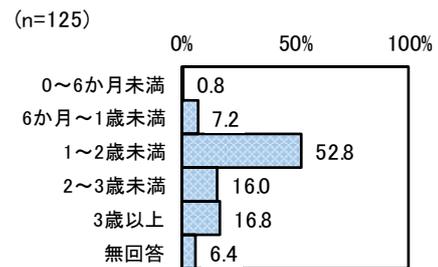
また、父親が職場に復帰した時期は、「0～6か月未満」が66.7%で最も多くなっています。

父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6か月未満」と「6か月～1歳未満」と「1～2歳未満」がいずれも33.3%となっています。

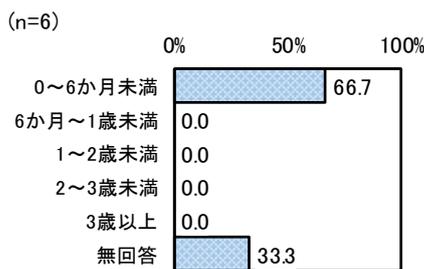
・ 母親の実際の復帰時期



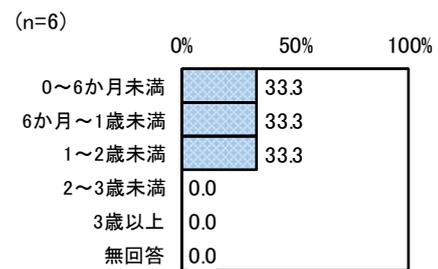
・ 母親の希望の復帰時期



・ 父親の実際の復帰時期



・ 父親の希望の復帰時期



(6) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由

問33-3で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ

問33-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

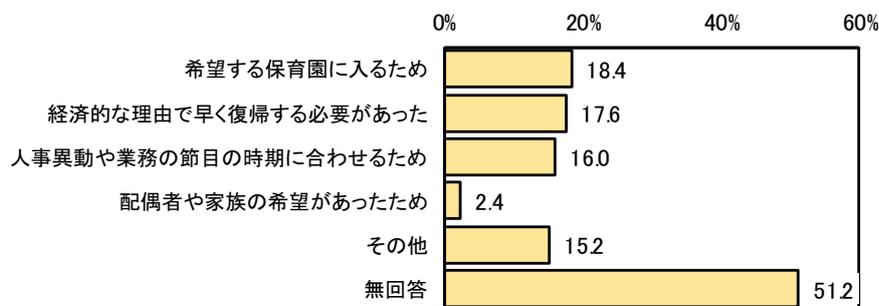
(1) 希望より早く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

母親が希望より早く復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」が18.4%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が17.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.0%、「配偶者や家族の希望があったため」が2.4%などとなっています。

一方、父親が希望より早く復帰した理由は、「配偶者や家族の希望があったため」、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」がともに33.3%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.7%などとなっています。

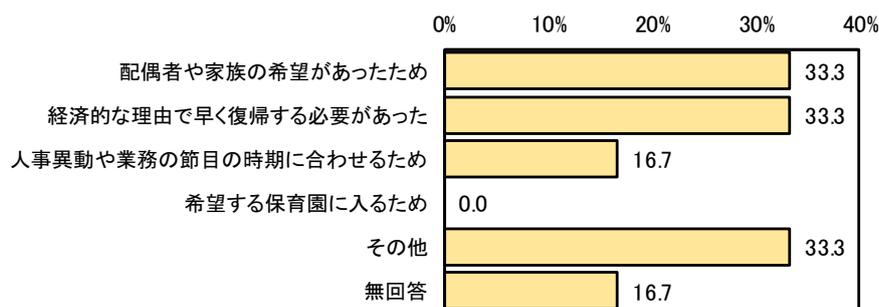
・ 母親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）

(n=125)



・ 父親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）

(n=6)



(7) 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由

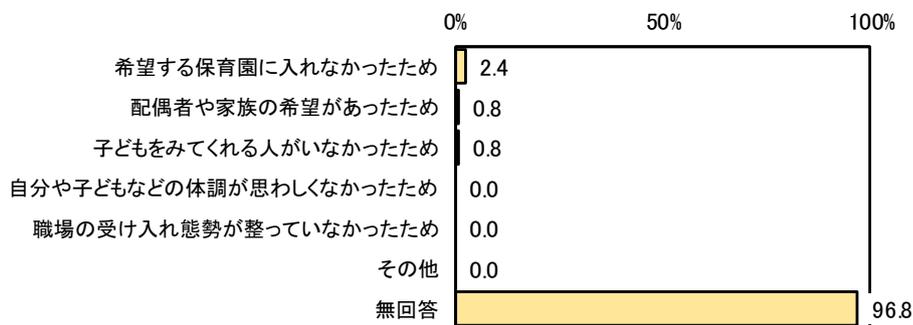
問33-3で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
 問33-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。
 (2) 希望より遅く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

母親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育園に入れなかったため」が2.4%、「配偶者や家族の希望があったため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに0.8%となっています。

父親が希望より遅く復帰した理由は、回答者がいませんでした。

- ・母親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由（遅く復帰した家庭のみの集計）

(n=125)



(8) 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向

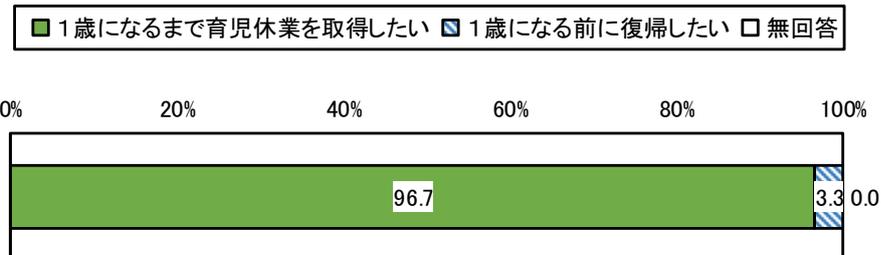
問33-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ
 問33-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
 (それぞれ1つに○)

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が96.7%、「1歳になる前に復帰したい」が3.3%となっています。

一方、父親の意向は、回答者がいませんでした。

- ・子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向

(n=30)



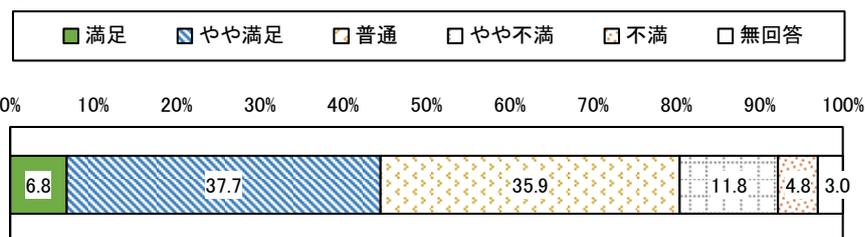
12 子育て支援施策全般について

(1) 子育ての環境や支援への満足度

問34 お住まいの地域の子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してあてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

子育ての環境や支援への満足度は、満足度が高い順に、「満足」が6.8%、「やや満足」が37.7%、「普通」が35.9%、「やや不満」が11.8%、「不満」が4.8%となっています。

(n=398)

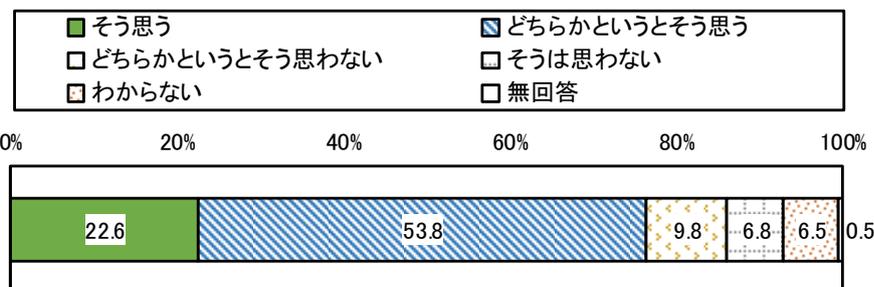


(2) 子育てのしやすさについて

問35 邑楽町は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

町が子育てしやすいと思うかどうかは、「そう思う」が22.6%、「どちらかというと思う」が53.8%、「どちらかというと思わない」が9.8%、「そうは思わない」が6.8%となっています。

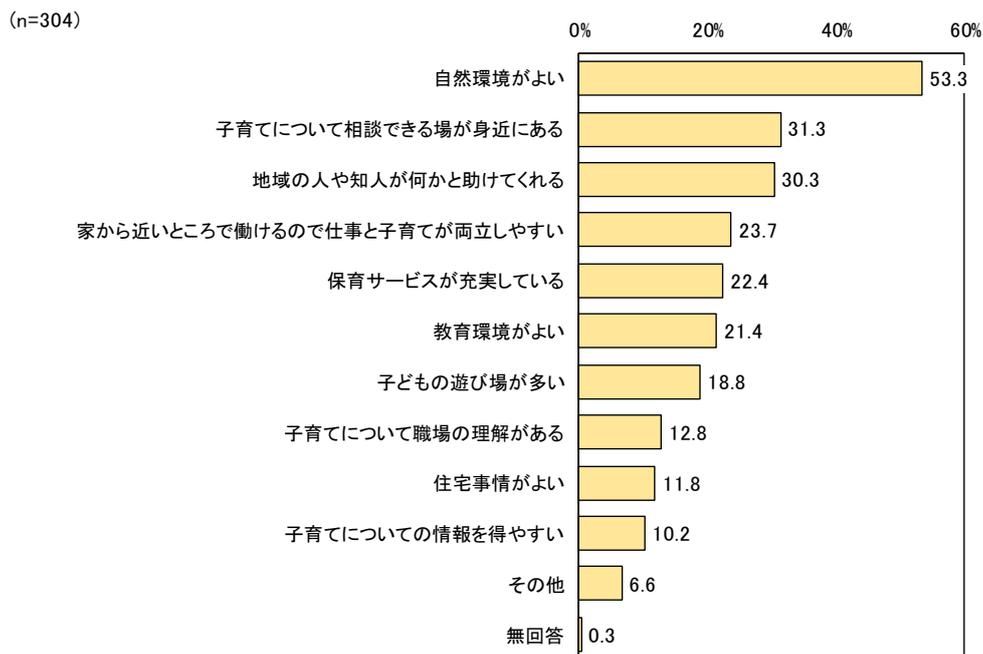
(n=398)



(3) 子育てしやすいと思う理由

問35で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方
 問35-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

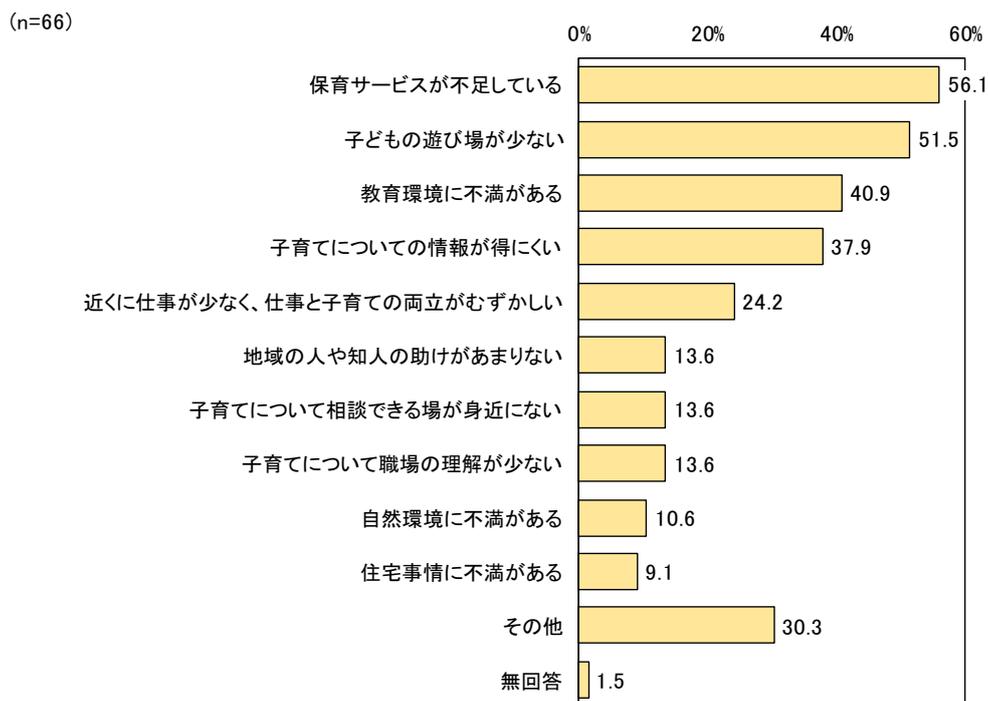
町が子育てしやすいと思う理由は、「自然環境がよい」が53.3%で最も多く、次いで「子育てについて相談できる場が身近にある」が31.3%、「地域の人や知人が何かと助けてくれる」が30.3%、「家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい」が23.7%、「保育サービスが充実している」が22.4%などとなっています。



(4) 子育てしやすいと思わない理由

問35で「3 どちらかというと思わない」または「4 そうは思わない」とお答えの方
問35-2 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○

町が子育てしやすいと思わない理由は、「保育サービスが不足している」が56.1%で最も多く、次いで「子どもの遊び場が少ない」が51.5%、「教育環境に不満がある」が40.9%、「子育てについての情報が得にくい」が37.9%などとなっています。

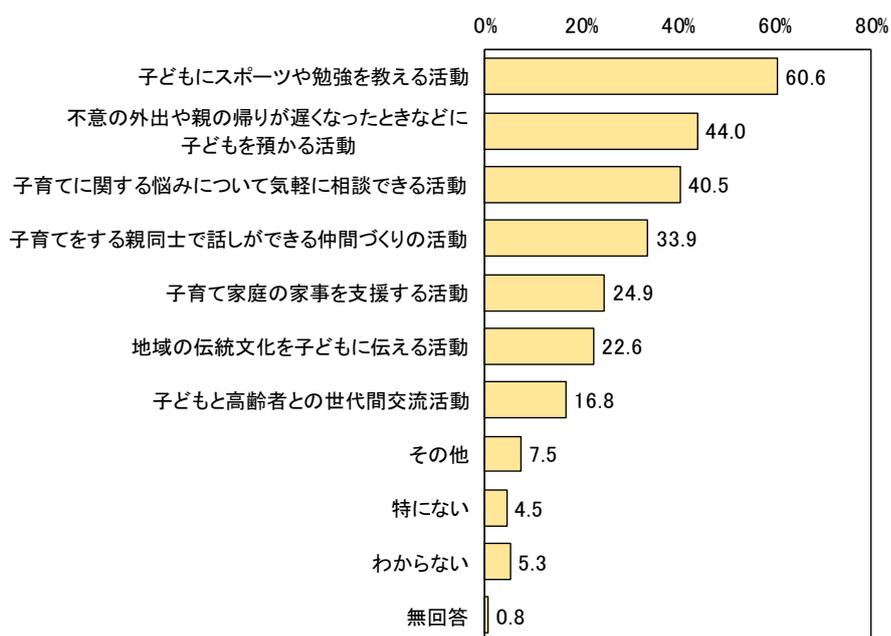


(5) 子育てしやすいまちにするための活動

問36 身近な地域で、子育てに関するどのような活動が充実したら、より子育てしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てしやすいまちにするための活動は、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」が60.6%で最も多く、次いで「不意の外出や親の帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる活動」が44.0%、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる活動」が40.5%、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」が33.9%、「子育て家庭の家事を支援する活動」が24.9%などとなっています。

(n=398)

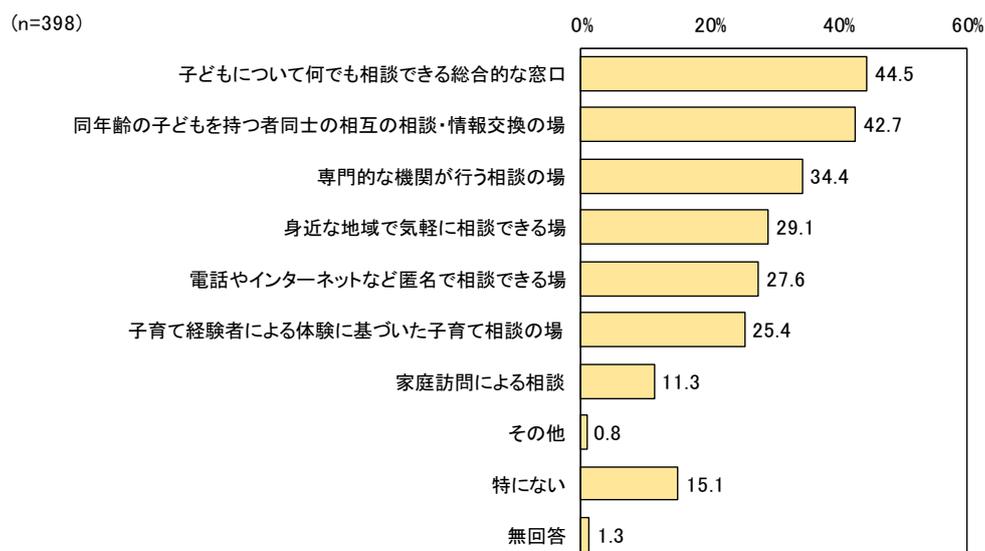


(6) 希望する子育てに関する相談場所

問37 今後、子育てについての相談場所として、どのような場の充実を希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)

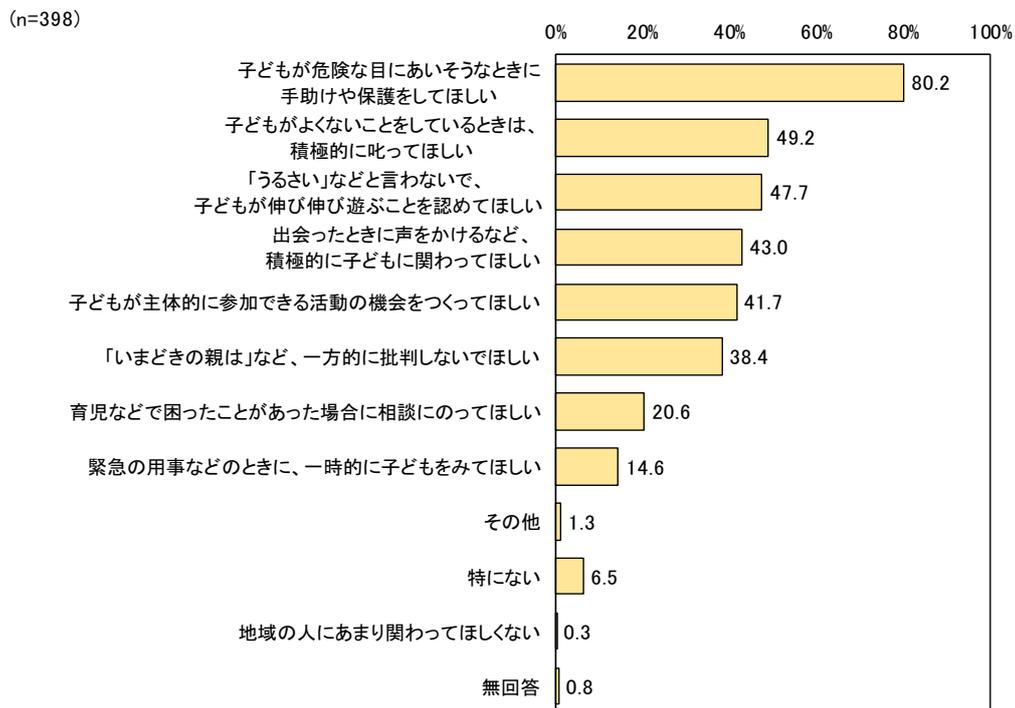
希望する子育てに関する相談場所は、「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が44.5%で最も多く、次いで「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場」が42.7%、「専門的な機関が行う相談の場」が34.4%、「身近な地域で気軽に相談できる場」が29.1%、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」が27.6%などとなっています。



(7) 子育てについて地域に望むこと

問38 お子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

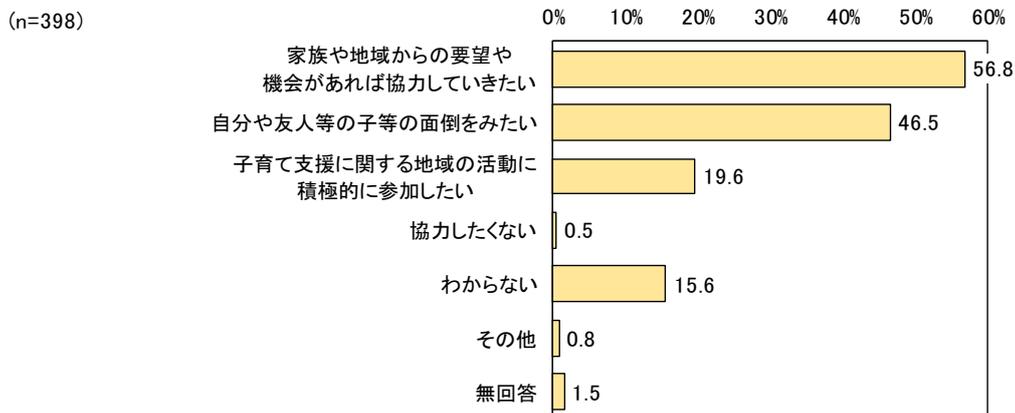
子育てについて地域に望むことは、「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」が80.2%で最も多く、次いで「子どもがよくないことをしているときは、積極的に叱ってほしい」が49.2%、「『うるさい』などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい」が47.7%、「出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい」が43.0%、「子どもが主体的に参加できる活動の機会をつくってほしい」が41.7%などとなっています。



(8) 子育てへの協力について

問39 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

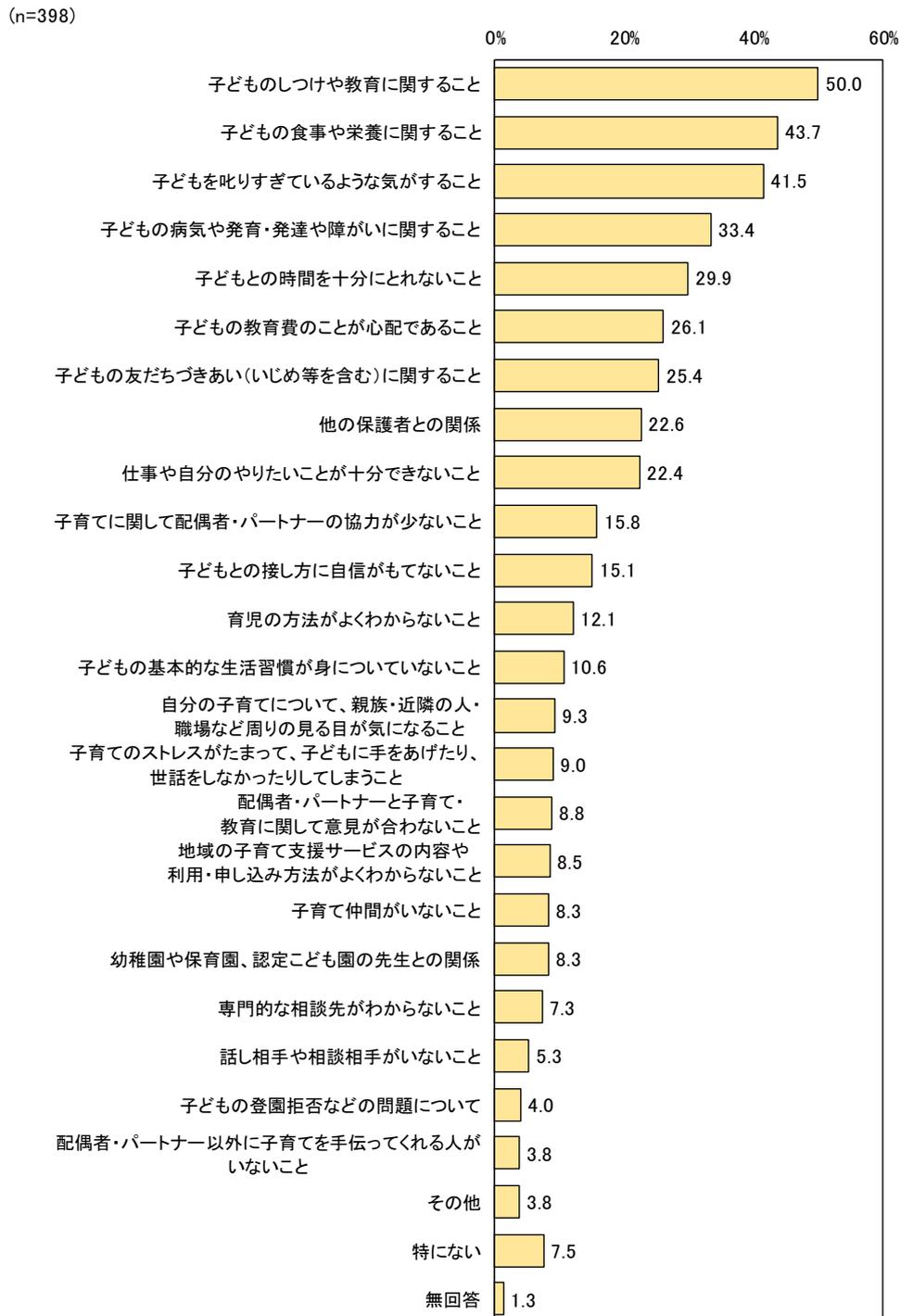
子育てについて協力したいことは、「家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい」が56.8%で最も多く、次いで「自分や友人等の子等の面倒をみたい」が46.5%、「子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい」が19.6%などとなっています。



(9) 子育てに関する悩み・気になること

問40 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、今までに気になったことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩み、気になることは、「子どものしつけや教育に関すること」が50.0%で最も多く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」が43.7%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と41.5%、「子どもの病気や発育・発達や障がいに関すること」が33.4%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が29.9%などとなっています。



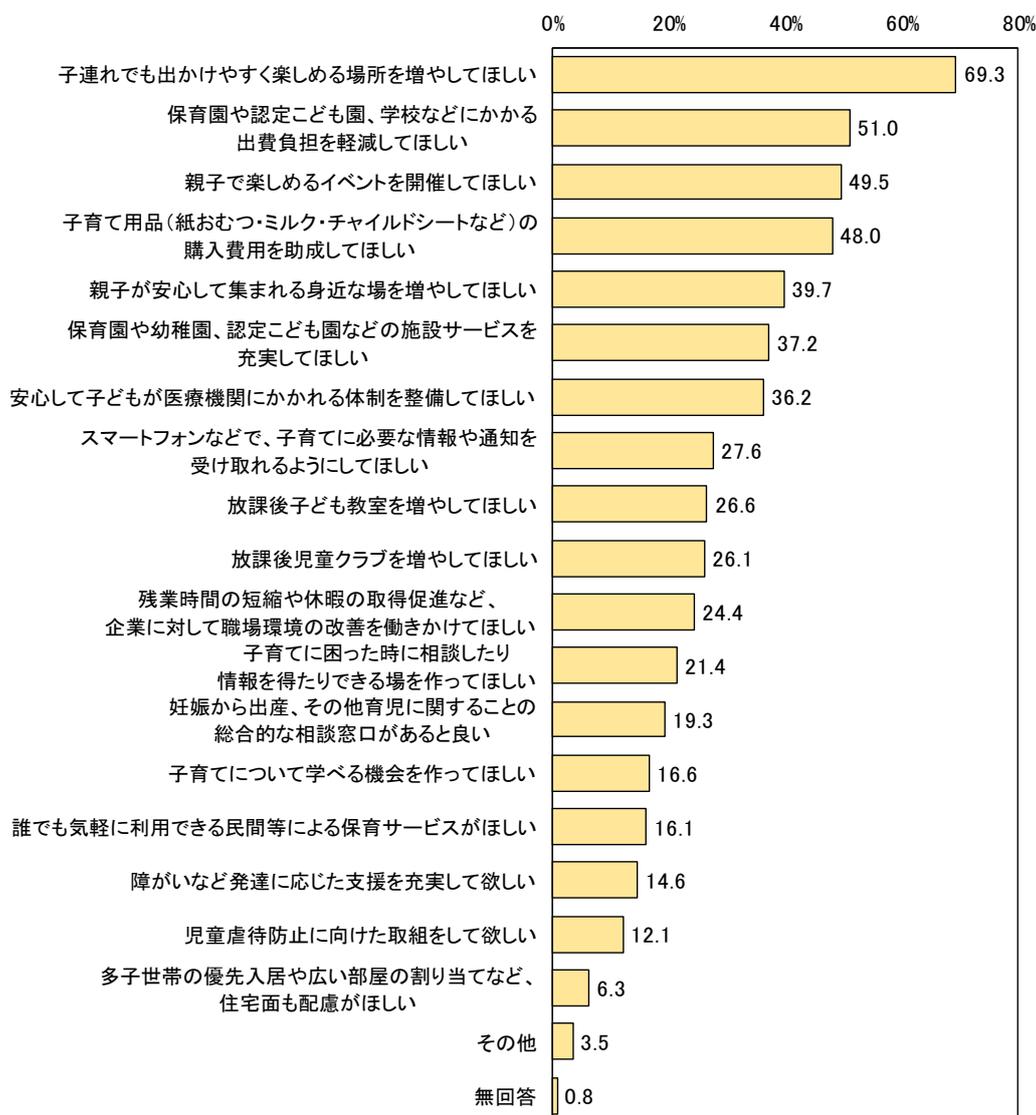
(10) 子育て支援環境充実のための必要な支援策

問41 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だとお考えになりますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育て環境充実のために必要な支援策は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が69.3%で最も多く、次いで「保育園や認定こども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい」が51.0%、「親子で楽しめるイベントを開催してほしい」が49.5%、「子育て用品（紙おむつ・ミルク・チャイルドシートなど）の購入費用を助成してほしい」が48.0%、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」が39.7%などとなっています。

(n=398)

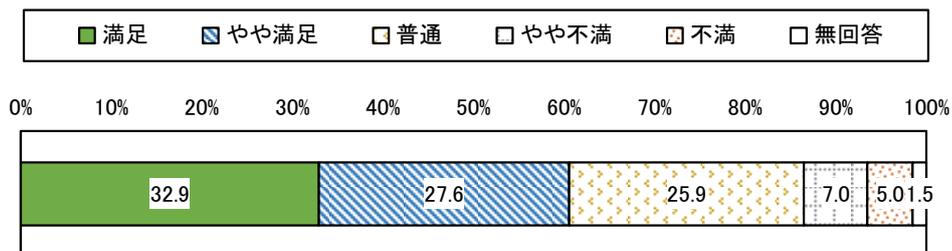


(11) 出産祝金支給事業の満足度

問42 邑楽町では、平成27年度から出産祝金を「第3子以降10万円」から「第1子5万円・第2子10万円・第3子以降20万円」へ増額支給しています。このことによる「子育て環境」への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

町の出産祝金支給事業の満足度は、満足度の高い順に、「満足」が32.9%で、「やや満足」が27.6%、「普通」が25.9%、「やや不満」が7.0%、「不満」が5.0%となっています。

(n=398)



第3章 小学校就学児童保護者

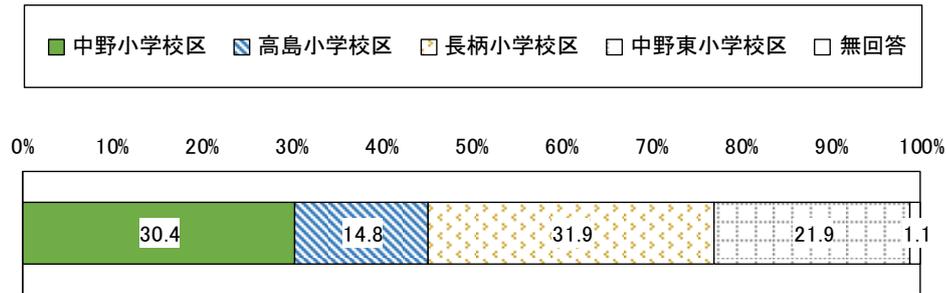
1 お住まいの地域について

(1) 居住地域

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

居住地域は、「中野小学校区」が30.4%、「高島小学校区」が14.8%、「長柄小学校区」が31.9%、「中野東小学校区」が21.9%となっています。

(n=270)



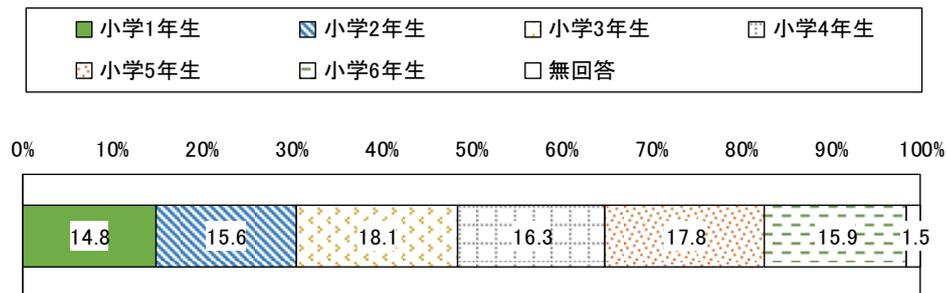
2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)

子どもの年齢は、「小学1年生」が14.8%、「小学2年生」が15.6%、「小学3年生」が18.1%、「小学4年生」が16.3%、「小学5年生」が17.8%、「小学6年生」が15.9%となっています。

(n=270)



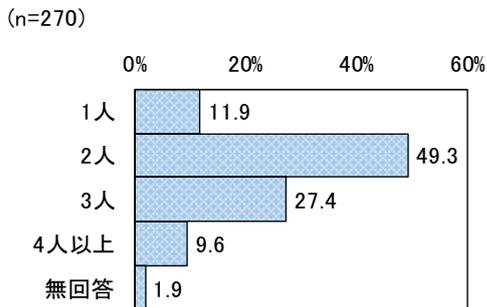
(2) 子どもの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。
 2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数字を記入)

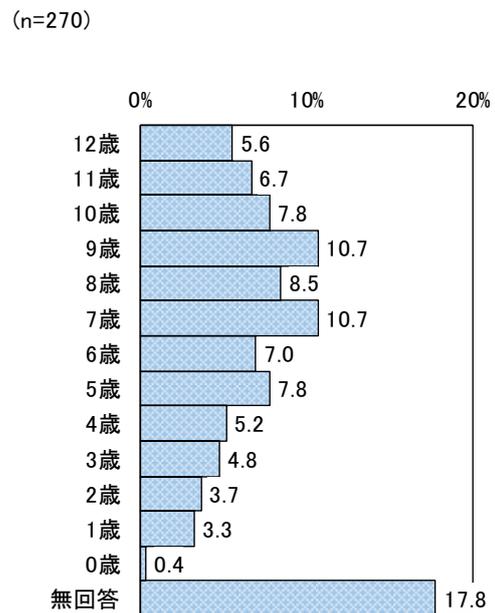
子どもの人数は、「1人」が11.9%、「2人」が49.3%、「3人」が27.4%、「4人以上」が9.6%となっています。

また、末子の年齢は、「9歳」と「7歳」が10.7%で最も多く、次いで、「8歳」が8.5%、「5歳」、「10歳」がともに7.8%などとなっています。

・きょうだいの数



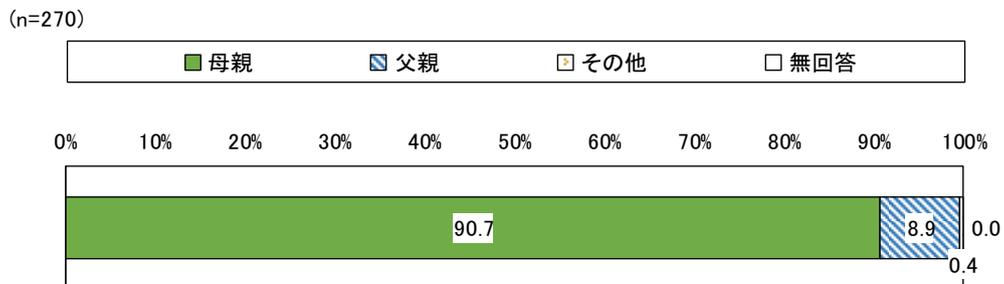
・末子の年齢



(3) 調査票回答者

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が90.7%、「父親」が8.9%となっています。

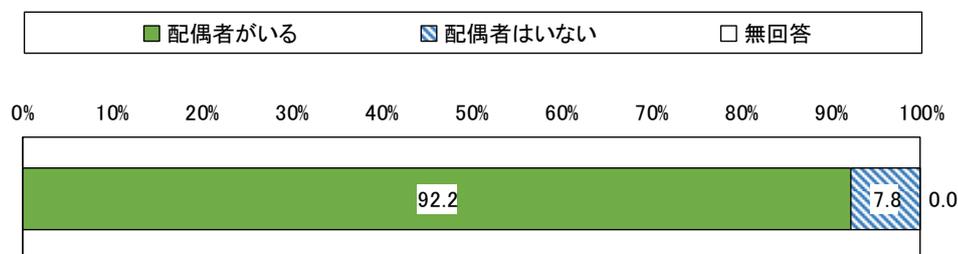


(4) 調査票回答者の配偶関係

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が92.2%、「配偶者はいない」が7.8%となっています。

(n=270)

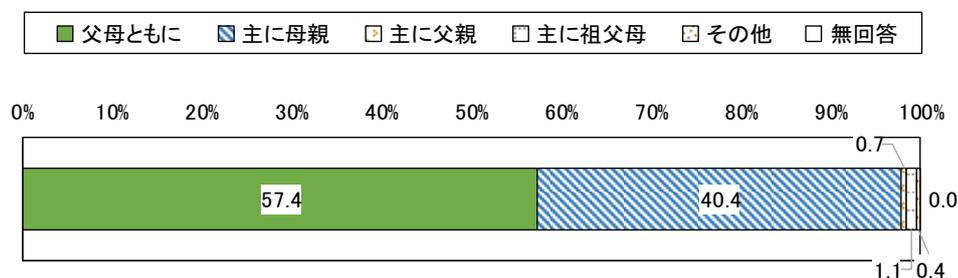


(5) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が57.4%で最も多く、次いで「主に母親」が40.4%などとなっています。

(n=270)



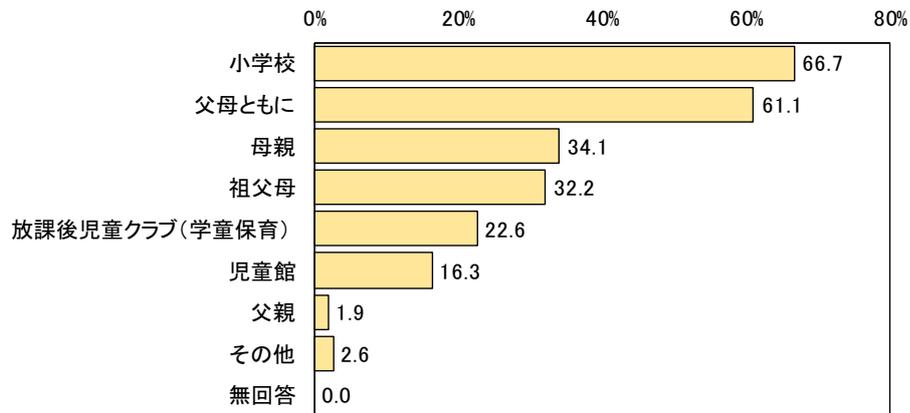
3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
 お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「小学校」が66.7%で最も多く、次いで「父母ともに」が61.1%、「母親」が34.1%、「祖父母」が32.2%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が22.6%などとなっています。

(n=270)



(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が94.8%で最も多く、次いで「小学校」が93.3%、「地域」が35.2%、「児童館」、「放課後児童クラブ(学童保育)」がともに18.9%などとなっています。

(n=270)

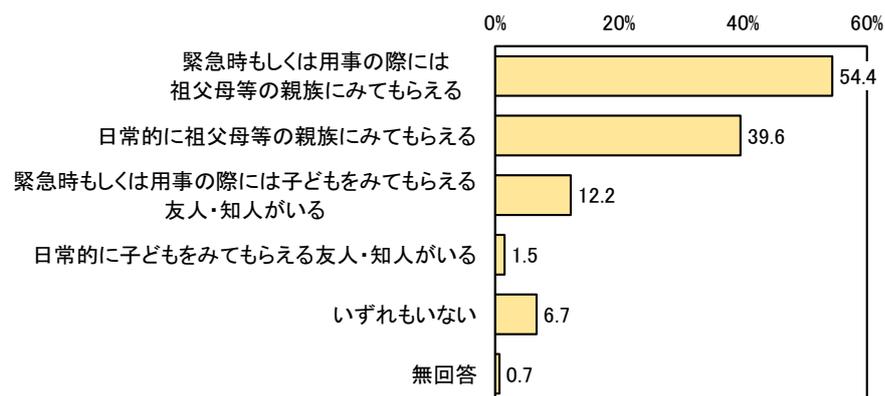


(3) 子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 54.4%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 39.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 12.2%となっています。

(n=270)



(4) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

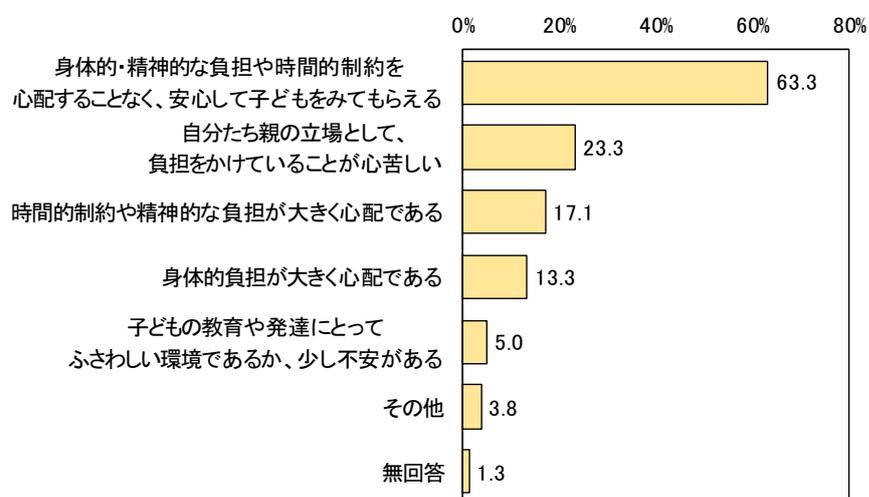
問9で「1」、「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 63.3%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 23.3%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 17.1%となっています。

(n=240)



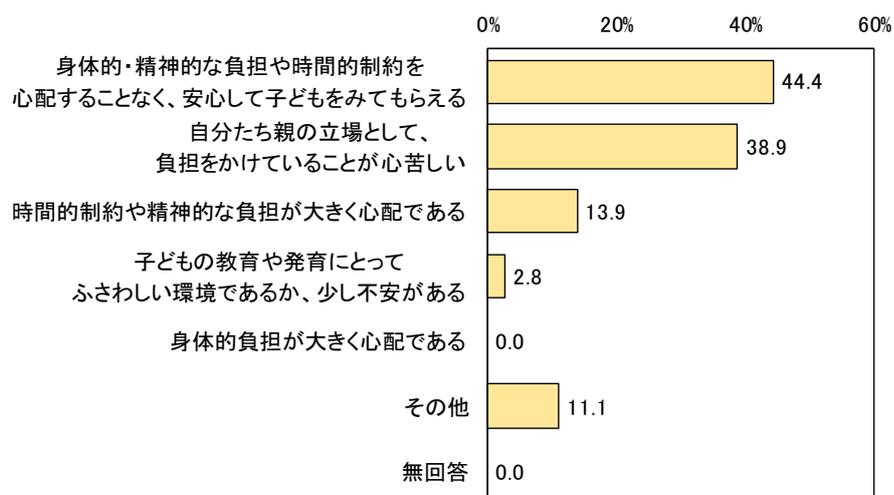
(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が44.4%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が38.9%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が13.9%などとなっています。

(n=36)

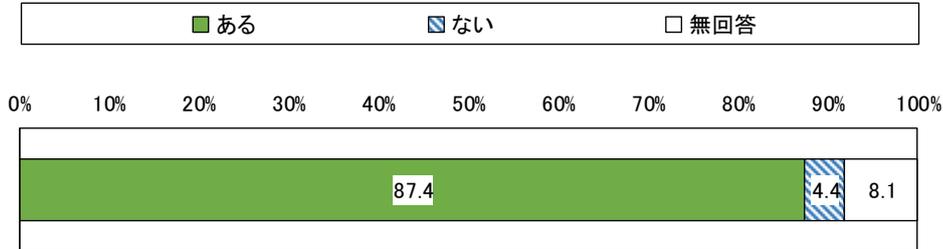


(6) 気軽に相談できる人・場所の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

気軽に相談できる人・場所の有無は、「ある」が87.4%、「ない」が4.4%となっています。

(n=270)

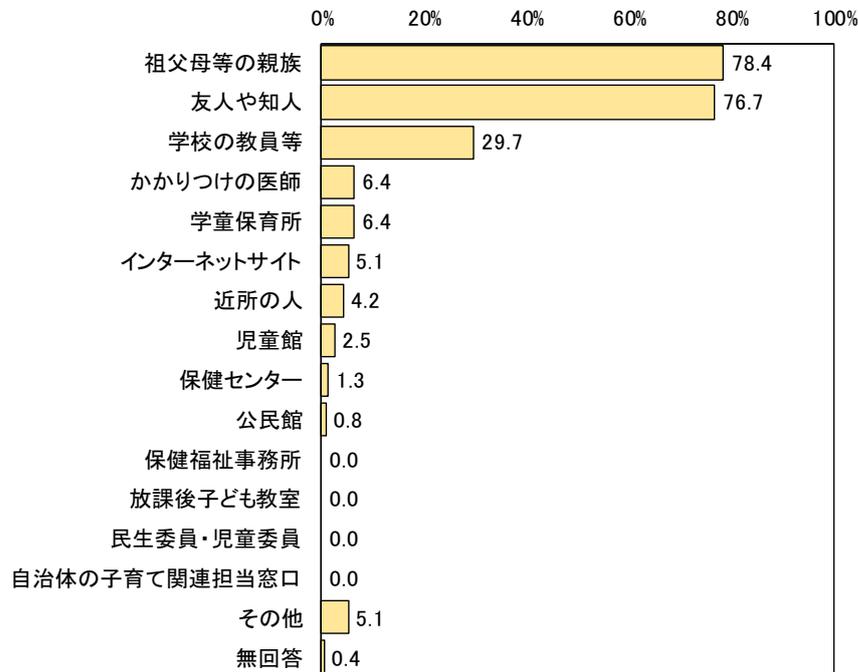


(7) 気軽に相談できる人・場所

問10で「1. ある」に○をつけた方のみ
問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(あてはまるものすべてに○)

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が78.4%で最も多く、次いで「友人や知人」が76.7%、「学校の教員等」が29.7%となっています。

(n=236)



4 保護者の就労状況について

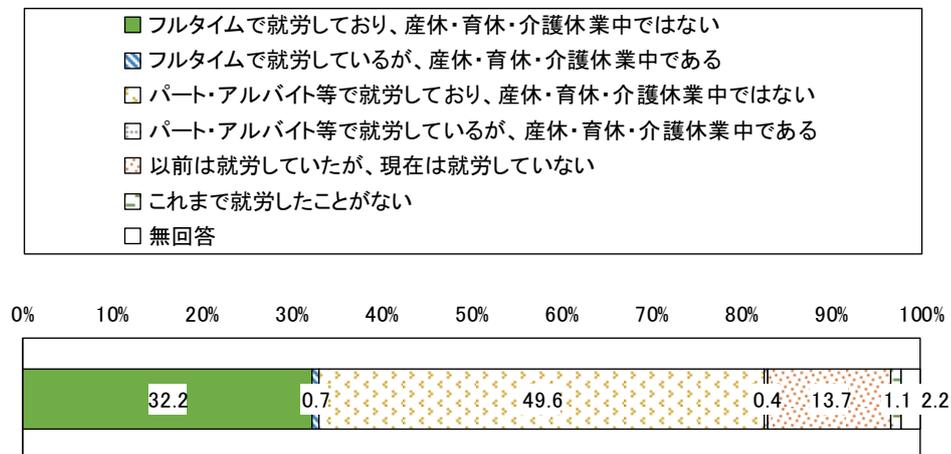
(1) 母親の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親(1つに○)【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が49.6%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.7%、「これまで就労したことがない」が1.1%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.7%などとなっています。

(n=270)



(2) 就労している母親の就労日数・就労時間

(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

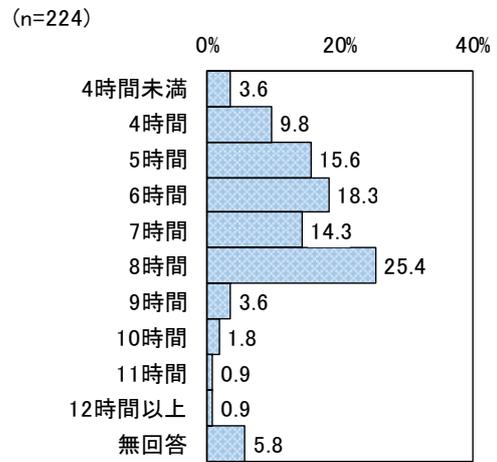
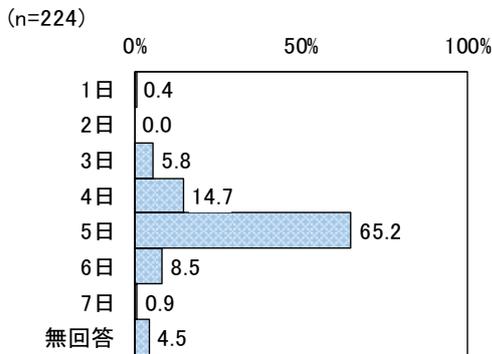
(1)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

就労している母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が65.2%で最も多く、次いで「4日」が14.7%、「6日」が8.5%、「3日」が5.8%、「7日」が0.9%などとなっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が25.4%で最も多く、次いで「6時間」が18.3%、「5時間」が15.6%、「7時間」が14.3%、「4時間」が9.8%などとなっています。

・ 1週あたりの就労日数

・ 1日あたりの就労時間



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間

(1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)－2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

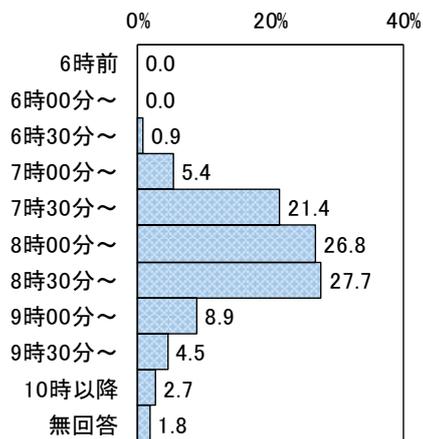
就労している母親の家を出る時刻は、「8時30分～」が27.7%で最も多く、次いで「8時00分～」が26.8%、「7時30分～」が21.4%、「9時00分～」が8.9%などとなっています。

また、帰宅時刻は、「18時00分～」が15.6%で最も多く、次いで「17時30分～」が11.6%、「18時30分～」が10.3%、「17時00分～」が9.8%などとなっています。

なお、通勤所要時間は、「30分以内」が81.7%で最も多く、次いで「30分以上」が15.2%、「60分以上」が1.3%、「90分以上」が0.4%となっています。

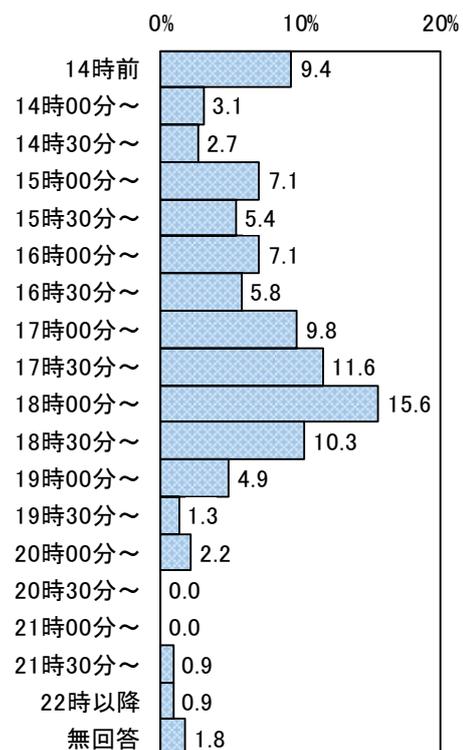
・家を出る時刻

(n=224)



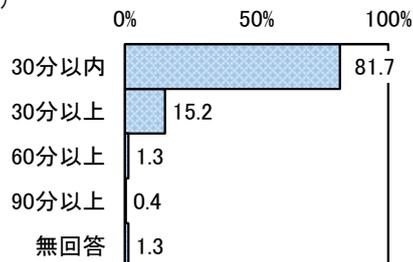
・帰宅時刻

(n=224)



・通勤所要時間

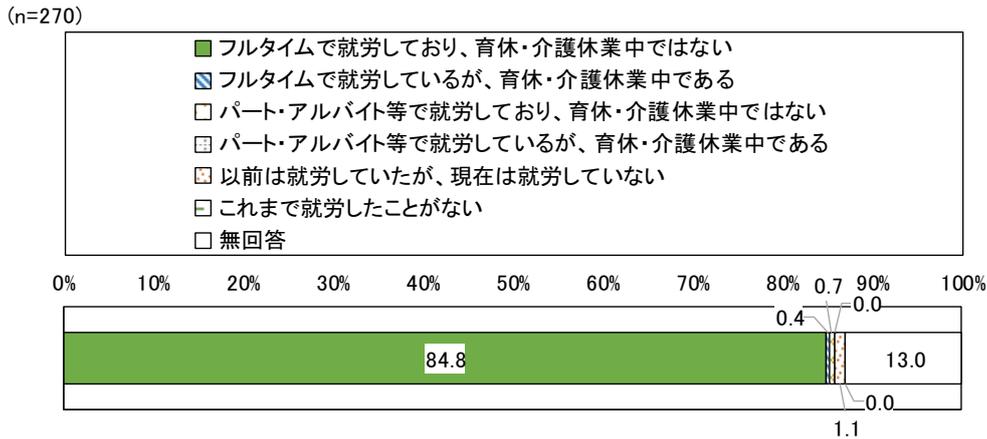
(n=224)



(4) 父親の就労状況

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。
 (2)父親(1つに○)【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.8%で最も多くなっています。



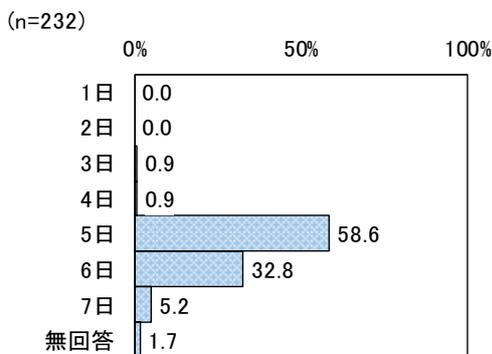
(5) 就労している父親の就労日数・就労時間

(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ
 (2)－1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

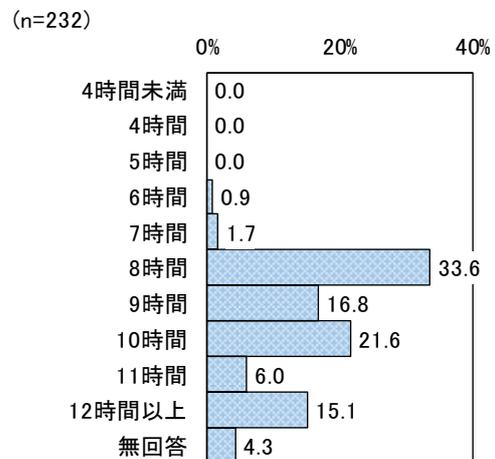
就労している父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が58.6%で最も多く、次いで「6日」が32.8%となっています。

また、1日あたりの就労時間は、「8時間」が33.6%で最も多く、次いで「10時間」が21.6%、「9時間」が16.8%となっています。

・ 1週あたりの就労日数



・ 1日あたりの就労時間



(6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻・通勤所要時間

((2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(2)－2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。

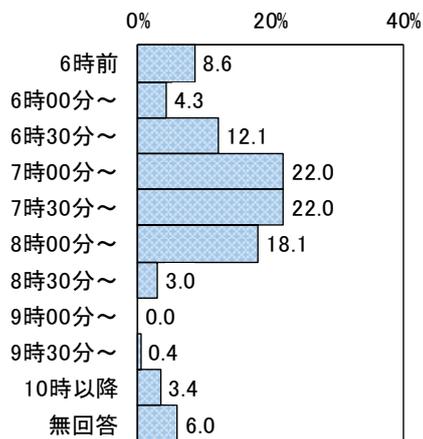
就労している父親の家を出る時刻は、「7時00分～」と「7時30分～」がともに22.0%で最も多く、次いで「8時00分～」が18.1%、「6時30分～」が12.1%などとなっています。

また、帰宅時刻は、「19時00分～」が13.4%で最も多く、次いで「20時00分～」が12.5%、「19時30分～」が9.9%となっています。

なお、通勤所要時間は、「30分以内」が53.4%で最も多く、次いで「30分以上」が27.2%となっています。

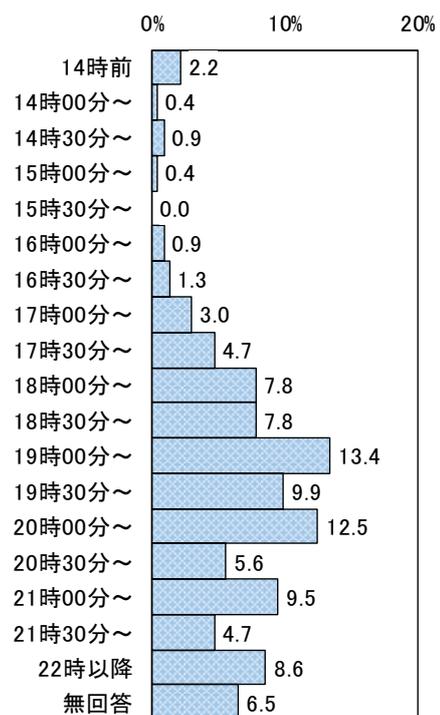
・家を出る時刻

(n=232)



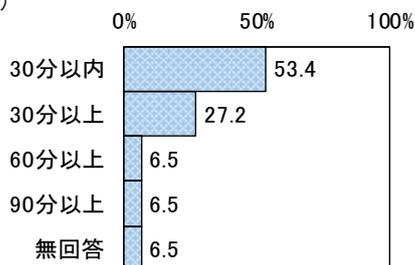
・帰宅時刻

(n=232)



・通勤所要時間

(n=232)



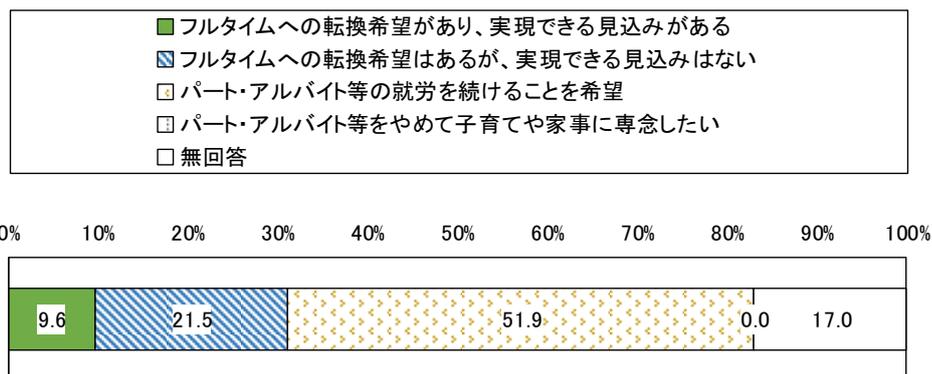
(7) パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.6%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 21.5%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 51.9% となっています。

(n=135)



(8) パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、回答者が2人であり、ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答されています。

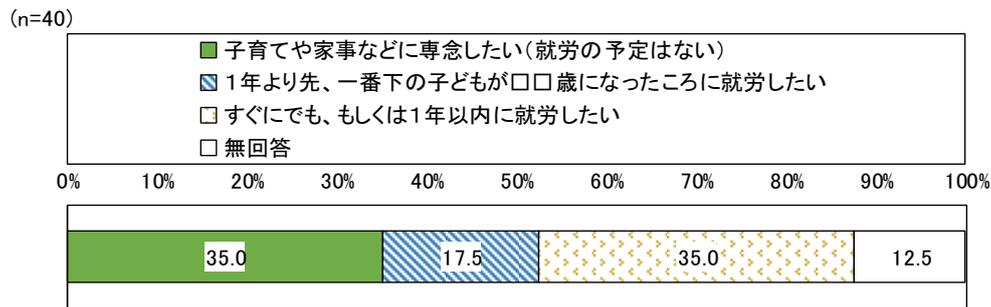
(9) 就労していない母親の就労希望

問12の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

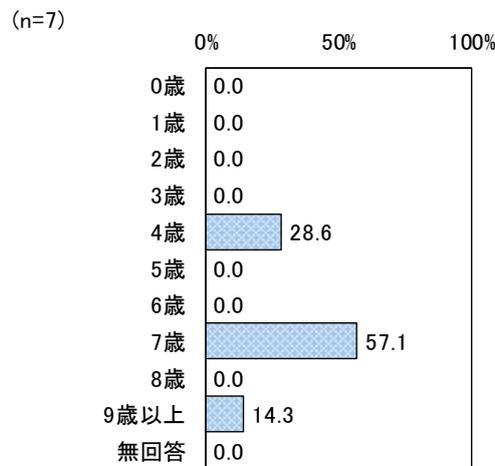
問14 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」がともに35.0%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が17.5%となっています。

なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「7歳」が57.1%で最も多く、次いで「4歳」が28.6%、「9歳以上」が14.3%となっています。



・ 母親の就労希望時の下の子どもの年齢



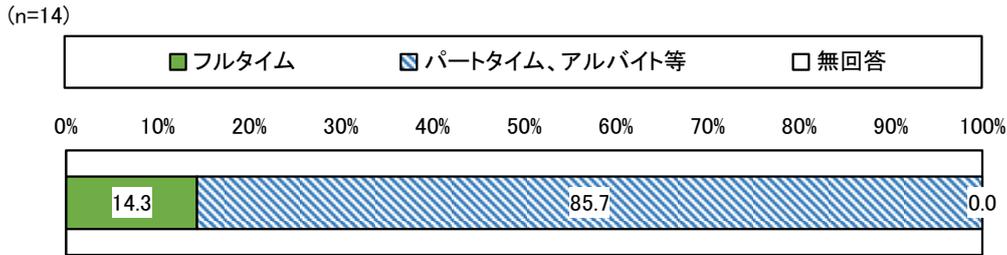
第3章 小学校就学児童保護者

1年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」が14.3%、「パートタイム、アルバイト等」が85.7%となっています。

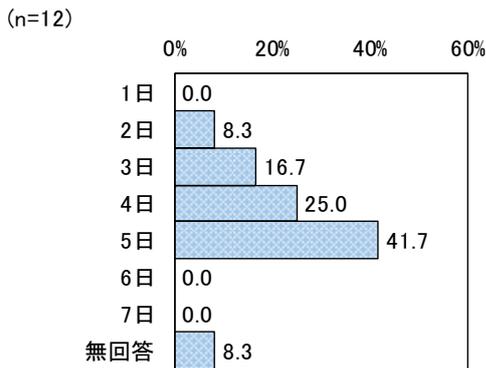
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数は、「5日」が41.7%で最も多く、次いで「4日」が25.0%、「3日」が16.7%、「2日」が8.3%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「4時間」が41.7%で最も多く、次いで「5時間」が33.3%、「6時間」が16.7%となっています。

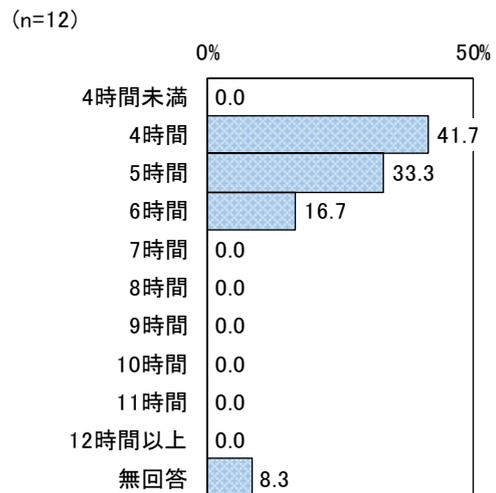
・希望する就労形態



・希望する1週あたりの就労日数



・希望する1日あたりの就労時間



(10) 就労していない父親の就労希望

問12の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

問14 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人となっています。

なお、父親の就労希望時の下の子どもの年齢は、回答者がいませんでした。

1年以内に就労したい父親が希望する就労形態は、回答者が2人であり、ともに「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）」と回答されています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間は、回答者がいませんでした。

5 小学校の放課後の過ごし方について(低学年児童)

(1) 現在の放課後の過ごし方(低学年児童)

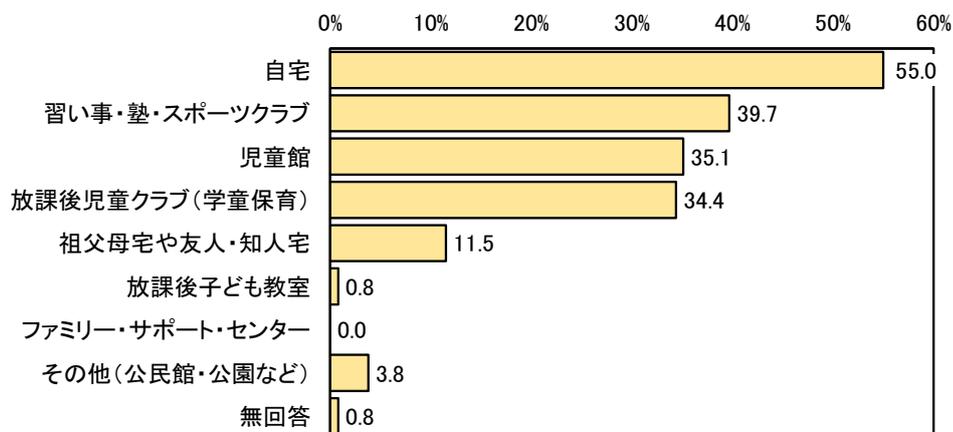
問15 お子さんについて放課後は現在どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

低学年児童の現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が55.0%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が39.7%、「児童館」が35.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が34.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.5%などとなっています。

各施設の利用終了時刻について、「児童館」は「16時00分～」、「放課後子ども教室」は「16時30分～」、「放課後児童クラブ(学童保育)」は「18時00分～」が、それぞれ最も多くなっています。

なお、1週あたりの利用日数は、「自宅」と「児童館」と「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ(学童保育)」は「5日」が多くなっており、「祖父母宅や友人・知人宅」と「習い事」は「1日」が多くなっています。

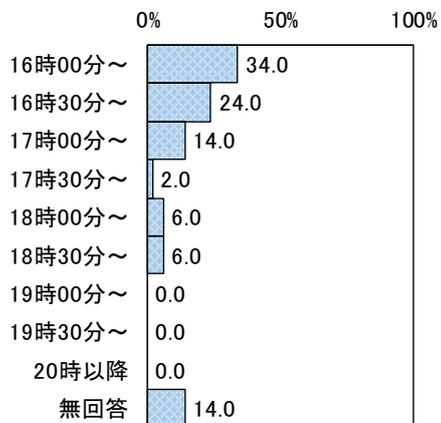
(n=131)



第3章 小学校就学児童保護者

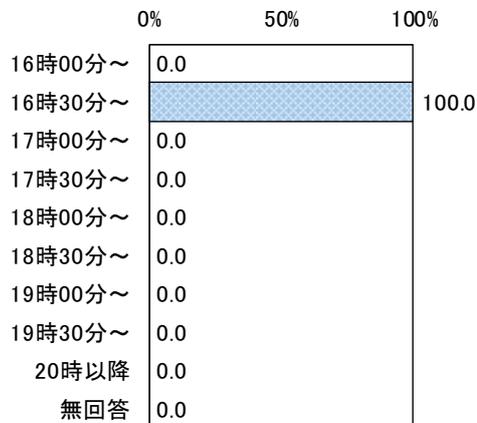
・ 児童館の利用終了時刻

(n=50)



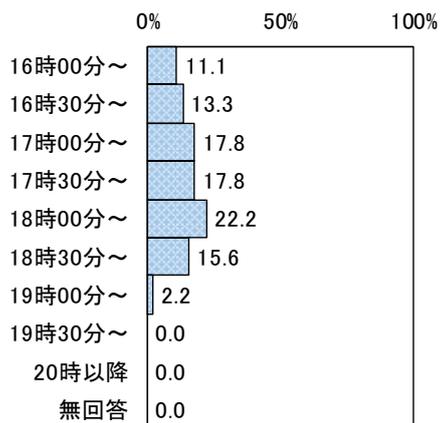
・ 放課後子ども教室の利用終了時刻

(n=1)



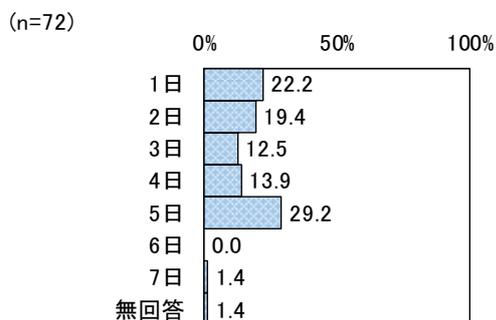
・ 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

(n=45)

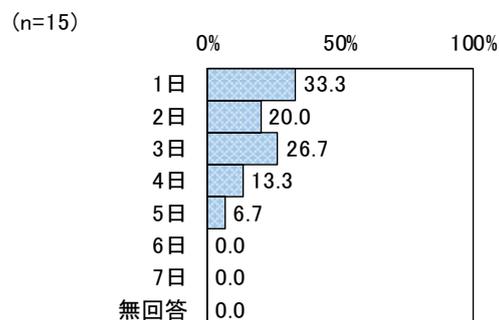


【1週あたりの利用日数】

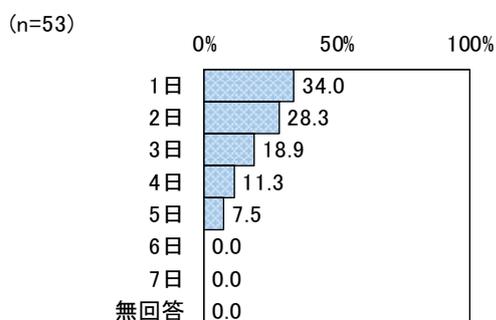
・ 自宅



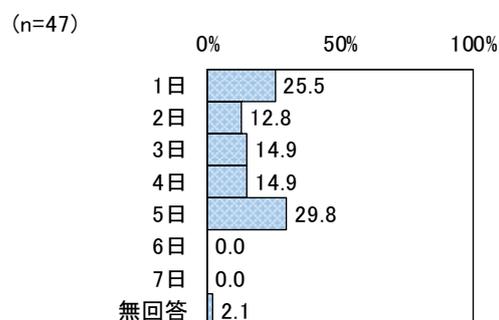
・ 祖父母宅や友人・知人宅



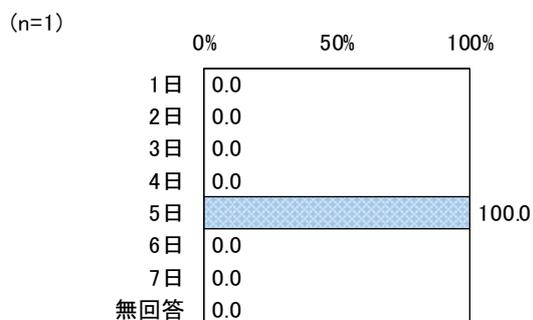
・ 習い事



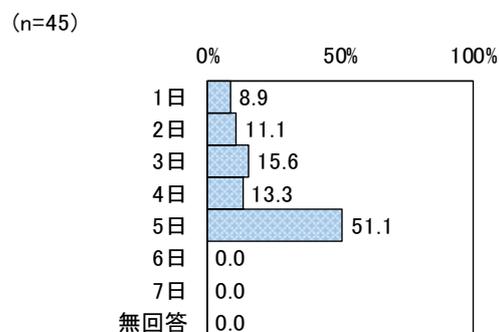
・ 児童館



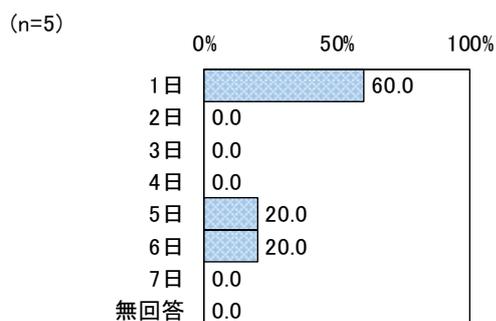
・ 放課後子ども教室



・ 放課後児童クラブ（学童保育）



・ その他の過ごし方



(2) 希望した低学年時の放課後の過ごし方

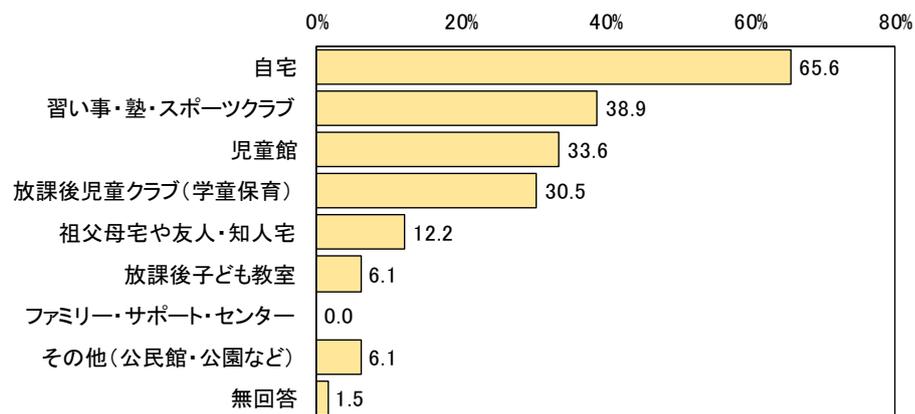
問16 お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち希望として放課後はどのような場所で過ごさせられたですか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望した低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が65.6%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が38.9%、「児童館」が33.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が30.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.2%などとなっています。

各施設の利用終了時刻について、「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ(学童保育)」いずれも「17時00分～」が最も多くなっています。

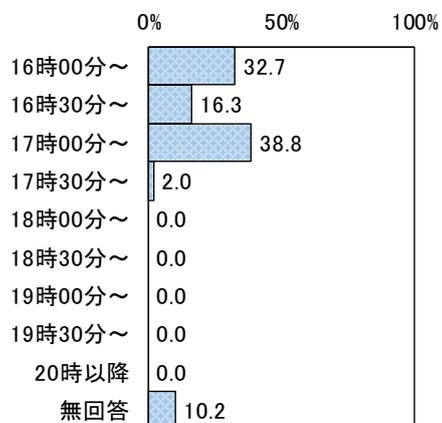
なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後子ども教室」は「1日」が多く、また、「自宅」と「習い事」と「児童館」は、それぞれ「2日」～「3日」が多くなっており、「放課後児童クラブ(学童保育)」は「5日」が多くなっています。

(n=131)



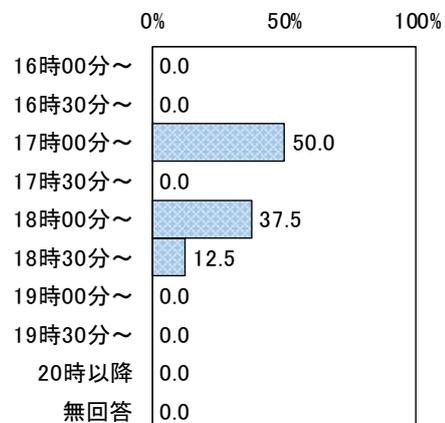
・ 児童館の利用終了時刻

(n=49)



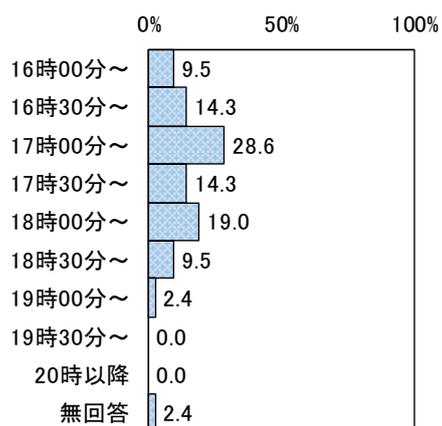
・ 放課後子ども教室の利用終了時刻

(n=8)



・ 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

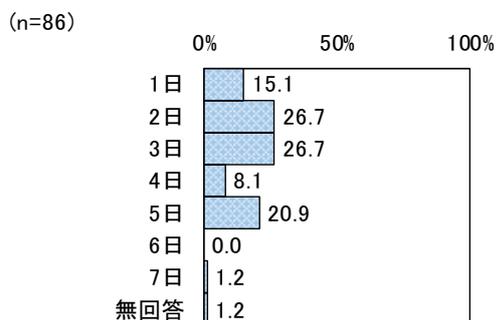
(n=42)



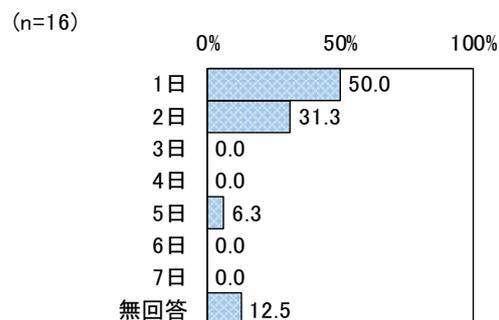
第3章 小学校就学児童保護者

【1週あたりの利用日数】

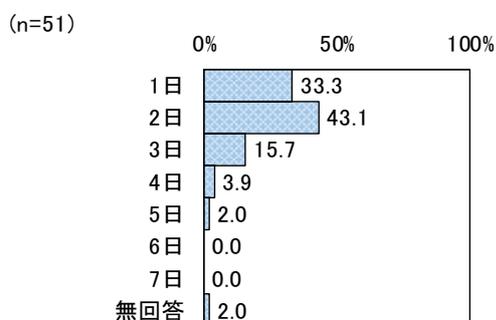
・ 自宅



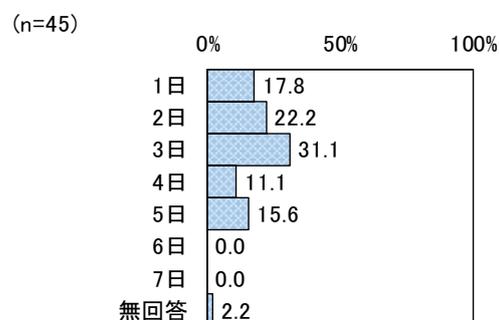
・ 祖父母宅や友人・知人宅



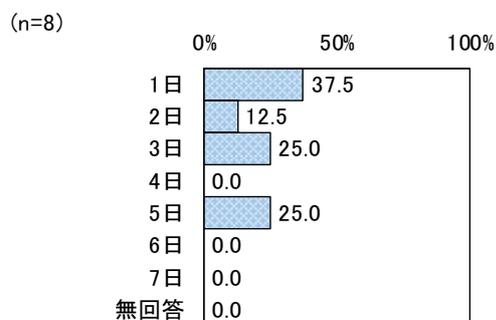
・ 習い事



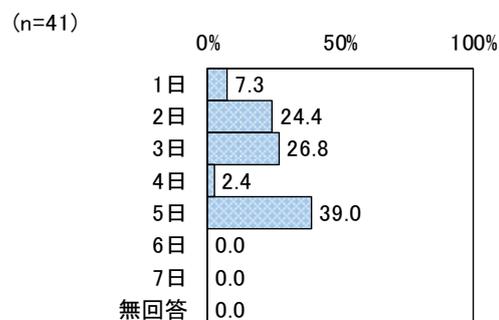
・ 児童館



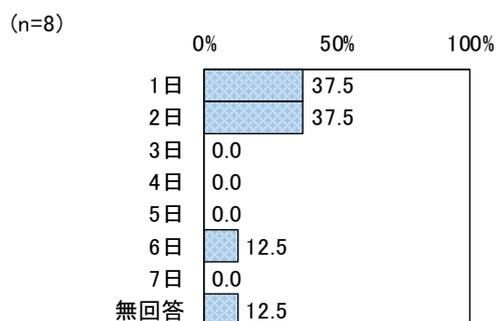
・ 放課後子ども教室



・ 放課後児童クラブ（学童保育）



・ その他の過ごし方



(3) 希望する高学年時の放課後の過ごし方

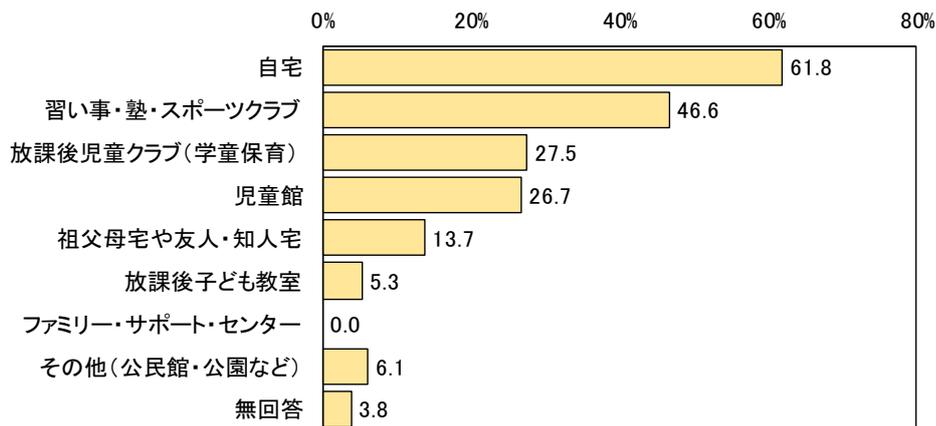
問17 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が61.8%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が46.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が27.5%、「児童館」が26.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が13.7%などとなっています。

各施設の利用終了時刻について、「児童館」と「放課後子ども教室」はともに「17時00分～」が多くなっており、「放課後児童クラブ(学童保育)」は「18時00分～」が最も多くなっています。

なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」と「児童館」と「放課後子ども教室」は「1日」が多く、また、「習い事」は「2日」が多くなっており、「自宅」と「放課後児童クラブ(学童保育)」は「5日」が多くなっています。

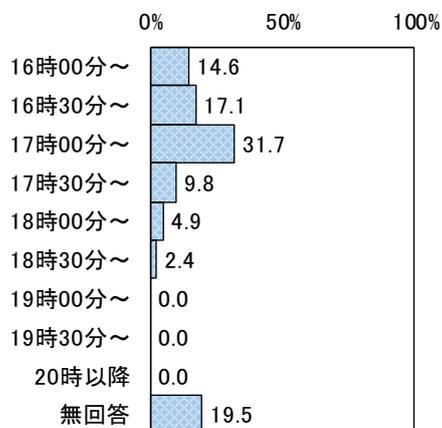
(n=131)



第3章 小学校就学児童保護者

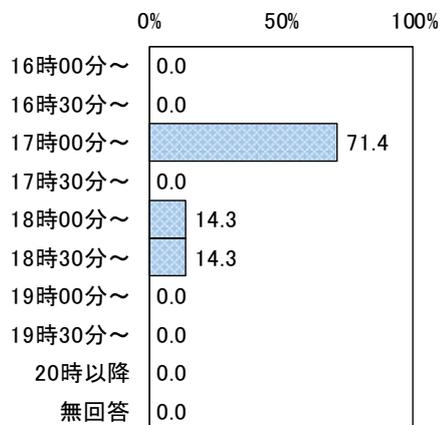
・ 児童館の利用終了時刻

(n=41)



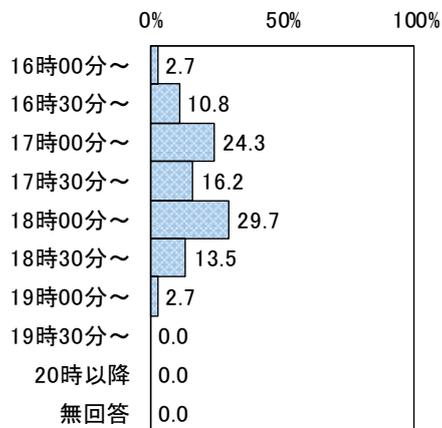
・ 放課後子ども教室の利用終了時刻

(n=7)



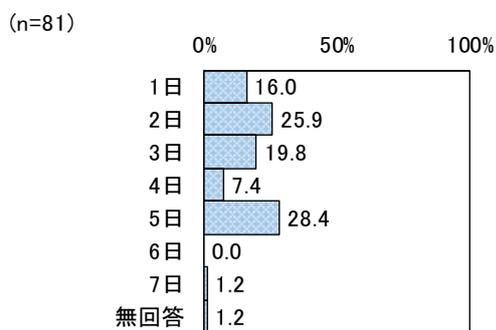
・ 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

(n=37)

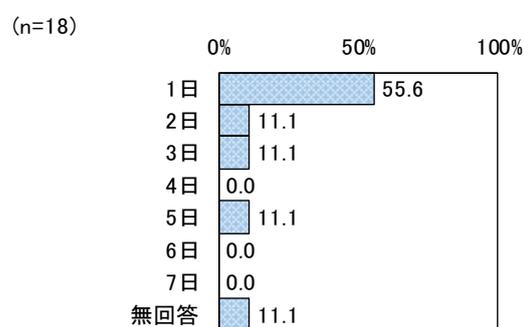


【1週あたりの利用日数】

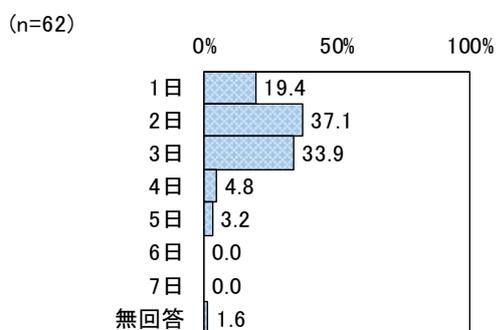
・ 自宅



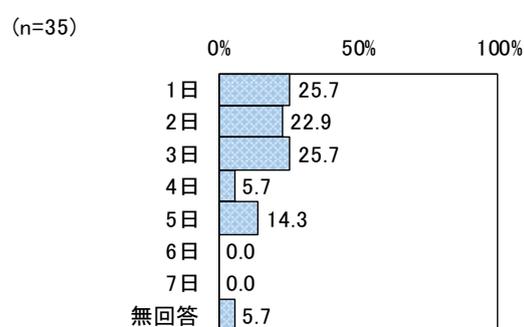
・ 祖父母宅や友人・知人宅



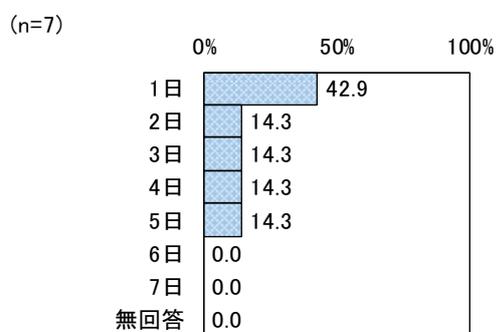
・ 習い事



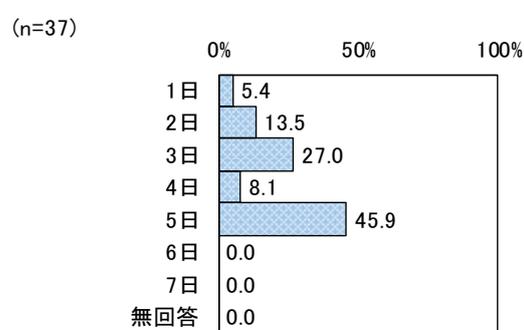
・ 児童館



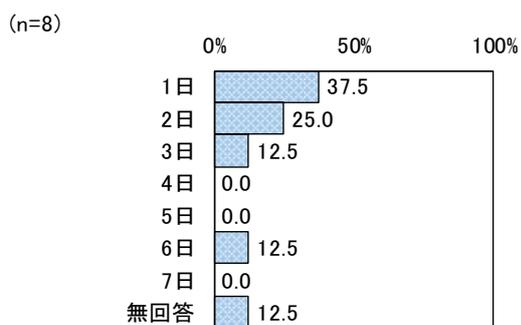
・ 放課後子ども教室



・ 放課後児童クラブ (学童保育)



・ その他の過ごし方



6 小学校の放課後の過ごし方について(高学年児童)

(1) 現在の放課後の過ごし方(高学年児童)

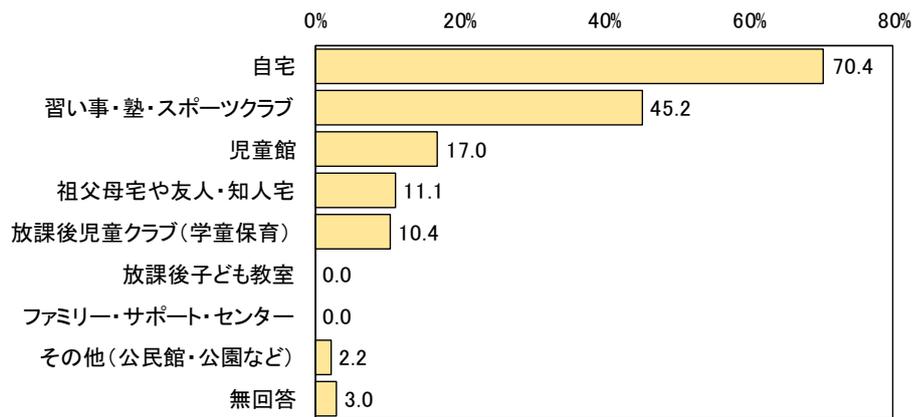
問18 お子さんについて放課後は現在どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

高学年児童の現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が70.4%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が45.2%、「児童館」が17.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が10.4%などとなっています。

各施設の利用終了時刻について、「児童館」は「17時00分～」が多くなっており、「放課後児童クラブ(学童保育)」は「17時30分～」、「18時30分～」がともに多くなっています。

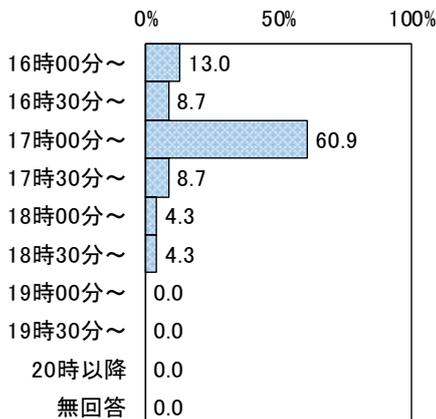
なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」が多く、「習い事」は「2日」が多く、「自宅」と「児童館」と「放課後児童クラブ(学童保育)」はいずれも「5日」が多くなっています。

(n=135)



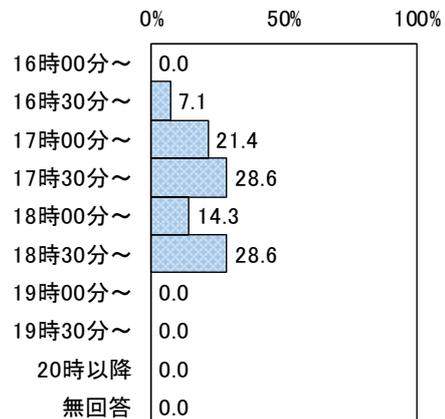
・児童館の利用終了時刻

(n=23)



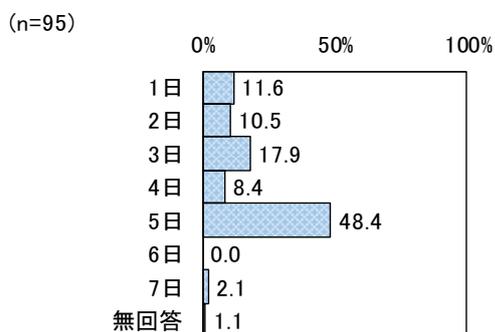
・放課後児童クラブ(学童保育)の利用終了時刻

(n=14)

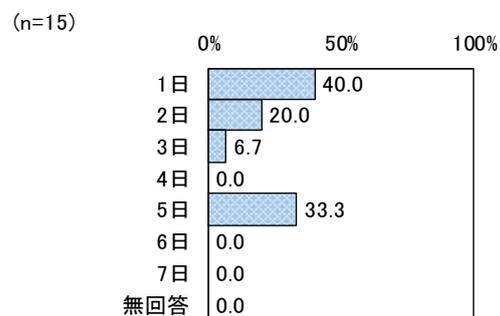


【1週あたりの利用日数】

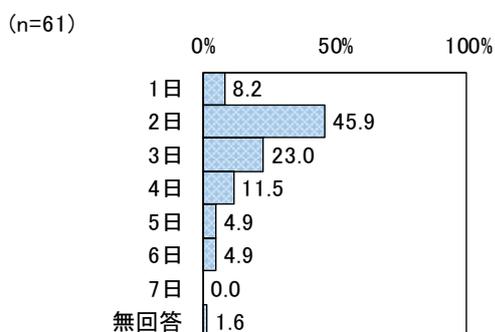
・ 自宅



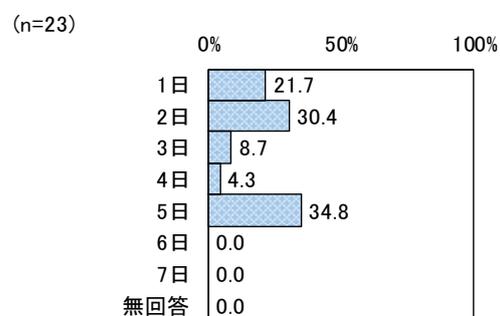
・ 祖父母宅や友人・知人宅



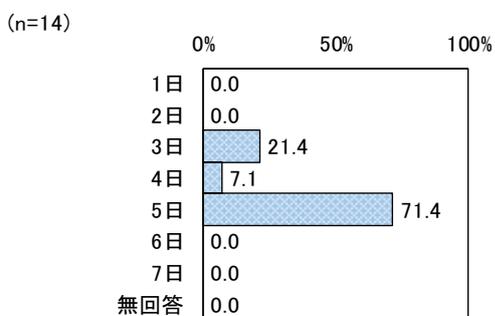
・ 習い事



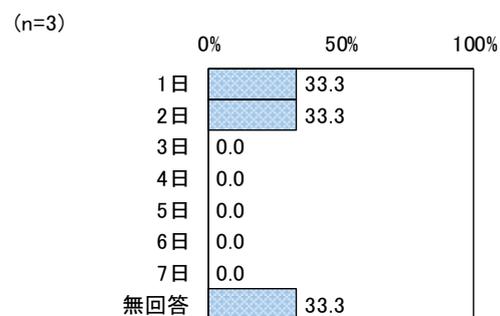
・ 児童館



・ 放課後児童クラブ (学童保育)



・ その他の過ごし方



(2) 希望した高学年時の放課後の過ごし方

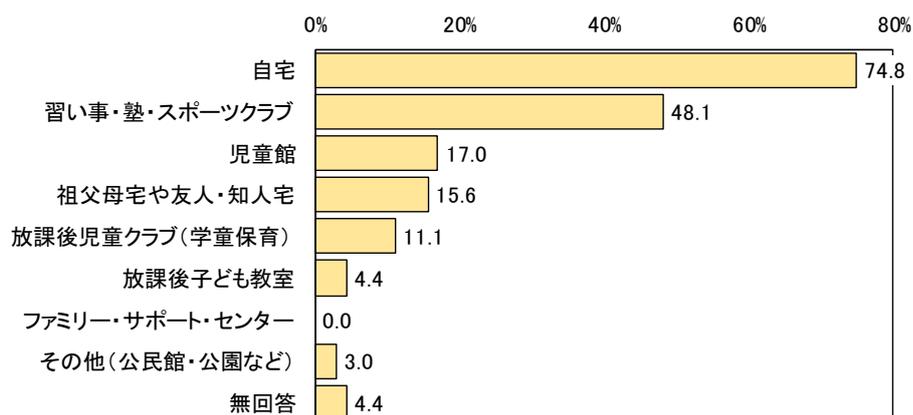
問19 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)のうちは希望として放課後はどのような場所で過ごさせられたですか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:[18]時[30]分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

希望した高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が74.8%で最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が48.1%、「児童館」が17.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が11.1%などとなっています。

各施設の利用終了時刻について、「児童館」は「17時00分～」、「放課後子ども教室」は「17時30分～」、「放課後児童クラブ(学童保育)」は「18時30分～」が、それぞれ最も多くなっています。

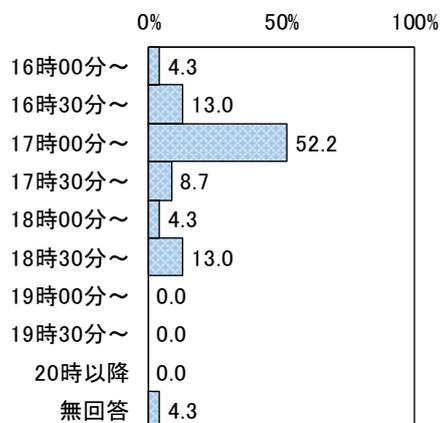
なお、1週あたりの利用日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後子ども教室」は「1日」が多く、また、「習い事」と「児童館」は「2日」が多くなっており、「自宅」と「放課後児童クラブ(学童保育)」は「5日」が多くなっています。

(n=135)



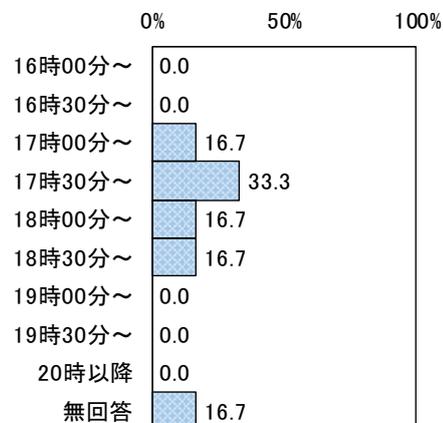
・ 児童館の利用終了時刻

(n=23)



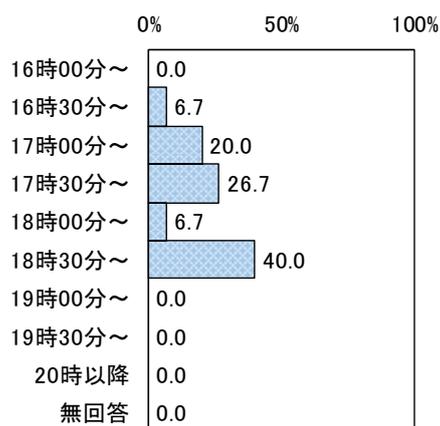
・ 放課後子ども教室の利用終了時刻

(n=6)



・ 放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

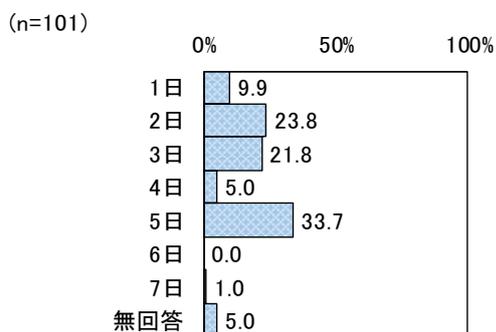
(n=15)



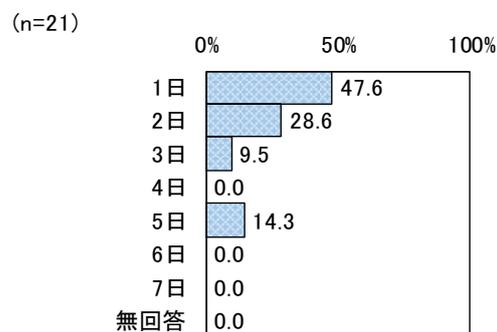
第3章 小学校就学児童保護者

【1週あたりの利用日数】

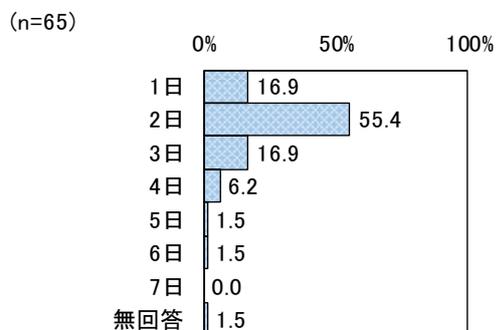
・ 自宅



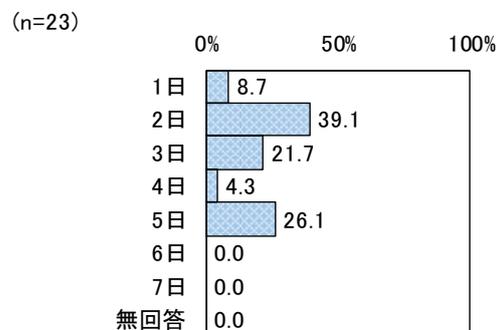
・ 祖父母宅や友人・知人宅



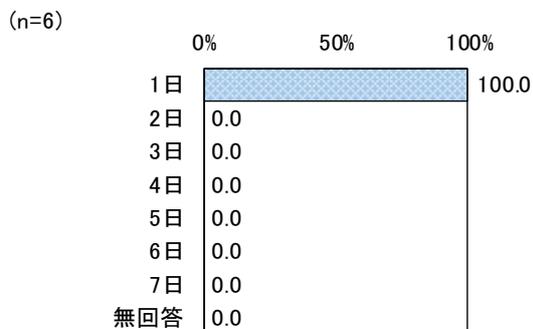
・ 習い事



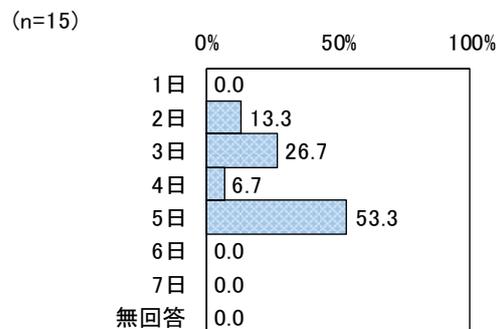
・ 児童館



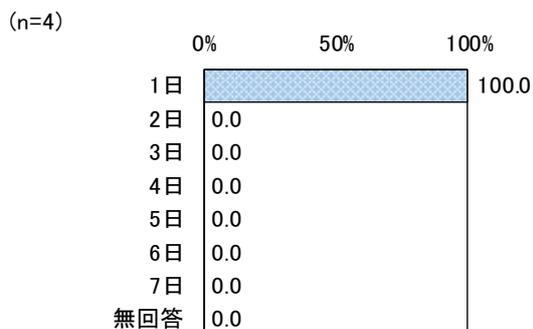
・ 放課後子ども教室



・ 放課後児童クラブ（学童保育）



・ その他の過ごし方



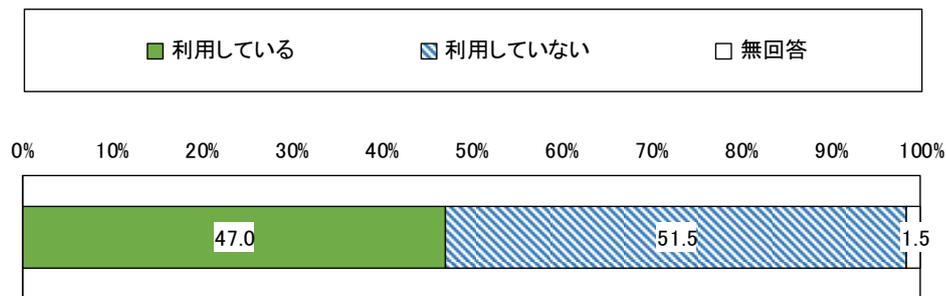
7 児童館について

(1) 児童館の利用状況

問20 宛名のお子さんは現在、児童館を利用していますか。(1つに○)

児童館の利用状況は、「利用している」が47.0%、「利用していない」が51.5%となっています。

(n=270)



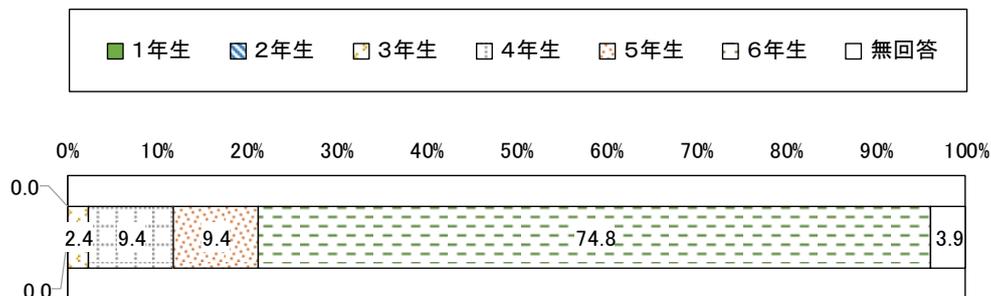
(2) 希望する児童館の利用学年

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-1 何年生まで児童館を利用したいですか。(数字を記入)

児童館を利用したい学年は、「6年生」までが74.8%で最も多く、次いで「5年生」、「4年生」までがともに9.4%、「3年生」までが2.4%となっています。

(n=127)



(3) 土曜日の児童館の利用希望

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童館の利用希望はありますか。

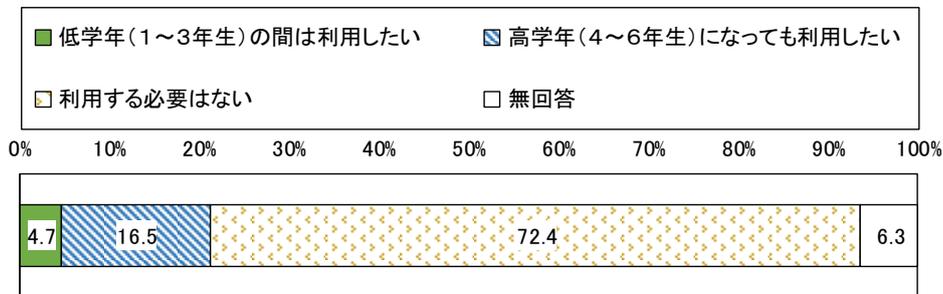
(それぞれ1つに○、数字を記入)

(1) 土曜日

土曜日の児童館の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が4.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が16.5%、「利用する必要はない」が72.4%となっています。

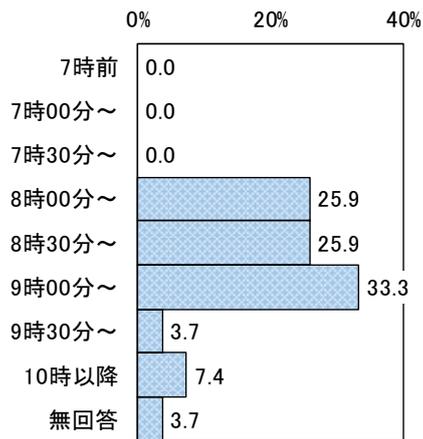
希望する利用開始時間は、「9時00分～」が33.3%で最も多くなっており、利用終了時間は、「16時00分～」と「17時00分～」が25.9%で最も多くなっています。

(n=127)



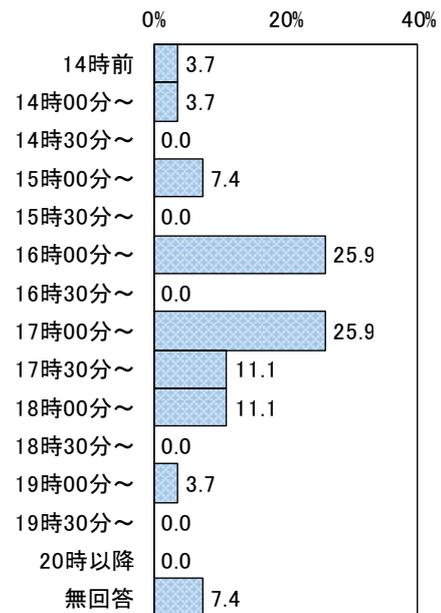
・ 利用開始時刻

(n=27)



・ 利用終了時刻

(n=27)



(4) 日曜日・祝日の児童館の利用希望

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童館の利用希望はありますか。

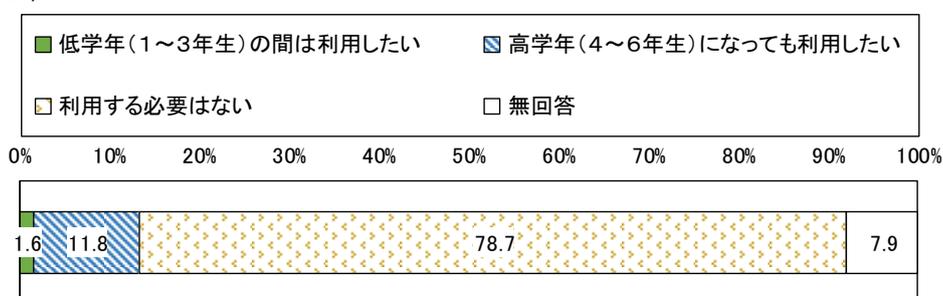
(それぞれ1つに○、数字を記入)

(2) 日曜・祝日

日曜・祝日の児童館の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が1.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が11.8%、「利用する必要はない」が78.7%となっています。

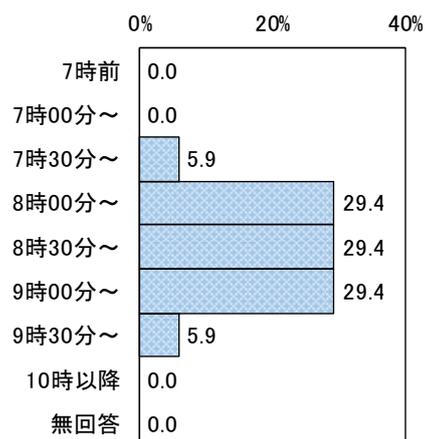
希望する利用開始時間は、「8時00分～」と「8時30分～」と「9時00分～」がいずれも29.4%で最も多くなっており、利用終了時間は、「17時00分～」が35.3%で最も多くなっていきます。

(n=127)



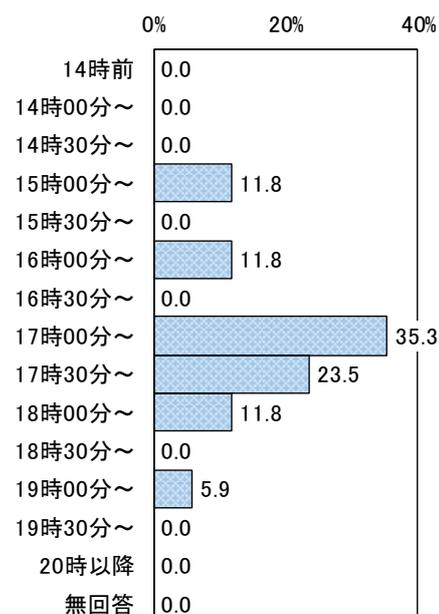
・ 利用開始時刻

(n=17)



・ 利用終了時刻

(n=17)



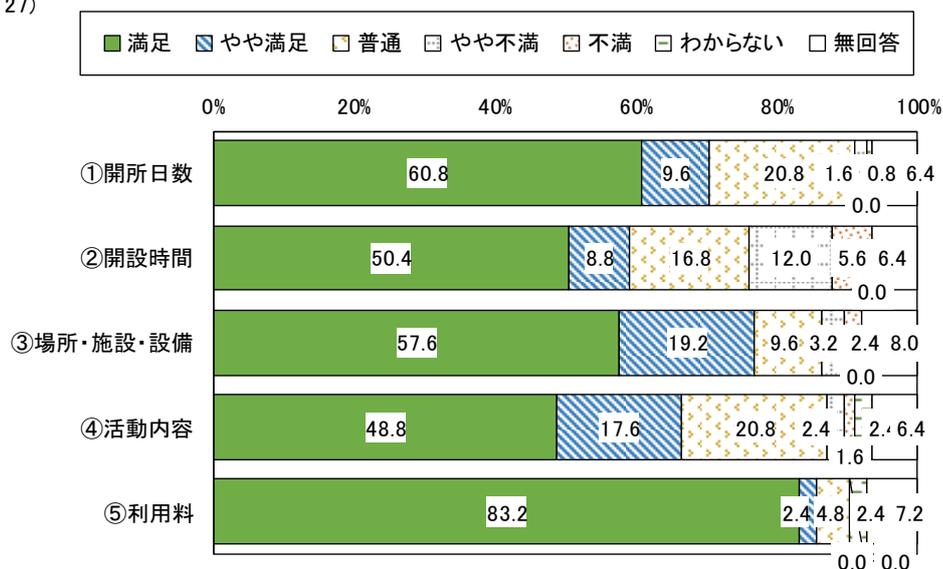
(5) 児童館の満足度

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-3 現在通われている児童館について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

児童館の満足度について、全ての項目で「満足」（「満足」と「やや満足」の合計）が過半数を超えています。特に「⑤利用料」の満足度が85.6%で最も多くなっています。

(n=127)



(6) 児童館への要望

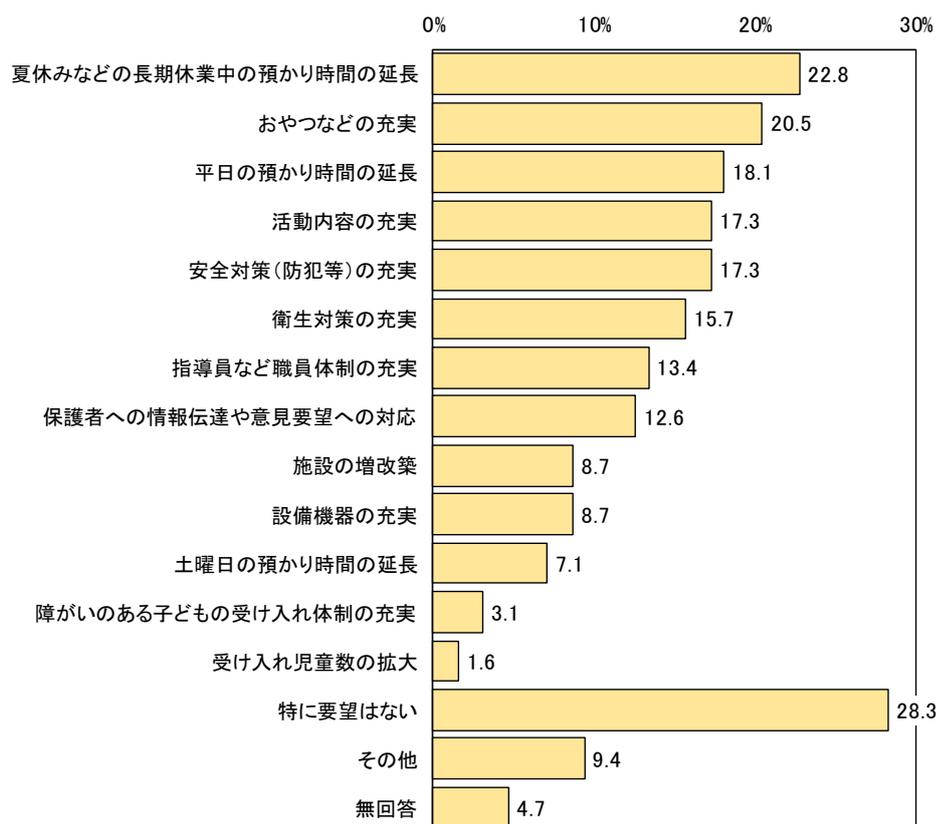
問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-4 現在、お子さんが通っている児童館に関してどのような要望をお持ちでしょうか。

(あてはまるものすべてに○)

児童館への要望は、「夏休みなどの長期休業中の預かり時間の延長」が22.8%で最も多く、次いで「おやつなどの充実」が20.5%、「平日の預かり時間の延長」が18.1%、「活動内容の充実」と「安全対策（防犯等）の充実」がともに17.3%などとなっています。

(n=127)



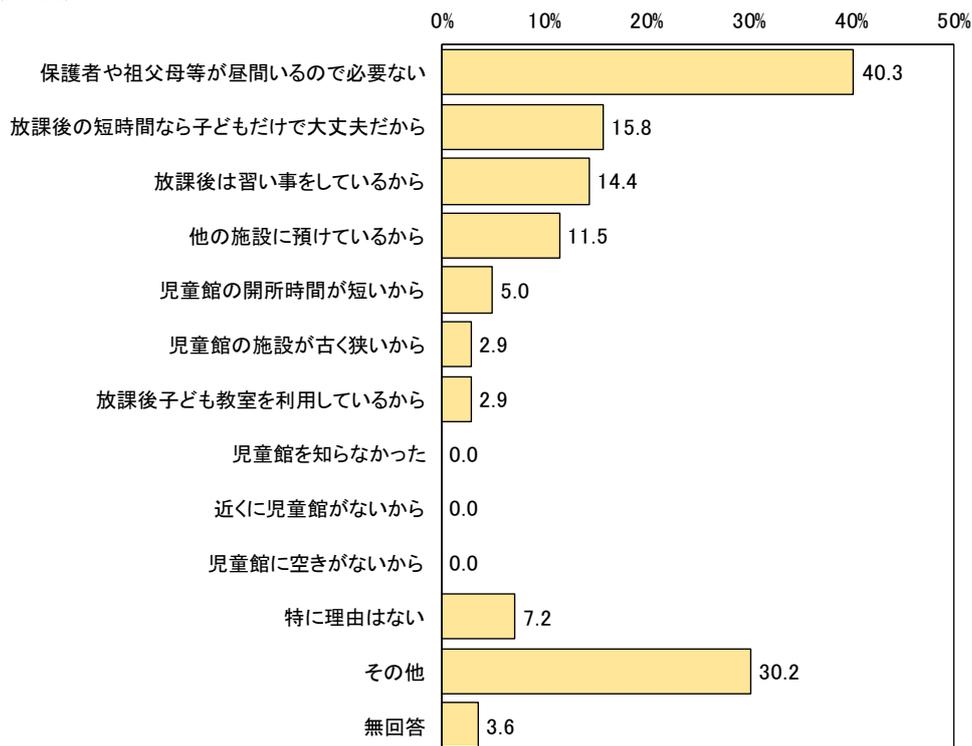
(7) 児童館を利用しない理由

問20で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問20-5 利用されていない主な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

児童館を利用しない理由は、「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」が40.3%で最も多く、次いで「放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫だから」が15.8%、「放課後は習い事をしているから」が14.4%、「他の施設に預けているから」が11.5%などとなっています。

(n=139)



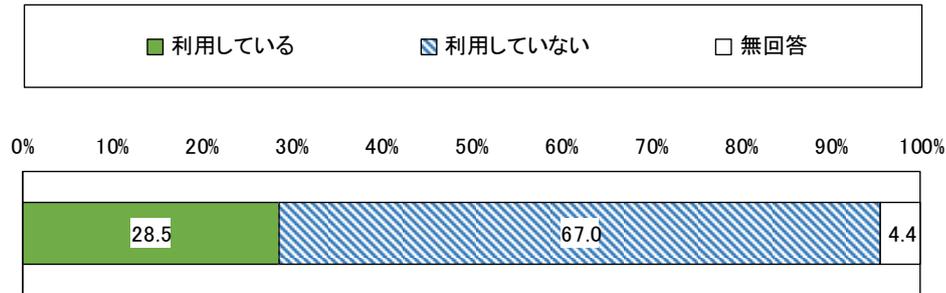
8 放課後児童クラブ(学童保育・児童館留守宅児童)について

(1) 放課後児童クラブの利用状況

問21 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1つに○)

放課後児童クラブの利用状況は、「利用している」が28.5%、「利用していない」が67.0%となっています。

(n=270)



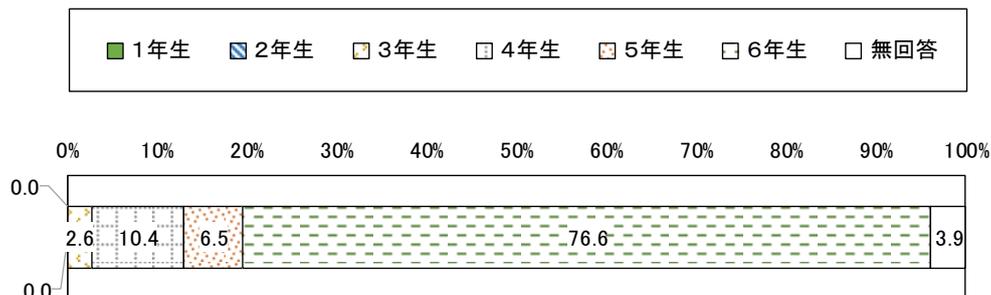
(2) 希望する放課後児童クラブの利用学年

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-1 何年生まで放課後児童クラブを利用したいですか。(数字を記入)

放課後児童クラブを利用したい学年は、「6年生」までが76.6%で最も多く、次いで「4年生」までが10.4%、「5年生」までが6.5%、「3年生」までが2.6%となっています。

(n=77)



(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

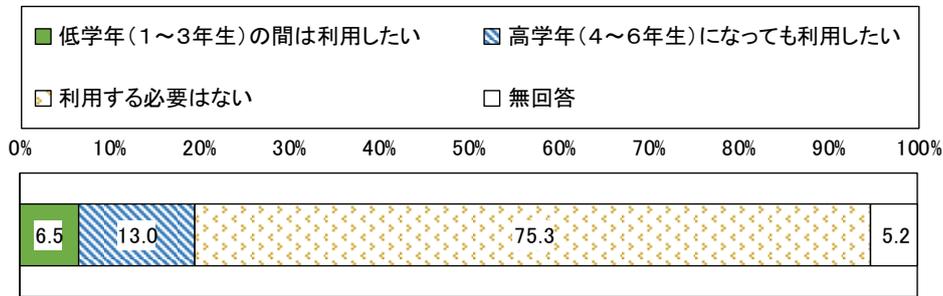
問21-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(1) 土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が6.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が13.0%、「利用する必要はない」が75.3%となっています。

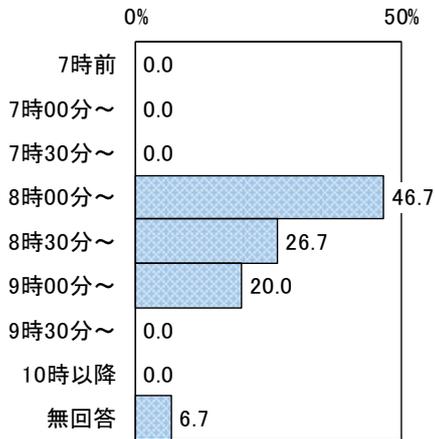
希望する利用開始時間は、「8時00分～」が46.7%で最も多くなっており、利用終了時間は、「17時00分～」が33.3%で最も多くなっていきます。

(n=77)



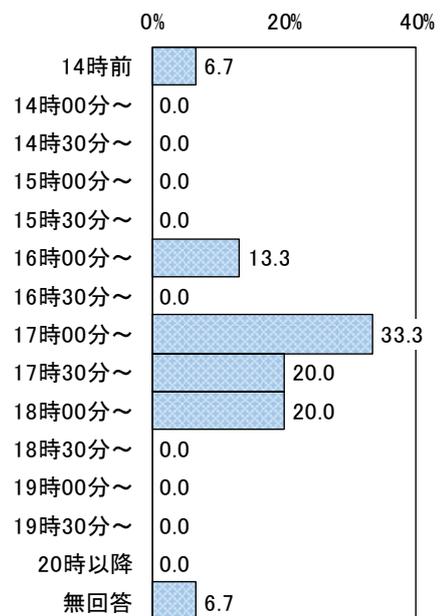
・ 利用開始時刻

(n=15)



・ 利用終了時刻

(n=15)



(4) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

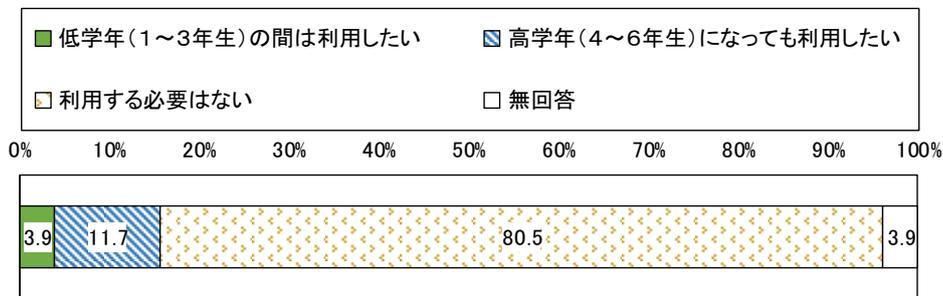
問21-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(2) 日曜・祝日

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が3.9%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が11.7%、「利用する必要はない」が80.5%となっています。

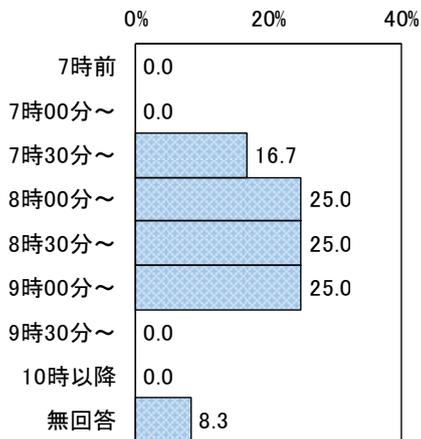
希望する利用開始時間は、「8時00分～」と「8時30分～」と「9時00分～」がともに25.0%で最も多くなっており、利用終了時間は、「17時30分～」が41.7%で最も多くなっていきます。

(n=77)



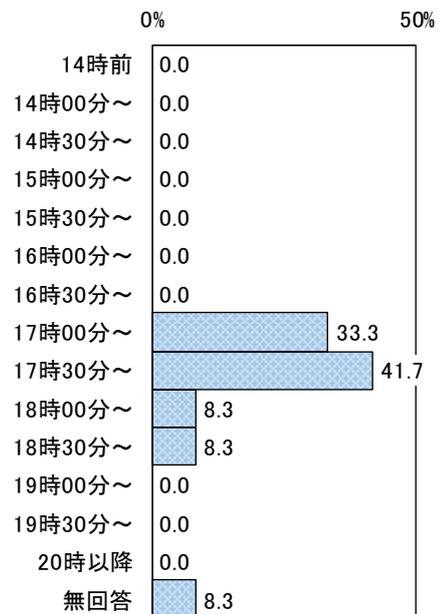
・ 利用開始時刻

(n=12)



・ 利用終了時刻

(n=12)



(5) 夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

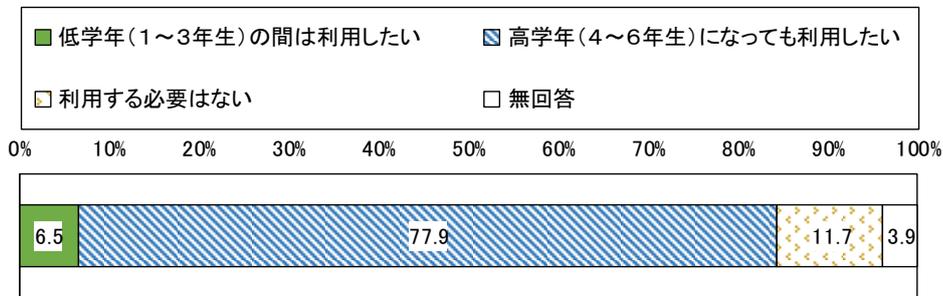
問21-3 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

(1) 夏休み

夏期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が77.9%、「利用する必要はない」が11.7%となっています。

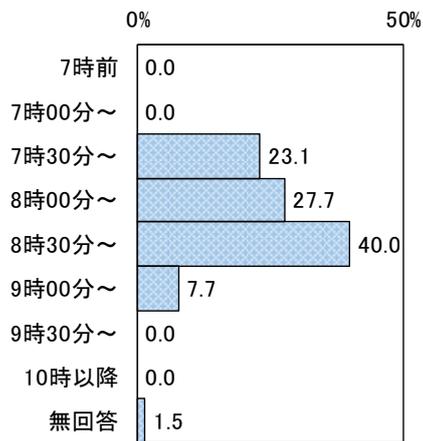
希望する利用開始時間は、「8時30分～」が40.0%で最も多くなっており、利用終了時間は、「18時30分～」が26.2%で最も多くなっています。

(n=77)



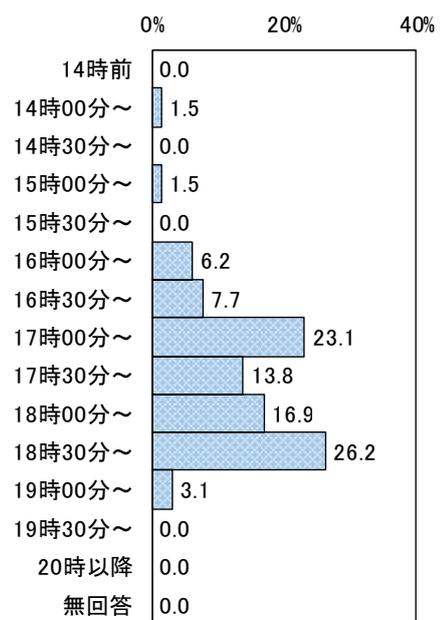
・ 利用開始時刻

(n=65)



・ 利用終了時刻

(n=65)



(6) 冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

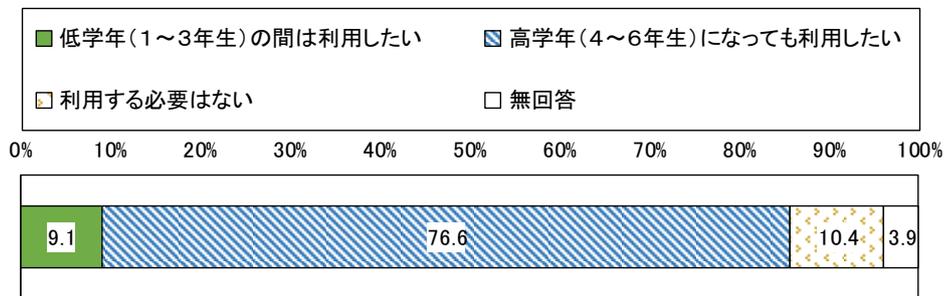
問21-3 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

(2)冬休み・春休みなど

冬期休暇中・春期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が9.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が76.6%、「利用する必要はない」が10.4%となっています。

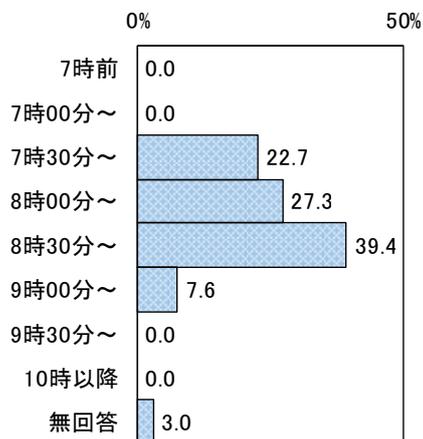
希望する利用開始時間は、「8時30分～」が39.4%で最も多くなっており、利用終了時間は、「17時00分～」、「18時30分～」がともに24.2%で最も多くなっていきます。

(n=77)



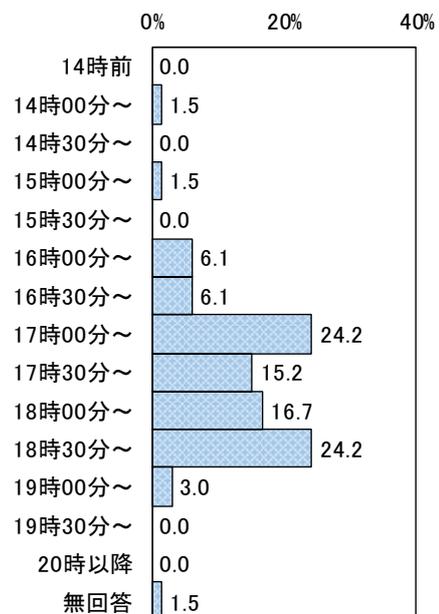
・ 利用開始時刻

(n=66)



・ 利用終了時刻

(n=66)



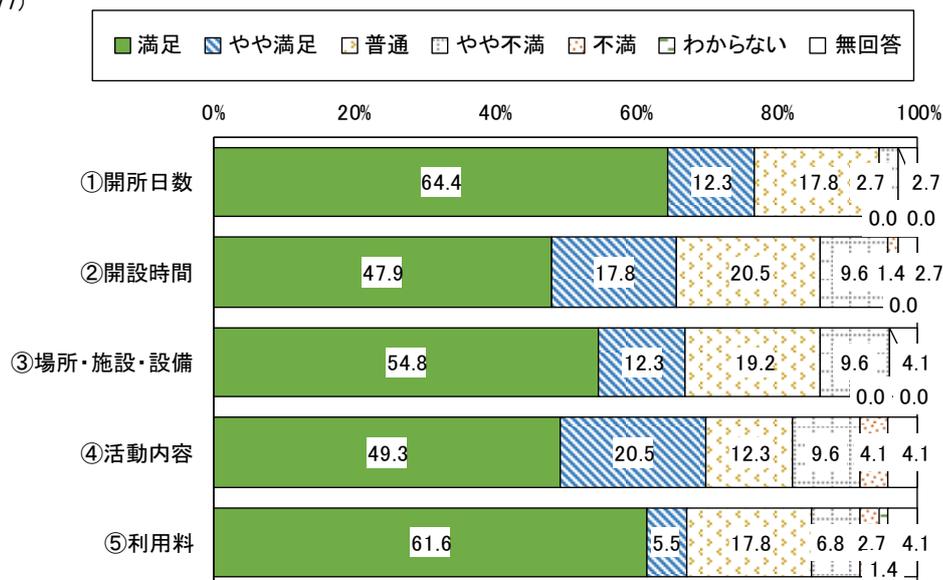
(7) 放課後児童クラブの満足度

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-4 現在通われている放課後児童クラブについて、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

放課後児童クラブの満足度について、全ての項目で「満足」（「満足」と「やや満足」の合計）が過半数を超えています。特に「①開所日数」の満足度が76.7%で最も多くなっています。

(n=77)



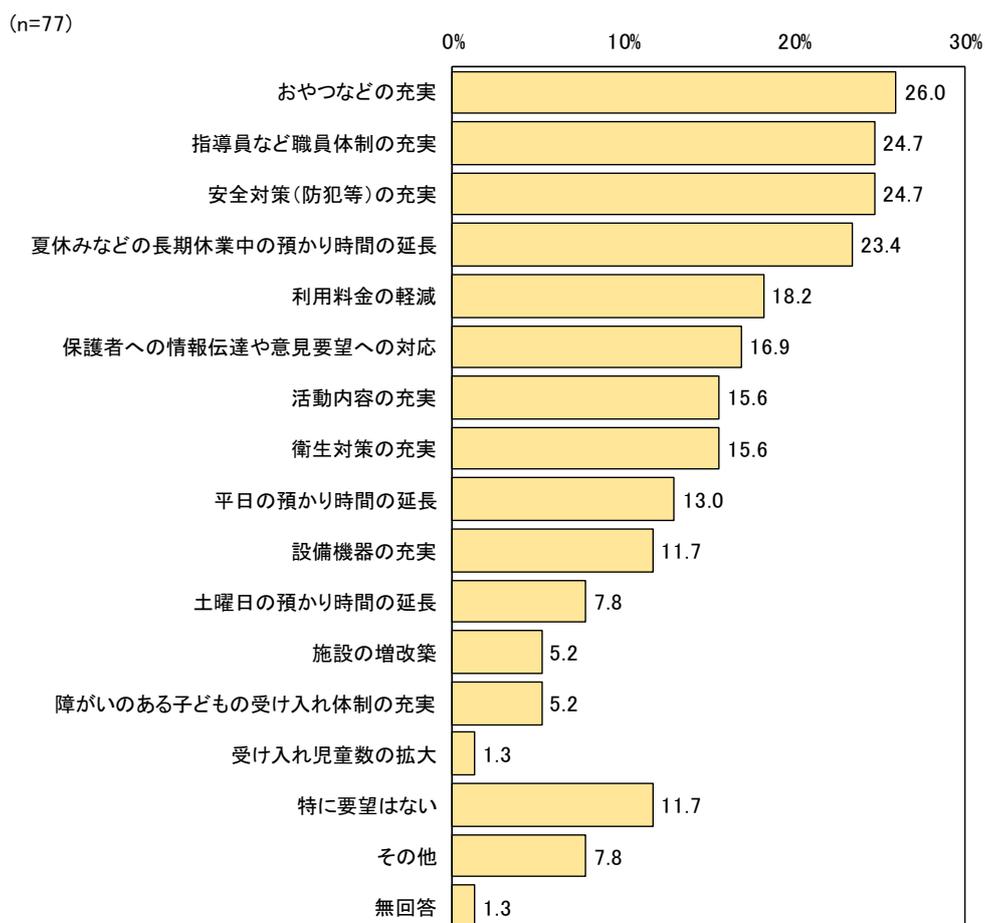
(8) 放課後児童クラブへの要望

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-5 現在、お子さんが通っている放課後児童クラブに関してどのような要望をお持ちですか。

(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブへの要望は、「おやつなどの充実」が26.0%で最も多く、次いで「指導員など職員体制の充実」と「安全対策（防犯等）の充実」がともに24.7%、「夏休みなどの長期休業中の預かり時間の延長」が23.4%、「利用料金の軽減」が18.2%などとなっています。



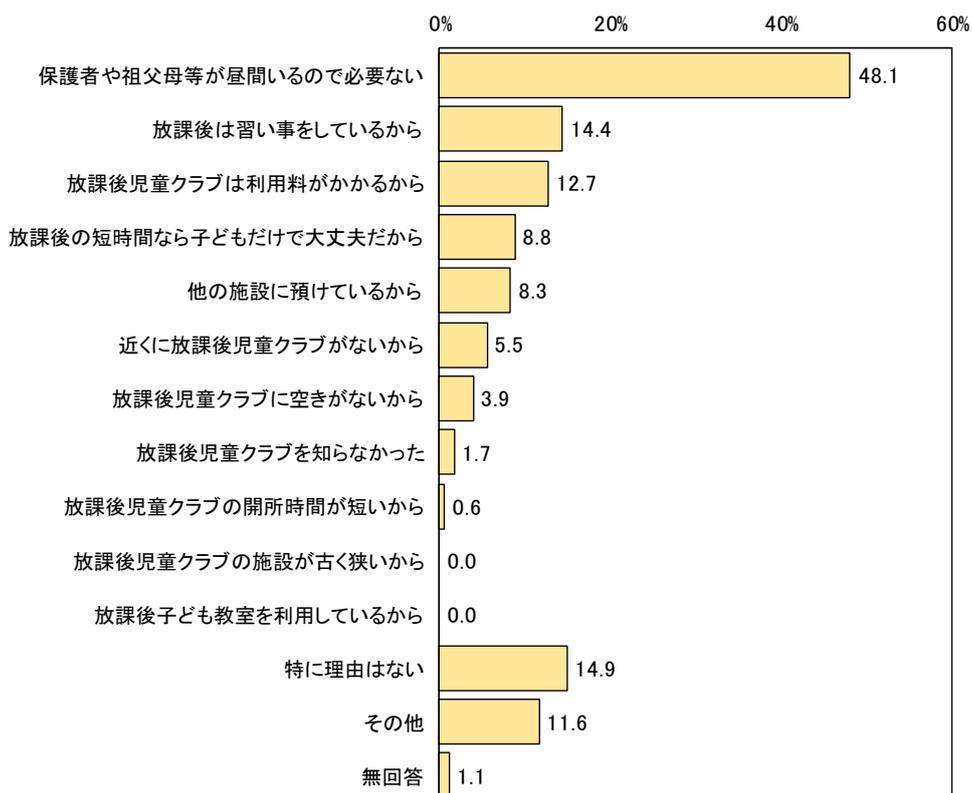
(9) 放課後児童クラブを利用しない理由

問21で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問21-6 利用されていない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

放課後児童クラブを利用しない理由は、「保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない」が48.1%で最も多く、次いで「放課後は習い事をしているから」が14.4%、「放課後児童クラブは利用料がかかるから」が12.7%などとなっています。

(n=181)



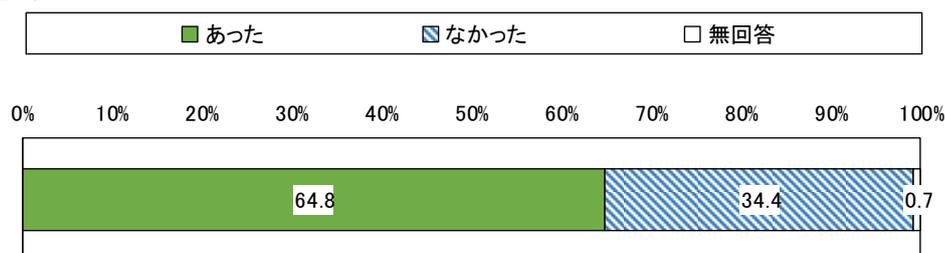
9 お子様の病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休んだことがあるか

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(1つに○)

子どもが病気やケガで学校を休んだことは、「あった」が64.8%、「なかった」が34.4%となっています。

(n=270)



(2) 学校を休んだ場合の対処方法

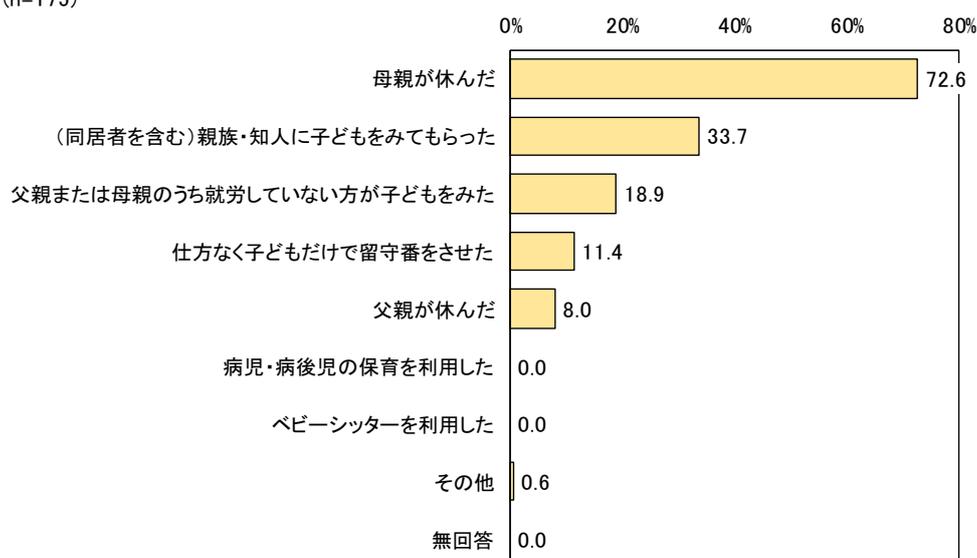
問22で「1. あった」に○をつけた方のみ

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が休んだ」が72.6%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が33.7%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が18.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が11.4%、「父親が休んだ」が8.0%などとなっています。

上位4項目の1年間の対処日数は、いずれも「1～5日」が最も多くなっています。

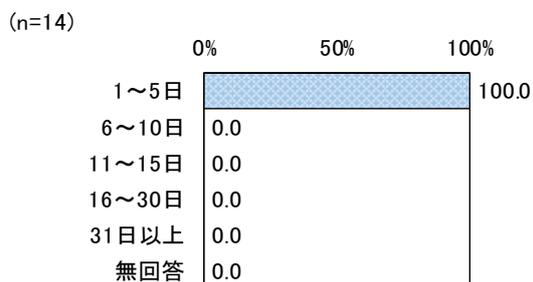
(n=175)



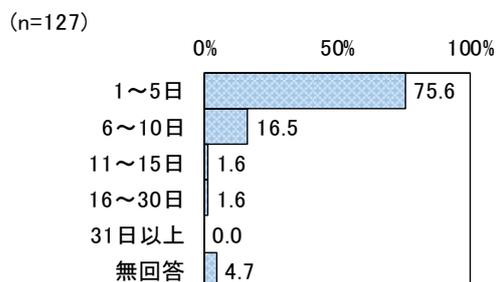
第3章 小学校就学児童保護者

【1年間の対処日数】

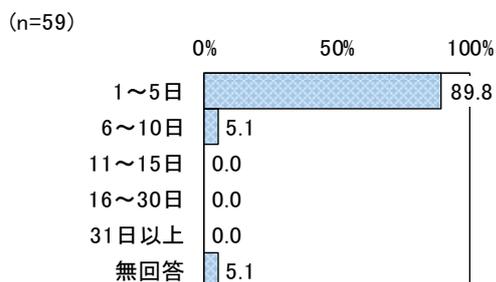
・父親が休んだ



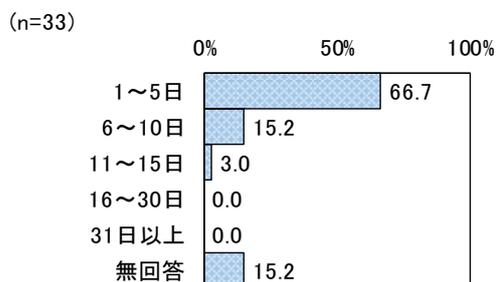
・母親が休んだ



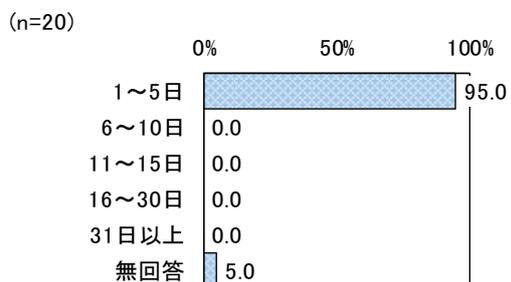
・親族・知人にみてもらった



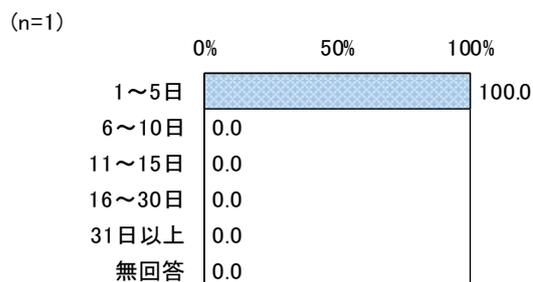
・父母のうち就労していない方が子どもをみた



・子どもだけで留守番をさせた



・その他の対処



(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

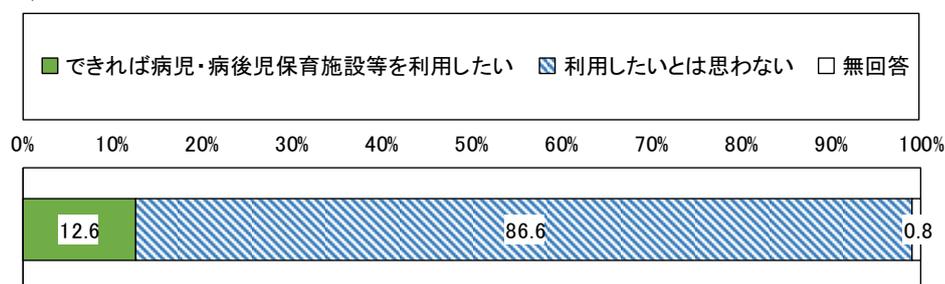
問22-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が12.6%、「利用したいとは思わない」が86.6%となっています。

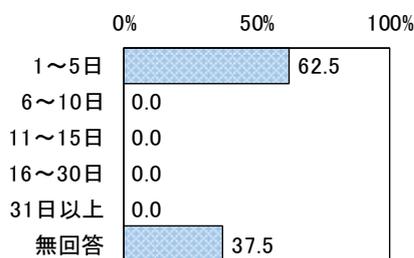
希望する病児・病後児保育施設等の1年間の利用日数は「1～5日」が62.5%で最も多くなっています。

(n=127)



・ 1年間の利用日数

(n=16)

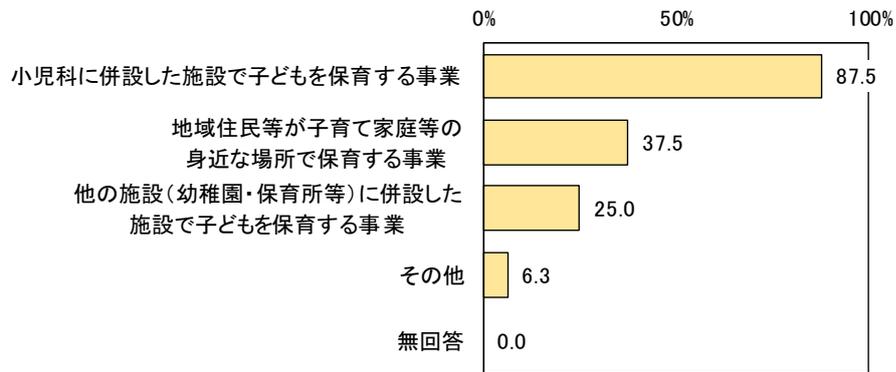


(4) 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
 問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 (あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が87.5%で最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が37.5%、「他の施設(幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が25.0%などとなっています。

(n=16)

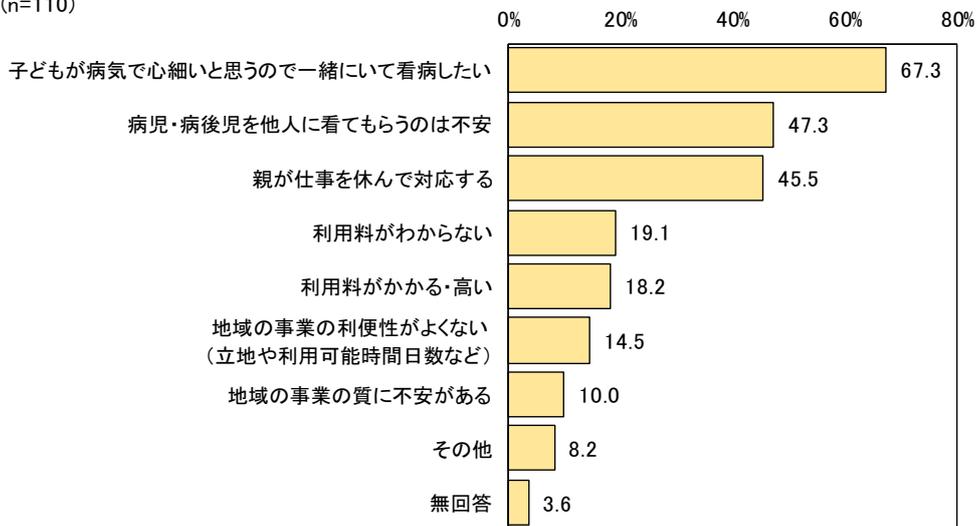


(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
 問22-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて看病したい」が67.3%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が47.3%、「親が仕事を休んで対応する」が45.5%、「利用料がわからない」が19.1%、「利用料がかかる・高い」が18.2%などとなっています。

(n=110)



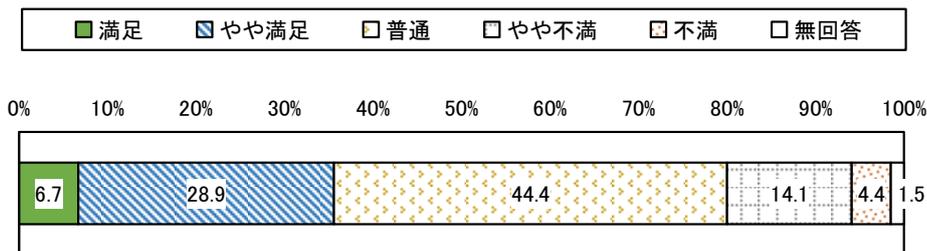
10 子育て支援施策全般について

(1) 子育ての環境や支援への満足度

問23 お住まいの地域の子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してあてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

子育ての環境や支援への満足度は、満足度が高い順に、「満足」が6.7%、「やや満足」が28.9%、「普通」が44.4%、「やや不満」が14.1%、「不満」が4.4%となっています。

(n=270)

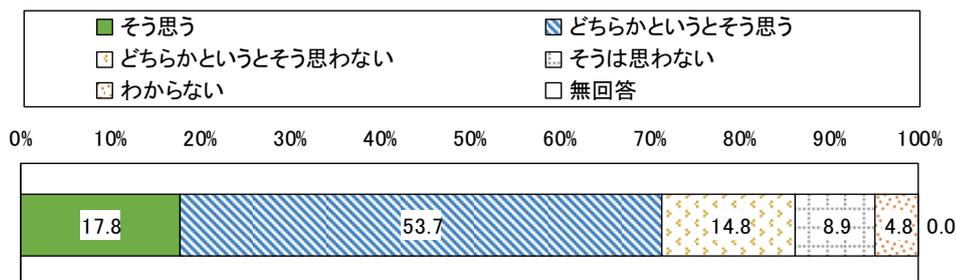


(2) 子育てのしやすさについて

問24 邑楽町は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

町が子育てしやすいと思うかどうかは、「そう思う」が17.8%、「どちらかというと思う」が53.7%、「どちらかというと思わない」が14.8%、「そうは思わない」が8.9%となっています。

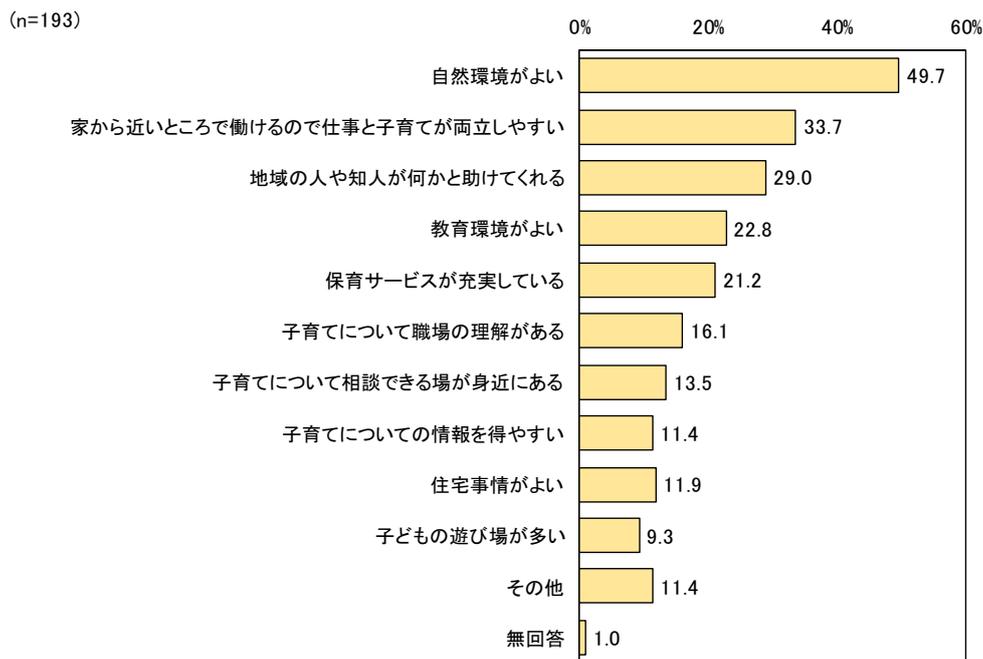
(n=270)



(3) 子育てしやすいと思う理由

問24で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方
 問24-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

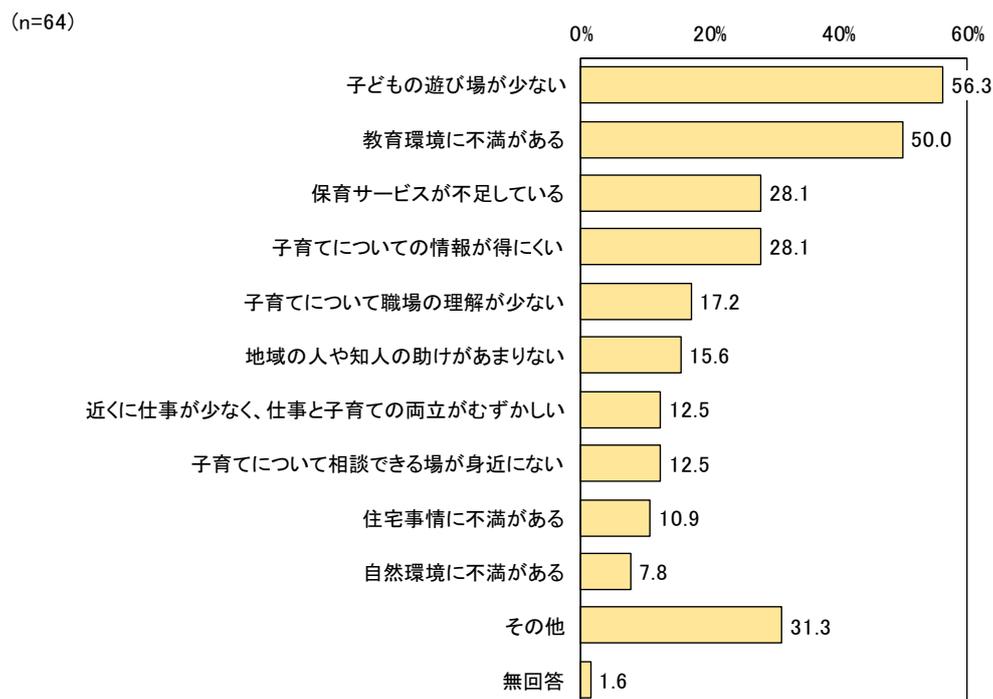
町が子育てしやすいと思う理由は、「自然環境がよい」が49.7%で最も多く、次いで「家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい」が33.7%、「地域の人や知人が何かと助けてくれる」が29.0%、「教育環境がよい」が22.8%、「保育サービスが充実している」が21.2%などとなっています。



(4) 子育てしやすいと思わない理由

問24で「3 どちらかというと思わない」または「4 そうは思わない」とお答えの方
問24-2 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○

町が子育てしやすいと思わない理由は、「子どもの遊び場が少ない」が56.3%で最も多く、次いで「教育環境に不満がある」が50.0%、「保育サービスが不足している」と「子育てについての情報が得にくい」がともに28.1%などとなっています。

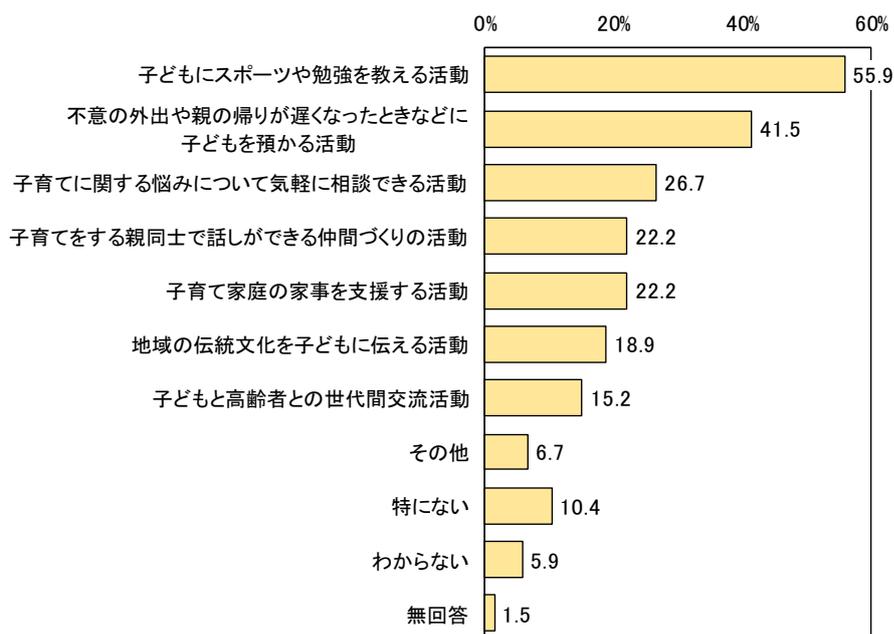


(5) 子育てしやすいまちにするための活動

問25 身近な地域で、子育てに関するどのような活動が充実したら、より子育てしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てしやすいまちにするための活動は、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」が55.9%で最も多く、次いで「不意の外出や親の帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる活動」が41.5%、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる活動」が26.7%、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」と「子育て家庭の家事を支援する活動」がともに22.2%などとなっています。

(n=270)

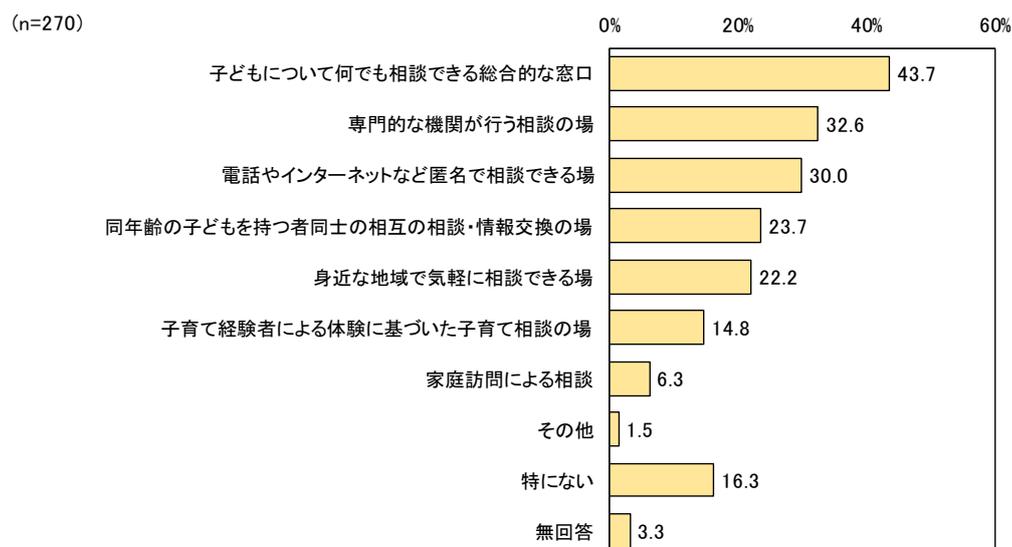


(6) 希望する子育ての相談場所

問26 今後、子育てについての相談場所として、どのような場の充実を希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)

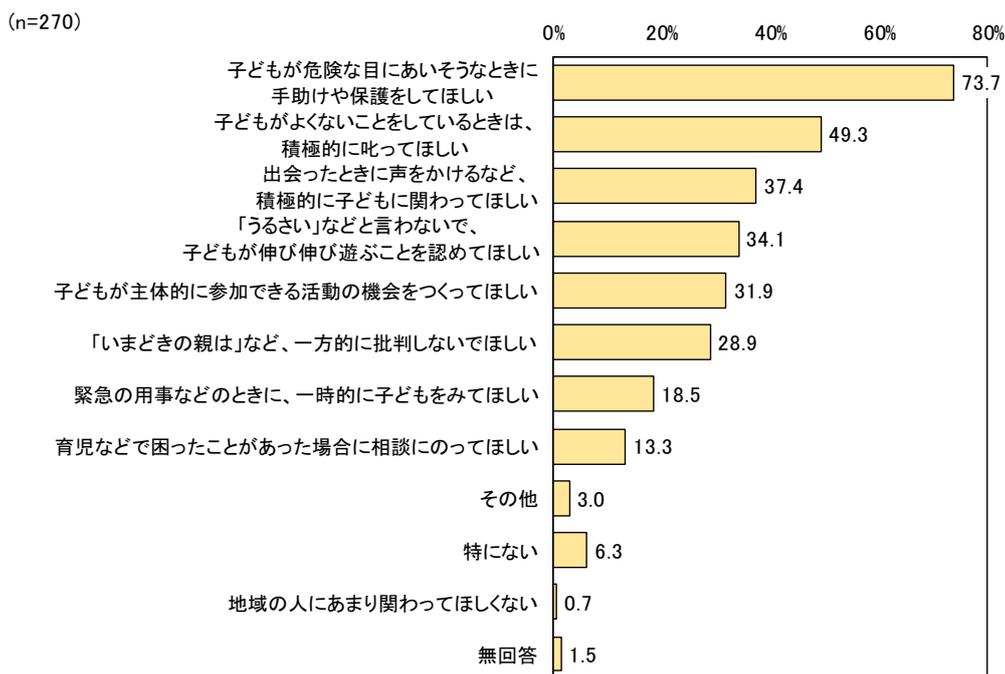
希望する子育てに関する相談場所は、「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が43.7%で最も多く、次いで「専門的な機関が行う相談の場」が32.6%、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」が30.0%、「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場」が23.7%、「身近な地域で気軽に相談できる場」が22.2%などとなっています。



(7) 子育てについて地域に望むこと

問27 お子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てについて地域に望むことは、「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」が73.7%で最も多く、次いで「子どもがよくないことをしているときは、積極的に叱ってほしい」が49.3%、「出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい」が37.4%、「『うるさい』などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい」が34.1%、「子どもが主体的に参加できる活動の機会をつくってほしい」が31.9%などとなっています。

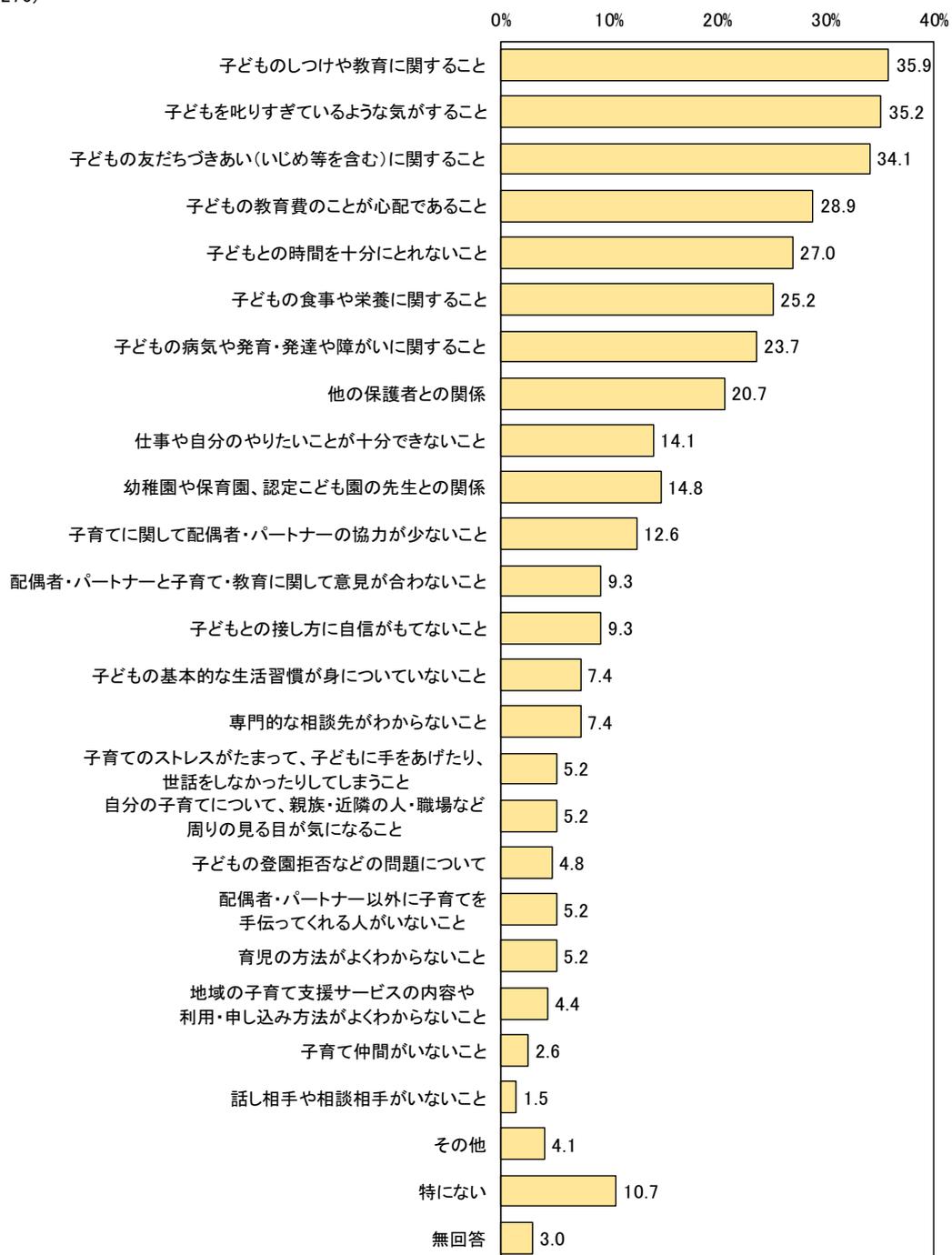


(8) 子育てに関する悩み・気になること

問28 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、今までに気になったことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩み、気になることは、「子どものしつけや教育に関すること」が35.9%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が35.2%、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」が34.1%、「子どもの教育費のことが心配であること」が28.9%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が27.0%などとなっています。

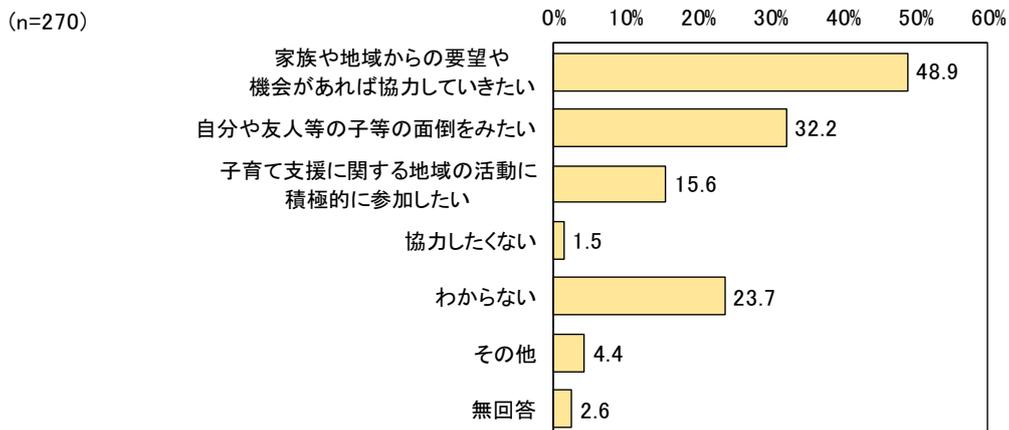
(n=270)



(9) 子育てへの協力について

問29 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てについて協力したいことは、「家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい」が48.9%で最も多く、次いで「自分や友人等の子等の面倒をみたい」が32.2%、「子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい」が15.6%などとなっています。

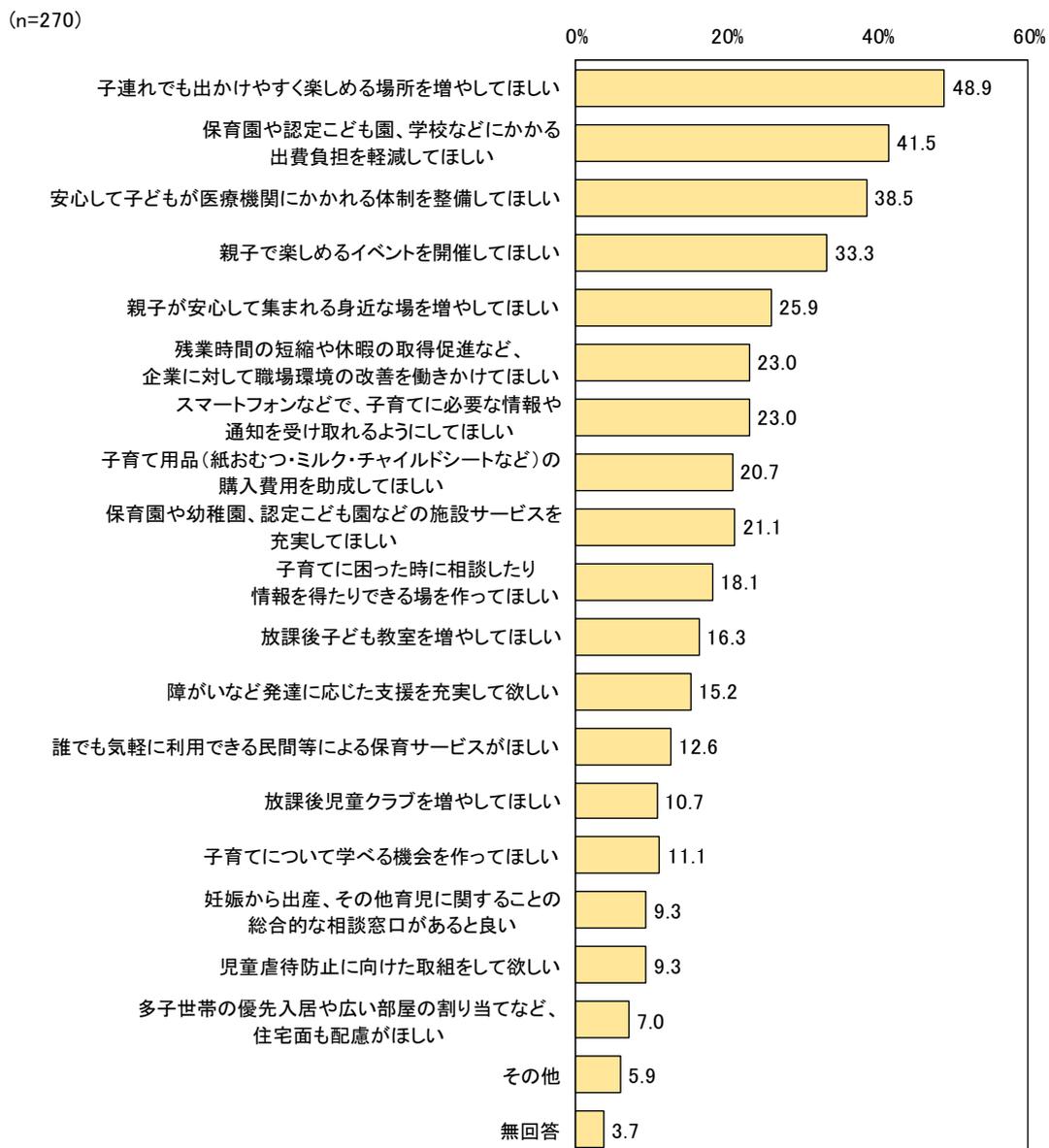


(10) 子育て支援環境充実のための必要な支援策

問30 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だとお考えになりますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育て環境充実のために必要な支援策は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が48.9%で最も多く、次いで「保育園や認定こども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい」が41.5%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が38.5%、「親子で楽しめるイベントを開催してほしい」が33.3%、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」が25.9%などとなっています。

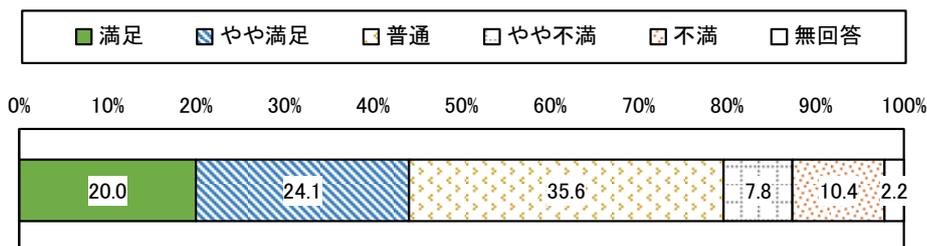


(11) 出産祝金支給事業の満足度

問31 邑楽町では、平成27年度から出産祝金を「第3子以降10万円」から「第1子5万円・第2子10万円・第3子以降20万円」へ増額支給しています。このことによる「子育て環境」への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

町の出産祝金支給事業の子育て環境への満足度は、満足度の高い順に、「満足」が20.0%で、「やや満足」が24.1%、「普通」が35.6%、「やや不満」が7.8%、「不満」が10.4%となっています。

(n=270)



資料編 調査票

(1) 就学前児童保護者用調査票

就学前児童保護者調査票

子育て支援に関するアンケート調査にご協力ください

日頃より、町政全般にわたり、ご理解ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。
本町では、乳幼児期から学齢期にかけて、子どもたちの健やかな成長を支援し、子育てしやすいまちづくりに努めています。

このたび、子ども・子育てで環境のさらなる充実を目指すため「第2期邑楽町子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、町民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前（0～5歳）のお子さんを無作為に選び、その保護者の方を対象にお願ひするものです。ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成31年1月 邑楽町長 金子正一

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 ご記入は、お子さんの保護者の方をお願いします。氏名は記入しないでください。
- 2 何らかの事情により、ご本人（お子さんの保護者の方）が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方が記入してください。
- 3 選択肢の場合、お選びいただく数の範囲によって異なります。注意書きに従ってご記入ください。また、「その他」に○をつけていただいた場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただいたアンケート用紙は、お手紙ですが、平成31年2月8日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函ください。切手の貼付や差出人の記入は必要ありません。また、町内の幼稚園・保育園・認定こども園へ通われている方は、園へ提出することもできます。
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



調査に関するご質問、ご意見は…
邑楽町役場 子ども支援課 児童支援係
電話：0276-47-5023 までお問い合わせください。

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

1. 中野小学校区 2. 高島小学校区 3. 長柄小学校区 4. 中野東小学校区

封筒の宛名のお子さんご家族のことについて

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)

平成 [] 年 [] 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいはいは(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。

2人以上のお子さんがいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

きょうだい数 [] 人 / 末子の生年月月 平成 [] 年 [] 月 生まれ

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。

お子さんから見た関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

お子さんから見た関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親
4. 祖父 5. 幼稚園 6. 保育園
7. 認定こども園 8. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
4. 保育園 5. 認定こども園 6. その他 ()

宛名のお子さんの保護者の就業状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親(1つに○) 【父子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ (1)~1,2
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ (1)~1,2
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ (1)~1,2
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ (1)~1,2
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ (2)
- 6. これまで就労したことがない ⇒ (2)

※フルタイム:週5日・1日8時間程度 / パート・アルバイト等:フルタイム以外

(1)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)~1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就業時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就業時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週あたり [] 日 / 1日あたり [] 時間

(1)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)~2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入) 時間帯は、24時間制(例:「18」時(30分)で記入ください)。

家を出る時刻 [] 時 [] 分 / 帰宅時刻 [] 時 [] 分
通勤所要時間 [] 分

(2)父親(1つに○) 【母子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ (2)~1,2
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ (2)~1,2
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ (2)~1,2
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ (2)~1,2
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問13または問14
- 6. これまで就労したことがない ⇒ 問13または問14

(2)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(2)~1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就業時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就業時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週あたり [] 日 / 1日あたり [] 時間

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 日常的に祖父祖母等の親族にみてもらえる ⇒ 問9-1
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母等の親族にみてもらえる ⇒ 問9-1
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ⇒ 問9-2
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる ⇒ 問9-2
- 5. いずれもない ⇒ 問10

問9で「1」、「2」(祖父祖母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父祖母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
- 2. 身体的負担が大きく心配である
- 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
- 6. その他 ()

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
- 2. 身体的負担が大きく心配である
- 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
- 6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

- 1. ある ⇒ 問10-1
- 2. ない ⇒ 問11

問10で「1. ある」に○をつけた方のみ

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 祖父祖母等の親族
- 2. 友人や知人
- 3. 近所の人
- 4. 子育て支援施設(子育て支援センター、児童館等)
- 5. 保健センター
- 6. 保健福祉事務所
- 7. 保育士
- 8. 幼稚園教諭
- 9. 認定こども園の保育教諭
- 10. 民生委員・児童委員
- 11. かかりつけの医師
- 12. 自治体の子育て関連窓口
- 13. インターネットサイト
- 14. その他 ()

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

[]

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 自宅の近く | 2. 子どもが将来通う小学校のある居住地区内にあること |
| 3. 職場の近く (職場が町外) | 4. 職場の近く (職場が町内) |
| 5. 駅の近く | 6. 兄弟姉妹が通っている |
| 7. 長い時間預かってくれる | 8. 夜間や休日に対応している |
| 9. 乳児保育を実施している | 10. 病児や病後児に対応している |
| 11. 障がいなど発達支援に対応している | 12. 保育内容が充実している |
| 13. 教育内容が充実している | 14. 施設・設備が清潔で整っている |
| 15. 送迎サービスを行っている | 16. 給食を提供している |
| 17. 駐車場がある | 18. 友人・知人の評判 (口コミ) がよい |
| 19. インターネットでの評判がよい | 20. 費用が安い |
| 21. 行事が充実している | 22. 園長・幼稚園教諭・保育士・保育教諭・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい |
| 23. 公立であること | 24. 私立であること |
| 25. その他 () | |

問18 2019年の10月から、3歳から5歳までの子どもの保育園・幼稚園・認定こども園の基本的な利用料は無料になる予定です。(幼児教育、保育の無償化。上限額あり。)

幼児教育、保育の無償化(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料)、0歳から2歳児の利用料は住民非課税世帯を対象に無償化)になったら、平日の教育・保育の事業の利用意向(問16で回答した内容)は変わりますか。(1つに○)

1. 変わらない 2. 変わる → 問18-1へ

問18で「2. 変わる」に○をつけた方のみ

問18-1 幼児教育、保育の無償化になった場合に、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業はどのようになりますか。該当する番号すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)※事業の詳細は問16をご覧ください。

- | | | |
|---------------------|------------------------|----------|
| 1. 幼稚園 | 2. 幼稚園の預かり保育 | 3. 認可保育園 |
| 4. 認定こども園 (教育利用) | 5. 認定こども園 (教育利用)の預かり保育 | |
| 6. 認定こども園 (保育利用) | 7. 小規模保育施設 | 8. 家庭的保育 |
| 9. 事業所内保育施設 | 10. 自治体の認証・認定保育施設 | |
| 11. その他の認可外の保育施設 | 12. 居宅訪問型保育 | |
| 13. ファミリー・サポート・センター | 14. その他 () | |

問19 幼児教育、保育の無償化(3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料無償化)がなされることで、あなたの家庭で起こりうると思うことを回答してください。(それぞれ1つに○)

| | | | |
|-------------------|----------|--------------------|-----------|
| | 1. あてはまる | 2. あてはまらない (変化はない) | 3. わかからない |
| ① 子どもを預けて働きに出る | 1 | 2 | 3 |
| ② 就労時間が延びる | 1 | 2 | 3 |
| ③ 地域活動に参加できるようになる | 1 | 2 | 3 |
| ④ さらに子どもをもうける | 1 | 2 | 3 |

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

- 問15-5 利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)
- | |
|--|
| 1. 利用する必要がない (子どもの母親や養育のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由) |
| 2. 子どもの祖父や親戚の人がみている |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない |
| 8. 子どもがまだ小さいため ([] 歳くらいになったら利用しようと考えている) |
| 9. その他 () |

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園、認定こども園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業の番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育園 (都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) |
| 4. 認定こども園 (教育利用) (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 認定こども園 (教育利用)の預かり保育 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 6. 認定こども園 (保育利用) (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 7. 小規模保育施設 (市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの) |
| 8. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どものみを保育する事業) |
| 9. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 10. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 11. その他の認可外の保育施設 |
| 12. 居宅訪問型保育 (べびー・サポート)のような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 13. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) |
| 14. その他 () |
| 15. 利用を特に考えていない |

- 問16-1 問16のような事業を利用したい場所はどこですか。(1つに○)
- | | |
|---------|------------------|
| 1. 邑楽町内 | 2. 他の市町村 (市・町・村) |
|---------|------------------|

問16で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方のみ

問16-2 特に幼稚園や認定こども園(教育利用)(預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問20 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)などを利用していますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
1週あたり [] 日もしくは1か月あたり [] 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名:)
1週あたり [] 日もしくは1か月あたり [] 回程度
3. 利用していない

問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思えますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

1. 利用していないが、今後利用したい
1週あたり [] 日もしくは1か月あたり [] 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週あたり [] 日もしくは1か月あたりさらに [] 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを答えてください。(事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

| | A | | B | | C | |
|---------------------------------------|-------|---------|----------------|---------|----|-----|
| | 知っている | 今後利用したい | これまでに利用したことがある | 今後利用したい | はい | いいえ |
| ①阿観学級 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ②保健センターの情報・相談サービス | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ③家庭教育における学級・講座 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ④子育て支援センター | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑤児童館 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑥子育てサークル | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑦思楽町産後ケア事業 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑧思楽町出産基金 ※第1千5万円・第2千10万円・第3千以降20万円 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑨一時預かり事業(風の子保育園) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑩病児・病後児保育 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑪利用者支援事業(風の子保育園) | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| ⑫ファミリー・サポート・センター事業 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 |

宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業*の利用希望について

※教育・保育事業:幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指します。

問23 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用を除きます)はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(それぞれ1つに○、数字を記入)

| | 利用する必要はない | 利用したい時間帯 |
|----------|---|--|
| (1)土曜日 | 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | [] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで |
| (2)日曜・祝日 | 1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | 利用したい時間帯 [] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで |

問23の(1)土曜日、(2)日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

問23-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

「幼稚園」または「認定こども園(教育利用)」を利用されている方のみ

問24 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(1つに○、数字を記入)

| | 利用する必要はない | 利用したい時間帯 |
|--------------|--|--------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | [] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで |

問24で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

問24-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の対応について
【幼稚園や保育園、認定こども園などを平日利用する方のみ※】

問15で平日の定期的な幼稚園や保育園、認定こども園などの事業を
「1. 利用している」と回答した方にかがいます。
問25 この1年間に、宛名のお子さんが病気がケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(1つに○)

1. あった ⇒ 問25-1 ~ 2. なかった ⇒ 問26 ~

問25で「1. あった」に○をつけた方のみ
問25-1 お子さんが病気がけがで普段利用している施設・サービスが利用できなかった場合に、この1年間に
行った対処方法をお答えください。
(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の対応の場合は1日でカウント)

| | 1年間の対処方法 | | 日数 |
|------------------------------|----------|----------|-----------|
| | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 1. 父親が休んだ | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | ⇒ 問25-2 ~ |
| 2. 母親が休んだ | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 5. 病児・病後児の保育を利用した | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 6. ベビーシッターを利用した | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 8. その他 () | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |

問25-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ
問25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ [] 日 ⇒ 問25-3 ~
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問25-4 ~

問25-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
問25-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設 (幼稚園・保育園・認定こども園等) に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所(ファミリー・サポート・センター等)で子どもを保育する事業
4. その他 ()

問25-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
問25-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性がよくない (立地や利用可能時間・日数など)
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. 子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて看病したい
8. その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問26 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

| | 利用している事業 | | 日数 |
|--|----------|----------|-----------|
| | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業) | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 2. 幼稚園や認定こども園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ) | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | ⇒ 問27 ~ |
| 4. 夜間看護等事業；トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業) | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 5. ベビーシッター | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 6. その他 () | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | |
| 7. 利用していない | 年間 [] 日 | 年間 [] 日 | ⇒ 問26-1 ~ |

問26で「7. 利用していない」に○をつけた方のみ
問26-1 現在利用していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性がよくない (立地や利用可能時間・日数など)
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうかかわからない
8. 事業の利用方法 (手続き等) がわからない
9. その他 ()

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問29 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字でご記入ください。時間帯は、24時間制(例:「18」時(30分)まで)でご記入ください。合わせて週6日になるように希望日数を記入してください。

| | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1 自宅 | 週〔 〕日くらい |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅 | 週〔 〕日くらい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週〔 〕日くらい |
| 4 児童館 ^{*1} | 週〔 〕日くらい |
| 5 放課後子ども教室 ^{*2} | 週〔 〕日くらい |
| 6 放課後児童クラブ(学童保育) ^{*3} | 週〔 〕日くらい 下校時から〔 〕時〔 〕分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週〔 〕日くらい |
| 8 その他(公民館・公園など) | 週〔 〕日くらい |

^{*1} 児童館で行う放課後児童クラブ(留守宅児童)の場合は「6、放課後児童クラブ(学童保育)」に○
^{*2} 放課後子ども教室:地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の利便に圖わらず、すべての小学生が利用できます。
^{*3} 放課後児童クラブ:保護者が就労等に より 区間 家庭 には ない 場合 などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

問30 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。先のことになる方も、現在お持ちのイメージをお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)時間帯は、24時間制(例:「18」時(30分)まで)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 1 自宅 | 週〔 〕日くらい |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅 | 週〔 〕日くらい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週〔 〕日くらい |
| 4 児童館 | 週〔 〕日くらい |
| 5 放課後子ども教室 | 週〔 〕日くらい |
| 6 放課後児童クラブ(学童保育) | 週〔 〕日くらい 下校時から〔 〕時〔 〕分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週〔 〕日くらい |
| 8 その他(公民館・公園など) | 週〔 〕日くらい |

問27 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

| 利用希望・利用目的 | 日数 |
|-------------------------|---------|
| 1. 利用したい | 合計〔 〕日 |
| ア. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的 | 年間〔 〕日 |
| イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 | 年間〔 〕日 |
| ウ. 不定期の就労 | 年間〔 〕日 |
| エ. その他() | 年間〔 〕日 |
| 2. 利用する必要はない | ⇒ 問28 へ |

問27で「1. 利用したい」に○をつけた方のみ
問27の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園・保育園・認定こども園等)
- 小規模施設で子どもを保育する事業(地域子育て支援拠点等)
- 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(ファミリー・サポーター・センター等)
- その他()

問28 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)

| 有無・対処方法 | 泊数 |
|--|------------------|
| 1. あった | |
| ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | 年間〔 〕泊 ⇒ 問28-1 へ |
| イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) | 年間〔 〕泊 |
| ウ. イ以外の保育事業を利用した(認可外保育施設、ベビーシッター等) | 年間〔 〕泊 |
| エ. 仕方なく子どもを同行させた | 年間〔 〕泊 ⇒ 問29 へ |
| オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 年間〔 〕泊 |
| カ. その他() | 年間〔 〕泊 |
| 2. なかった ⇒ 問29 へ | |

問28で「ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方のみ

問28-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

- 非常に困難
- どちらかという困難
- 特に困難ではない

問29または問30で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ
問31 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 (それぞれ1つに○、数字を記入) 時間帯は、24時間制(例: (18)時(30)分)でご記入ください。

(1)土曜日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 利用したい時間帯 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい [] 時 [] 分から
 3. 利用する必要はない [] 時 [] 分まで

(2)日曜・祝日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 利用したい時間帯 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい [] 時 [] 分から
 3. 利用する必要はない [] 時 [] 分まで

問32 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。(1つに○、数字を記入)

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 利用したい時間帯 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい [] 時 [] 分から
 3. 利用する必要はない [] 時 [] 分まで

育休休業や短時間勤務制度など 職場の面立支援制度について

問33 宛名のおさんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ1つに○、取得していない理由を記入)

(1)母親

1. 働いていなかった
 2. 取得した (育児休業中である)
 3. 取得していない
 取得していない理由(あてはまる番号をすべて記入)

(2)父親

1. 働いていなかった
 2. 取得した (育児休業中である)
 3. 取得していない
 取得していない理由(あてはまる番号をすべて記入)

← ○をつけるのではなく、番号を記入してください ←

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事に忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育園などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみもたらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかった
 15. その他 (母親 父親)

問33で「2. 取得した(育児休業中である)」に○をつけた方のみ(該当しない方 ⇒ 問34 ⇒)
問33-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

(1)母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問33-2、3
 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問33-6
 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問34

(2)父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問33-2、3
 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問33-6
 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問34

問33-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
問33-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子様
 が何歳何か月のときまで取りましたか。(数字を記入)

(1)母親

希望の復帰時期 [] 歳 [] か月 (2) 父親

希望の復帰時期 [] 歳 [] か月

問33-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ
問33-3 育児休業からは、「実際に」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の
 育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りましたか。(それぞれ数字を記入)

(1)母親

実際の復帰時期 [] 歳 [] か月

希望の復帰時期 [] 歳 [] か月

(2)父親

実際の復帰時期 [] 歳 [] か月

希望の復帰時期 [] 歳 [] か月

問33-3で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
問33-4 希望より早く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1)希望より早く復帰した理由(あてはまるものすべてに○)

① 母親

1. 希望する保育園に入るため
 2. 配偶者や家族の希望があったため
 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
 5. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育園に入るため
 2. 配偶者や家族の希望があったため
 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
 5. その他 ()

(2)希望より遅く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

① 母親

1. 希望する保育園に入らなかったため
 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
 3. 配偶者や家族の希望があったため
 4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため
 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
 6. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育園に入らなかったため
 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
 3. 配偶者や家族の希望があったため
 4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため
 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
 6. その他 ()

問33-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ
問33-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取
 得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ1つに○)

(1)母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
 2. 1歳になる前に復帰したい

(2)父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
 2. 1歳になる前に復帰したい

子育て支援施設全般について

問34 お住まいの地域の子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してあてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|----------|
| 満足度が低い ← | | | | | → 満足度が高い |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

問35 邑楽町は、子育てしやすいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う ⇒問35-1へ
2. どちらかというと思う ⇒問35-1へ
3. どちらかというと思うかわからない ⇒問35-2へ
4. そうは思わない ⇒問35-2へ
5. わからない ⇒問36へ

問35で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方

問35-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の人や知人が何かと助けてくれる
2. 家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい
3. 教育環境がよい
4. 住宅事情がよい
5. 自然環境がよい
6. 子育てについての情報を得やすい
7. 子育てについて相談できる場が身近にある
8. 保育サービスが充実している
9. 子どもの遊び場が多い
10. 子育てについて職場の理解がある
11. その他 ()

問35で「3 どちらかというと思うかわからない」または「4 そうは思わない」とお答えの方

問35-2 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○)

1. 地域の人や知人の助けがあまりない
2. 近くに仕事がなく、仕事と子育ての両立が難しい
3. 教育環境に不満がある
4. 住宅事情に不満がある
5. 自然環境に不満がある
6. 子育てについての情報が得にくい
7. 子育てについて相談できる場が身近にない
8. 保育サービスが不足している
9. 子どもの遊び場が少ない
10. 子育てについて職場の理解が少ない
11. その他 ()

問36 身近な地域で、子育てに関するどのような活動が充実したら、より子育てしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動
2. 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる活動
3. 不意の外出や親の帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる活動
4. 子どもにスポーツや勉強を教える活動
5. 地域の伝統文化を子どもに伝える活動
6. 子どもと高齢者との世代間交流活動
7. 子育て家庭の家事を支援する活動
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問37 今後、子育てについての相談場所として、どのような場の充実を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門的な機関が行う相談の場
2. 子どもについて何でも相談できる総合的な窓口
3. 電話やインターネットなど匿名で相談できる場
4. 身近な地域で気軽に相談できる場
5. 同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場
6. 子育て経験者による体験に基づいた子育て相談の場
7. 家庭訪問による相談
8. その他 ()
9. 特にない

問38 お子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい
2. 「いまどきの親は」など、一方的に批判しないでほしい
3. 子どもがよくないことをしているときは、積極的に叱ってほしい
4. 子どもが主体的に参加できる活動の機会をつくってほしい
5. 育児などで困ったことがあった場合に相談にのってほしい
6. 子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい
7. 「うるさい」などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい
8. 緊急の用事などのときに、一時的に子どもをみてほしい
9. その他 ()
10. 特にない
11. 地域の人にあまり関わってほしくない

問39 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や友人等の子等の面倒をみたい
2. 子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい
3. 家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい
4. 協力したくない
5. わからない
6. その他 ()

問40 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、今までに気づいたこと、または、今までのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気や発育・発達や障がいに関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと
7. 専門的な相談先がわからないこと
8. 子育て仲間がいらないこと
9. 子どものしつけや教育に関すること
10. 子どもの基本的な生活習慣が身につけていないこと
11. 子どもの教育費のことが心配であること
12. 他の保護者との関係
13. 幼稚園や保育園、認定子ども園の先生との関係
14. 子どもと友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
15. 子どもの登園拒否などの問題について
16. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
17. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
18. 配偶者・パートナーと子育て・教育に関して意見が合わないこと
19. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見目が気になること
20. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
21. 子どもを叱りすぎているような気がする
22. 子育てのストレスがたまっている、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
23. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
24. その他 ()
25. 特になし

問41 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だとお考えになりますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい
2. 親子で楽しめるイベントを開催してほしい
3. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
4. 子育て用品(紙おむつ・ミルク・チャイルドシートなど)の購入費用を助成してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり情報を得たりできる場を作してほしい
6. スマートフォンなどで、子育てに必要な情報や通知を受け取れるようにしてほしい
7. 妊娠から出産、その他育児に関することの総合的な相談窓口があるといい
8. 保育園や幼稚園、認定子ども園などの施設サービスを充実してほしい
9. 放課後児童クラブを増やしてほしい
10. 放課後子ども教室を増やしてほしい
11. 保育園や認定子ども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい
12. 誰でも気軽に利用できる民間等による保育サービスがほしい
13. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
14. 障がいなど発達に応じた支援を充実して欲しい
15. 児童虐待防止に向けた取組をして欲しい
16. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面も配慮がほしい
17. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
18. 子育てについて学ぶ機会を作してほしい
19. その他 ()



問42 邑楽町では、平成27年度から出産祝金を「第3子以降10万円」から「第1子5万円・第2子10万円・第3子以降20万円」へ増額支給しています。このことによる「子育て環境」への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

| | | | | |
|----------|----------|---|---|---|
| 満足度が低い ← | → 満足度が高い | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問43 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
 お手紙ですが、平成31年2月8日(金)までに同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函ください。切手の貼付や差出人の記入は必要ありません。また、町内の幼稚園・保育園・認定子ども園へ通われている方は、園へ提出することもできます。

(2) 小学校就学児童保護者調査票

小学校就学児童保護者調査票

子育て支援に関するアンケート調査にご協力ください

日頃より、町政全般にわたり、ご理解ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。
本町では、乳幼児期から学齢期にかけて、子どもたちの健やかな成長を支援し、子育てしやすいまちづくりに努めています。

このたび、子ども・子育て環境のさらなる充実を目指すため「第2期邑楽町子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、町民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望、ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学1年生から6年生までのお子さんをお父さんをお母さんをお祖父さんをお祖母さんをお父の保護者の方を対象にお願ひするものです。ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月 邑楽町長 金子正一

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 ご記入は、お子さんの保護者の方にお願いいたします。氏名は記入しないでください。
- 2 何らかの事情により、ご本人（お子さんの保護者の方）が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 3 選択肢の場合、お選びいただく数に制限はありません。注意書きに従ってご記入ください。また、「その他」に○をつけていただいた場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、平成31年2月8日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函ください。切手の貼付や差出人の記入は必要ありません。また、町内の小学校へ通われている方は、学校へ提出することもできます。
- 5 記入にあたって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



調査に関するご質問、ご意見は…
邑楽町役場 子ども支援課 児童支援係
電話：0276-47-5023 までお問い合わせください。

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

1. 中野小学校区 2. 高島小学校区 3. 長柄小学校区 4. 中野東小学校区

封筒の宛名のお子さんご家族のことについて

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字を記入)

平成 [] 年 [] 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだい(宛名のお子さんを含め)何人いらっしゃいますか。

2人以上のお子さんがいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数字を記入)

きょうだい数 [] 人 / 末子の生年月月 平成 [] 年 [] 月 生まれ

問4 調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。

お子さんからみられた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

お子さんからみられた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親
4. 祖父母 5. 小学校 6. 放課後児童クラブ(学童保育)
7. 児童館※ 8. その他 ()

※ 児童館で行う放課後児童クラブ(留守児童)を利用していらっしゃる場合は「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校
4. 放課後児童クラブ(学童保育) 5. 児童館 6. その他 ()

宛名のお子さんの保護者の就業状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親(1つに○) 【父子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ (1)~1,2
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ (1)~1,2
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ (1)~1,2
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ (1)~1,2
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ (2)
- 6. これまで就労したことがない ⇒ (2)

※フルタイム:週5日・1日8時間程度 / パート・アルバイト等:フルタイム以外

(1)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)~1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週あたり [] 日 / 1日あたり [] 時間

(1)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(1)~2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入) 時間帯は、24時間制(例:「18」時(30分)で記入ください)。

家を出る時刻 [] 時 [] 分 / 帰宅時刻 [] 時 [] 分
通勤所要時間 [] 分

(2)父親(1つに○) 【母子家庭の場合は記入不要】

- 1. フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ (2)~1,2
- 2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ (2)~1,2
- 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ (2)~1,2
- 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ (2)~1,2
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問13または問14
- 6. これまで就労したことがない ⇒ 問13または問14

(2)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方のみ

(2)~1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週あたり [] 日 / 1日あたり [] 時間

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 日常的に祖父祖母等の親族にみてもらえる ⇒ 問9-1
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母等の親族にみてもらえる ⇒ 問9-1
- 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる ⇒ 問9-2
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる ⇒ 問9-2
- 5. いずれもない ⇒ 問10

問9で「1」、「2」(祖父祖母等の親族にみてもらえる)に○をつけた方のみ

問9-1 祖父祖母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
- 2. 身体的負担が大きく心配である
- 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
- 6. その他 ()

問9で「3」、「4」(友人・知人がいる)に○をつけた方のみ

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
- 2. 身体的負担が大きく心配である
- 3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
- 6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。

また、相談できる場所はありませんか。(1つに○)

- 1. ある ⇒ 問10-1
- 2. ない ⇒ 問11

問10で「1. ある」に○をつけた方のみ

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 祖父祖母等の親族
- 2. 友人や知人
- 3. 近所の人
- 4. 学校の教員等
- 5. 児童館
- 6. 保健センター
- 7. 保健福祉事務所
- 8. 学童保育所
- 9. 放課後子ども教室
- 10. 民生委員・児童委員
- 11. かかりつけの医師
- 12. 自治体の子育て関連担当窓口
- 13. 公民館
- 14. インターネットサイト
- 15. その他 ()

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

()

(2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方のみ

問2-2 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間をお答えください。一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入) 時間帯は、24時間制(例:「18」時(30)分)でご記入ください。

家を出る時刻 [] 時 [] 分 / 帰宅時刻 [] 時 [] 分
 通勤所要時間 [] 分

問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方のみ

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

| | |
|--------|---|
| (1) 母親 | 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |
| (2) 父親 | 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |

問12の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)に○をつけた方のみ

問14 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

| | |
|--------|---|
| (1) 母親 | 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 希望する就労形態 ア フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) イ パートタイム、アルバイト等 (1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間) |
| (2) 父親 | 1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 希望する就労形態 ア フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) イ パートタイム、アルバイト等 (1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間) |



放課後の過ごし方 (平日の小学校終了後) について
 小学校低学年 (1～3年生) の方のお答えください。小学高学年の方は問18へ

問15 お子さんについて放課後は現在どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も [] 内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:「18」時(30)分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

■現在の過ごし方

| | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 自宅 | 週 [] 日くらい |
| 2 祖父母や友人・知人家 | 週 [] 日くらい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週 [] 日くらい |
| 4 児童館* | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 5 放課後子ども教室** | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 6 放課後児童クラブ (学童保育)** | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週 [] 日くらい |
| 8 その他 (公民館・公園など) | 週 [] 日くらい |

*1 児童館で行放課後児童クラブ(留守児童)を利用している場合は「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○

**2 放課後子ども教室: 地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

**3 放課後児童クラブ: 保護者が就労等により居間家庭にいない場合に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

問16 お子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは希望として放課後はどのような場所で過ごさせたいですか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も [] 内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:「18」時(30)分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

■希望の過ごし方

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1 自宅 | 週 [] 日くらい |
| 2 祖父母や友人・知人家 | 週 [] 日くらい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週 [] 日くらい |
| 4 児童館 | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 5 放課後子ども教室 | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 6 放課後児童クラブ (学童保育) | 週 [] 日くらい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週 [] 日くらい |
| 8 その他 (公民館・公園など) | 週 [] 日くらい |

問17 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:〔18〕時〔30〕分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

■小学校高学年(4～6年生)になった時の放課後の過ごし方

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1 自宅 | 週 [] 日くらいい |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 [] 日くらいい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週 [] 日くらいい |
| 4 児童館 | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 5 放課後子ども教室 | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 6 放課後児童クラブ(学童保育) | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週 [] 日くらいい |
| 8 その他(公民館・公園など) | 週 [] 日くらいい |

放課後の過ごし方(平日の小学校終了後)について
小学校高学年(4～6年生)の方のみお答えください。それ以外の方は問20へ

問18 お子さんについて放課後は現在どのような場所で過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:〔18〕時〔30〕分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

■現在の過ごし方

| | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1 自宅 | 週 [] 日くらいい |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 [] 日くらいい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週 [] 日くらいい |
| 4 児童館 ^{*1} | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 5 放課後子ども教室 ^{*2} | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 6 放課後児童クラブ(学童保育) ^{*3} | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週 [] 日くらいい |
| 8 その他(公民館・公園など) | 週 [] 日くらいい |

※1 児童館で行う放課後児童クラブ(留守児童)を利用している場合は「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○
 ※2 放課後子ども教室:地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
 ※3 放課後児童クラブ:保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

問19 お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)のうちは希望として放課後はどのような場所で過ごさせたいですか。(あてはまるものすべてに○、数字を記入)「児童館」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ」の場合は、時間も〔 〕内にご記入ください。時間帯は、24時間制(例:〔18〕時〔30〕分)でご記入ください。合わせて週5日になるように希望日数を記入してください。

■希望の過ごし方

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1 自宅 | 週 [] 日くらいい |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 [] 日くらいい |
| 3 習い事・塾・スポーツクラブ | 週 [] 日くらいい |
| 4 児童館 | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 5 放課後子ども教室 | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 6 放課後児童クラブ(学童保育) | 週 [] 日くらいい 下校時から [] 時 [] 分まで |
| 7 ファミリー・サポーター・センター | 週 [] 日くらいい |
| 8 その他(公民館・公園など) | 週 [] 日くらいい |



児童館について

問20 宛名のお子さんは現在、児童館を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している ⇒ 問20-1~4 へ 2. 利用していない ⇒ 問20-5 へ

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-1 何年生まで児童館を利用したいですか。(数字を記入)

[] 年生

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童館の利用希望はありますか。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(1)土曜日

1. 低学年 (1~3年生) の間は利用したい
 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4~6年生) にも利用したい
 [] 時 [] 分まで
 3. 利用する必要はない

(2)日曜・祝日

1. 低学年 (1~3年生) の間は利用したい
 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4~6年生) にも利用したい
 [] 時 [] 分まで
 3. 利用する必要はない

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-3 現在通われている児童館について、どのように思いますか。(それぞれ1つに○)

| | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 | わからない |
|-----------|----|------|----|------|----|-------|
| ①開所日数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ②開設時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③場所・施設・設備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④活動内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤利用料 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問20で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問20-4 現在、お子さんが通っている児童館に関してどのような要望をお持ちでしょうか。(あてはまるものすべてに○)

- 平日の預かり時間の延長
- 土曜日の預かり時間の延長
- 夏休みなどの長期休業中の預かり時間の延長
- 施設の増改築
- 設備機器の充実
- 指導員など職員体制の充実
- 活動内容の充実
- おやつなどの充実
- 受け入れ児童数の拡大
- 保護者への情報伝達や意見要望への対応
- 安全対策 (防犯等) の充実
- 衛生対策の充実
- 障がいのある子どもの受け入れ体制の充実
- 特に要望はない
- その他 ()

問20で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問20-5 利用されていない主な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない
- 児童館を知らなかった
- 近くに児童館がないから
- 児童館に空きがないから
- 児童館の開設時間が短いから
- 児童館の施設が古く狭いから
- 放課後子ども教室を利用しているから
- 放課後は習い事しているから
- 放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫だから
- 他の施設に預けているから
- 特に理由はない
- その他 ()

放課後児童クラブ (学童保育・児童館留守宅児童) について

問21 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している ⇒ 問21-1~5 へ 2. 利用していない ⇒ 問21-6 へ

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-1 何年生まで放課後児童クラブを利用したいですか。(数字を記入)

[] 年生

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-2 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、数字を記入)

(1)土曜日

1. 低学年 (1~3年生) の間は利用したい
 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4~6年生) にも利用したい
 [] 時 [] 分まで
 3. 利用する必要はない

(2)日曜・祝日

1. 低学年 (1~3年生) の間は利用したい
 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4~6年生) にも利用したい
 [] 時 [] 分まで
 3. 利用する必要はない

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-3 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1つに○、数字を記入)

(1)夏休み

1. 低学年 (1~3年生) の間は利用したい
 [] 時 [] 分から
 2. 高学年 (4~6年生) にも利用したい
 [] 時 [] 分まで
 3. 利用する必要はない

(2) 冬休み・春休みなど

利用したい時間帯

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい [] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい [] 時 [] 分から [] 時 [] 分まで

3. 利用する必要はない

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-4 現在通われている放課後児童クラブについて、どのように思いますか、(それぞれ1つに○)

| | 満足 | やや満足 | 普通 | やや不満 | 不満 | わからない |
|-----------|----|------|----|------|----|-------|
| ①開所日数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ②開設時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③場所・施設・設備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④活動内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤利用料 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問21で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問21-5 現在、お子さんが通っている放課後児童クラブに関してどのような要望をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- 平日の預かり時間の延長
- 土曜日の預かり時間の延長
- 夏休みなどの長期休業中の預かり時間の延長
- 施設の増設
- 設備機器の充実
- 指導員など職員体制の充実
- おやつなどの充実
- 活動内容の充実
- 受け入れ児童数の拡大
- 安全対策（防犯等）の充実
- 保護者への情報伝達や意見要望への対応
- 安全対策（防犯等）の充実
- 睡がいのある子どもを受け入れ体制の充実
- 利用料金の軽減
- 特に要望はない
- その他（ ）

問21で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

問21-6 利用されていない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない
- 放課後児童クラブを知らなかった
- 近くに放課後児童クラブがないから
- 放課後児童クラブに空きがないから
- 放課後児童クラブの開所時間が短いから
- 放課後児童クラブは利用料がかかるから
- 放課後児童クラブの施設が古く狭いから
- 放課後子ども教室を利用しているから
- 放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫だから
- 放課後は習い事をしているから
- 他の施設に通っているから
- 特に理由はない
- その他（ ）

宛名のお子さんの病気の対応について

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(1つに○)

- あった ⇒ 問22-1 ～
- なかった ⇒ 問22-3 ～

問22で「1. あった」に○をつけた方のみ

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○、数字を記入、半日程度の場合1日でカウント)

| 1年間の対処方法 | 日数 |
|------------------------------|----------|
| 1. 父親が休んだ | 年間 [] 日 |
| 2. 母親が休んだ | 年間 [] 日 |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | 年間 [] 日 |
| 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | 年間 [] 日 |
| 5. 病児・病後児の保育を利用した | 年間 [] 日 |
| 6. ペピーシッターを利用した | 年間 [] 日 |
| 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 年間 [] 日 |
| 8. その他（ ） | 年間 [] 日 |

問22-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかる、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つに○、数字を記入)

- できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ [] 日 ⇒ 問22-3 ～
- 利用したいとは思わない ⇒ 問22-4 ～

問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 他の施設（幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）
- その他（ ）

問22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ

問22-4 そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性がよくない（立地や利用可能時間日数など）
- 利用料が高すぎる・高い
- 利用料がわからない
- 親が仕事を休んで対応する
- 子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて看病したい
- その他（ ）

子育て支援施設全般について

問23 お住まいの地域の子育ての環境や支援への満足度について総合的に判断してあてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|----------|
| 満足度が低い ← | | | | | → 満足度が高い |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

問24 色楽町は、子育てしやすいと思いますか。(1つに○)

- 1. そう思う ⇒問24-1へ
- 2. どちらかというと思う ⇒問24-1へ
- 3. どちらかというと思うかわない ⇒問24-2へ
- 4. そうは思わない ⇒問24-2へ
- 5. わからない ⇒問25へ

問24で「1 そう思う」または「2 どちらかというと思う」とお答えの方

問24-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 地域の人や知人が何かと助けてくれる
- 2. 家から近いところで働けるので仕事と子育てが両立しやすい
- 3. 教育環境がよい
- 4. 住宅事情がよい
- 5. 自然環境がよい
- 6. 子育てについての情報を得やすい
- 7. 子育てについて相談できる場が身近にある
- 8. 保育サービスが充実している
- 9. 子どもの遊び場が多い
- 10. 子育てについて職場の理解がある
- 11. その他 ()

問24で「3 どちらかというと思うかわない」または「4 そうは思わない」とお答えの方

問24-2 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○)

- 1. 地域の人や知人の助けがあまりない
- 2. 近くに仕事がなく、仕事と子育ての両立が難しい
- 3. 教育環境に不満がある
- 4. 住宅事情に不満がある
- 5. 自然環境に不満がある
- 6. 子育てについての情報が得にくい
- 7. 子育てについて相談できる場が身近にない
- 8. 保育サービスが不足している
- 9. 子どもの遊び場が少ない
- 10. 子育てについて職場の理解が少ない
- 11. その他 ()



問25 身近な地域で、子育てに関するどのような活動が充実したら、より子育てしやすいまちになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動
- 2. 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる活動
- 3. 不意の外出や親の帰りが遅くなったときに子どもを預かる活動
- 4. 子どもにスポーツや勉強を教える活動
- 5. 地域の伝統文化を子どもに伝える活動
- 6. 子どもと高齢者との世代間交流活動
- 7. 子育て家庭の家事を支援する活動
- 8. その他 ()
- 9. 特にない
- 10. わからない

問26 今後、子育てについての相談場所として、どのような場の充実を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 専門的な機関が行う相談の場
- 2. 子どもについて何でも相談できる総合的な窓口
- 3. 電話やインターネットなど匿名で相談できる場
- 4. 身近な地域で気軽に相談できる場
- 5. 同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場
- 6. 子育て経験者による体験に基づいた子育て相談の場
- 7. 家庭訪問による相談
- 8. その他 ()
- 9. 特にない

問27 お子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい
- 2. 「いまどきの親は」など、一方的に批判しないでほしい
- 3. 子どもがよくないことをしているときは、積極的に叱ってほしい
- 4. 子どもが主体的に参加できる活動の機会をつくってほしい
- 5. 育児などで困ったことがあった場合に相談にのってほしい
- 6. 子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい
- 7. 「うるさい」などと言わないで、一時的に子どもをみてほしい
- 8. 緊急の用事などのときに、一時的に子どもをみてほしい
- 9. その他 ()
- 10. 特にない
- 11. 地域の人にあまり関わってほしくない

問28 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、今までに気がなったこととはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの気分や発育・発達や確がいに関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間を十分にたれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと
7. 専門的な相談先がわからないこと
8. 子育て仲間がいらないこと
9. 子どものしつけや教育に関すること
10. 子どもの基本的な生活習慣が身についていないこと
11. 子どもの教育費のことが心配であること
12. 他の保護者との関係
13. 学校の先生との関係
14. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
15. 子どもの不登校などの問題について
16. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
17. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
18. 配偶者・パートナーと子育て・教育に関して意見が合わないこと
19. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周りの見目が気になること
20. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
21. 子どもを叱りすぎているような気がする
22. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
23. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
24. その他 ()
25. 特になし

問29 あなたは、子育てについてどのような協力をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や友人等の子等の面倒をみたい
2. 子育て支援に関する地域の活動に積極的に参加したい
3. 家族や地域からの要望や機会があれば協力していきたい
4. 協力したくない
5. わからない
6. その他 ()



問30 子育て支援環境充実のためには、どのような支援策が必要だとお考えになりますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい
2. 親子で楽しめるイベントを開催してほしい
3. 親子でも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい
4. 子育て用品(紙おむつ・ミルク・チャイルドシートなど)の購入費用を助成してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり情報を得たりできる場を作してほしい
6. スマートフォンなどで、子育てに必要な情報や通知を受け取れるようにしてほしい
7. 妊娠から出産、その他育児に関することの総合的な相談窓口がある
8. 保育園や幼稚園、認定こども園などの施設サービスを充実してほしい
9. 放課後児童クラブを増やしてほしい
10. 放課後子ども教室を増やしてほしい
11. 保育園や認定こども園、学校などにかかる出費負担を軽減してほしい
12. 誰でも気軽に利用できる民間等による保育サービスをほしい
13. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
14. 障がいなど発達にゆだねた支援を充実してほしい
15. 児童虐待防止に向けた取組をして欲しい
16. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面も配慮がほしい
17. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
18. 子育てについて学べる機会を作してほしい
19. その他 ()

問31 邑楽町では、平成27年度から出産祝金を「第3子以降10万円」から「第1子5万円・第2子10万円・第3子以降20万円」へ増額支給しています。このことによる「子育て環境」への満足度について、あてはまる番号に1つに○をつけてください。(1つに○)

| | | | | |
|----------|----------|---|---|---|
| 満足度が低い ← | → 満足度が高い | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問32 子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが、平成31年2月8日(金)までに同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函ください。切手の貼付や差出人の記入は必要ありません。また、町内の小学校へ通われている方は、学校へ提出することもできます。

子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書

発行／邑楽町
編集／邑楽町 子ども支援課
〒370-0692
群馬県邑楽郡邑楽町大字中野 2570 番地 1
TEL 0276-88-5511 (代表)
発行／平成 31 年 3 月
